

平成28年度

事業実績書

(病虫害防除関係)

宮崎県総合農業試験場 病虫害防除・肥料検査課
(宮崎県病虫害防除・肥料検査センター)

目 次

I 組織と業務

| | | |
|-----------|-------|---|
| 1 名称及び所在地 | ----- | 1 |
| 2 管轄区域 | ----- | 1 |
| 3 職員及び業務 | ----- | 1 |
| 4 業務分掌表 | ----- | 1 |

II 事業実績

| | | |
|--------------------------------------|-------|----|
| 1 農作物有害動植物発生予察事業 | | |
| 1) 調査の種類及び方法 | | |
| (1) 指定病害虫 | ----- | 3 |
| (2) 指定外病害虫 | ----- | 3 |
| (3) 巡回調査ほ場数 | ----- | 4 |
| 2) 主要農作物の病害虫発生概況（平成28年産） | | |
| (1) 早期水稻 | ----- | 5 |
| (2) 普通期水稻 | ----- | 5 |
| (3) カンショ | ----- | 5 |
| (4) 大豆 | ----- | 5 |
| (5) ジャガイモ | ----- | 6 |
| (6) かんきつ類（露地栽培） | ----- | 6 |
| (7) 茶 | ----- | 6 |
| (8) 冬春きゅうり | ----- | 6 |
| (9) 冬春ピーマン | ----- | 6 |
| (10) 冬春トマト | ----- | 7 |
| (11) いちご | ----- | 7 |
| (12) 秋冬だいこん | ----- | 7 |
| (13) サトイモ | ----- | 7 |
| 3) 水稻、かんきつ病害の初発日ならびにウンカ類の初飛来日 | | |
| (1) 水稻、かんきつ病害の初発日 | | |
| ア 水稻 | ----- | 8 |
| イ かんきつ | ----- | 8 |
| (2) 予察灯におけるウンカ類、ツマグロヨコバイ、コブノメイガの初飛来日 | --- | 8 |
| 4) 予察灯（白色60W）における水稻害虫の誘殺状況 | | |
| (1) 延岡 | ----- | 9 |
| (2) 佐土原 | ----- | 10 |
| (3) 国富 | ----- | 11 |
| (4) 都城 | ----- | 12 |
| 5) コブノメイガの発生消長 | ----- | 13 |

| | | | |
|----------|----------------------------------|-------|-----|
| 6) | フェロモントラップによる誘殺状況 | | |
| (1) | チャハマキの誘殺状況 | ----- | 1 4 |
| (2) | チャノコカクモンハマキの誘殺状況 | ----- | 1 6 |
| (3) | チャノホソガの誘殺状況 | ----- | 1 8 |
| (4) | ハスモンヨトウの誘殺状況 | ----- | 2 0 |
| (5) | タバコガ・オオタバコガの誘殺状況 | ----- | 2 2 |
| 7) | 果樹カメムシ類の誘殺状況 | | |
| (1) | 予察灯における誘殺状況 | ----- | 2 4 |
| (2) | 合成集合フェロモンによる誘殺状況 | ----- | 2 8 |
| 8) | 農作物有害動植物の発生及び防除状況 | | |
| (1) | 発生経過、発生要因及び防除の概要 | ----- | 3 2 |
| (2) | 発生面積及び防除面積等 | ----- | 3 8 |
| 9) | 有害動植物発生予察事業実試状況 | | |
| (1) | 発表情報一覧（警報、注意報、特殊報、防除情報） | ----- | 4 5 |
| (2) | 情報の内容 | ----- | 4 6 |
| 2 | 病害虫発生予察情報高度化事業 | | |
| 1) | ニカメイガの発生活消長の変化に伴う防除時期の検討 | ----- | 6 4 |
| 2) | 県内におけるチャノキイロアザミウマ新規系統（C 系統）の分布調査 | ----- | 6 6 |
| 3 | 特殊病害虫侵入警戒調査事業 | | |
| 1) | ミバエ類侵入警戒調査 | ----- | 6 8 |
| 2) | アリモドキゾウムシ侵入警戒調査 | ----- | 6 9 |
| 3) | イモゾウムシ侵入警戒調査 | ----- | 7 2 |
| 4) | ミカンキジラミ侵入警戒調査 | ----- | 7 2 |
| 5) | ウメ輪紋ウイルス発生調査 | ----- | 7 2 |
| 6) | キウイフルーツかいよう病Psa3系統の緊急全国調査 | ----- | 7 3 |
| 4 | その他の調査、検定等 | | |
| 1) | BLASTAMによる葉いもちの発生好適条件の判定と現地の発生状況 | ----- | 7 4 |
| 2) | 斑点米カメムシ類の発生状況調査 | ----- | 7 6 |
| 3) | ヒノキ毬果口針鞘数による果樹カメムシ類離脱予測 | ----- | 7 7 |
| 4) | サトイモ疫病の発生状況調査 | ----- | 7 8 |
| Ⅲ | その他 | | |
| 1 | 病害虫防除員の設置状況 | ----- | 7 9 |
| 2 | 巡回調査ほ場の分布図 | ----- | 8 0 |
| 3 | 平成28年気象表 | ----- | 8 1 |

I 組織と業務

1 名称及び所在地

宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課

(兼 宮崎県病害虫防除・肥料検査センター ※ H23.4～)

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 5 8 0 5 番地

2 管轄区域

県内全域 (9市14町3村)

3 職員及び業務

| 職 員 | 業 務 |
|----------------|---|
| 課長(所長) 榎 間 義 幸 | 1 病害虫の発生予察及び情報の提供に関すること 2 病害虫の適正防除指導に関すること 3 病害虫の診断及び検定に関すること 4 重要病害虫の侵入警戒調査に関すること 5 農薬指導取締に関すること 6 農薬安全使用指導に関すること 7 その他植物防疫に関すること 8 肥料の分析及び取締に関すること |
| 主 幹 倉 富 文 代 | |
| 主 査 森 下 勝 | |
| ” 久 野 公 子 | |
| 技 師 若 杉 潤 也 | |
| 非常勤職員 倉 永 知 佳 | |
| 福 川 利 玄 | |
| 野 中 耕 次 | |
| (兼務職員) | |
| 土壤環境部 | |
| 特研兼副部長 有 簾 隆 男 | |
| 主任研究員 小 窪 正 人 | |
| 主任研究員 杉 田 浩 一 | |
| 専門技師 今 村 幸 久 | |

4 業務分掌表 (病害虫防除関係のみ記載)

| 主担当 | 副担当 | 分 掌 事 務 |
|-----|-----|---|
| 榎 間 | 倉 富 | 1 センターの総括に関すること 2 戦略的イノベーション創造プログラムに関すること |
| 倉 富 | 森 下 | 1 植物防疫関係事業の総括に関すること 2 病害虫発生予察並びに情報作成総括に関すること 3 農薬取締に関すること 4 各種協議会の総括に関すること 5 薬品等の保管管理に関すること 6 普通作物・野菜等の病害虫発生予察に関すること |

| 主担当 | 副担当 | 分 掌 事 務 |
|-----|-----|---|
| 森 下 | | 休職 |
| 久 野 | 倉 富 | <ol style="list-style-type: none"> 1 普通作物・野菜等の病虫害発生予察に関する事 2 宮崎方式 ICM 普及ばく進事業に関する事 3 特殊病虫害侵入警戒調査対策事業に関する事 4 病虫害診断対策に関する事 5 農薬取締に関する事 |
| 若 杉 | 久 野 | <ol style="list-style-type: none"> 1 普通作物・果樹・茶等の病虫害発生予察に関する事 2 宮崎方式 ICM 普及ばく進事業に関する事 3 情報ネットワーク保守・管理に関する事 4 病虫害診断対策に関する事 5 農薬取締に関する事 |
| 倉 永 | 若 杉 | <ol style="list-style-type: none"> 1 普通作物・野菜等の病虫害発生予察に関する事 2 発生予察関連資料の作成に関する事 |

Ⅱ 事 業 実 績

1 農作物有害動植物発生予察事業

病虫害発生予察事業は、病虫害の防除を適時で経済的なものにするため、その発生分布・繁殖・気象・農作物の生育状況等を調査し、病虫害による損害の発生を予察し、これに基づく発生予察情報を関係者に提供するものである。

農作物有害動植物発生予察事業実施要綱及び同実施要領に準拠し、予察ほ場の定点調査及び巡回調査を行って病虫害予察方法の確立に努め、発生予報・警報・注意報・特殊報・防除情報を発表して病虫害防除対策の資料にした。

1) 調査の種類及び方法

(1) 指定病虫害

| 区分 | 対象作物名 | 有 害 動 植 物 名 |
|-------|-------|---|
| 普通作物 | イネ | いもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ |
| | サツマイモ | ハスモンヨトウ |
| | ジャガイモ | 疫病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ |
| | ダイズ | 吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ |
| 果樹等作物 | カンキツ | かいよう病、黒点病、そうか病、カメムシ類、ミカンハダニ |
| | チャ | 炭疽病、カンザワハダニ、ハマキムシ類 |
| 野菜 | キュウリ | うどんこ病、灰色かび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ |
| | ピーマン | うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ |
| | トマト | 疫病、灰色かび病、アブラムシ類 |
| | ダイコン | アブラムシ類、コナガ |
| | イチゴ | 灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ |

(2) 指定外病虫害

| 区分 | 対象作物名 | 有 害 動 植 物 名 |
|------|-------|--|
| 普通作物 | イネ | 萎縮病、稲こうじ病、黄萎病、黄化萎縮病、ごま葉枯病、縞葉枯病、白葉枯病、内穎褐変病、苗立枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、アワヨトウ、イチモンジセセリ、イネゾウムシ、イネヒメハモグリバエ、イネヨトウ、シンガレセンチュウ、スクミリンゴガイ、フタオビコヤガ |
| | サツマイモ | 立枯病、つる割病、紫紋羽病、アブラムシ類、イモキバガ、エビガラズズメ、ドウガネブイブイ、ナカジロシタバ |
| | ジャガイモ | 葉巻病、ニジュウヤホシテントウ、ヨトウガ |
| | ダイズ | さび病、紫斑病、立枯性病害、葉焼病、腐敗豆、べと病、モザイク病、ウコンノメイガ、クキモグリバエ、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、マメコガネ、マメシンクイガ、マメヒメサヤムシガ、ミツモンキンウワバ |

| 区分 | 対象作物名 | 有 害 動 植 物 名 |
|-------|-------|---|
| 果樹等作物 | カンキツ | 青かび病、黄斑病、日やけど炭疽病、にせ黄斑病、灰色かび病、アブラムシ類、吸蛾類、クサギカメムシ、コアオハナムグリ、チャノキイロアザミウマ、ツノロウムシ、ヒメヒラタケシキスイ、ミカンハモグリガ、ヤノネカイガラムシ |
| | チャ | 網もち病、白星病、もち病、輪斑病、クワシロカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ、ツマグロアオカスミカメ |
| 野菜 | キュウリ | 疫病、褐斑病、キュウリ退緑黄化病、キュウリ黄化えそ病、菌核病、炭疽病、つる枯病、つる割病、斑点細菌病、モザイク病、アザミウマ類、ウリノメイガ、ウリハムシ、コナジラミ類、チャノホコリダニ、ハモグリバエ類 |
| | ピーマン | 青枯病、疫病、黄化えそ病、菌核病、軟腐病、灰色かび病、白斑病、斑点細菌病、斑点病、モザイク病、アザミウマ類、黒枯病、コナジラミ類、タバコガ、チャノホコリダニ、ハダニ類 |
| | トマト | 青枯病、萎凋病、うどんこ病、菌核病、斑点病、葉かび病、モザイク病、輪紋病、コナジラミ類、トマト黄化葉巻病 (TYLCV)、ハモグリバエ類、すすかび病 |
| | ダイコン | 萎黄病、白さび病、炭疽病、軟腐病、べと病、モザイク病、キスジノミハムシ、ダイコンサルハムシ |
| | イチゴ | 萎黄病、うどんこ病、菌核病、じゃのめ病、炭疽病、輪斑病、ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類 |
| | サトイモ | 疫病 |

(3) 巡回調査ほ場数

| 地域 対象作物名 | 中部 | 南那珂 | 北諸県 | 西諸県 | 児湯 | 東臼杵 | 西臼杵 | 計 |
|-------------|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 早期水稲 | 12 | 6 | | | 10 | 4 | | 32 |
| 普通期水稲 | 4 | | 10 | 8 | | 10 | 8 | 40 |
| ダイズ | 2 | | 6 | | | | | 8 |
| サツマイモ | | 4 | 4 | | 4 | | | 12 |
| ジャガイモ | 4 | | 4 | | 2 | | | 10 |
| カンキツ | 8 | 4 | | | 2 | 4 | | 18 |
| チャ | 2 | 1 | 4 | 2 | 4 | | 4 | 17 |
| 冬春キュウリ | 11 | 2 | 2 | | | 3 | | 18 |
| 冬春ピーマン | 3 | 2 | | | 6 | | | 11 |
| 冬春トマト | 3 | | | | 5 | 2 | | 10 |
| ダイコン | 6 | | | | | 4 | | 10 |
| 冬春イチゴ | 2 | | 3 | 4 | 4 | | | 13 |
| サトイモ | 2 | | 4 | 4 | 2 | | | 12 |
| 計 | 59 | 19 | 37 | 18 | 39 | 27 | 12 | 211 |

2) 主要農作物の病害虫発生概況（平成28年産）

(1) 早期水稻

葉いもちの初発生は5月19日で平年よりもやや早い発生であった。4月上旬の高温・日照不足の影響でイネの生育は軟弱徒長気味に推移したことに加え、6月の日照不足や多雨の影響により感染に好適な条件が続いたことから、葉いもちだけでなく、穂へも感染が拡大した。発生量は期間を通して平年に比べてやや多～多の発生で推移した（病害虫予察防除情報第4号（H28.6.24））。

紋枯病は穂ばらみ期以降に発生がみられたが、その後の上位進展はほとんどみられず、7月中旬の発生量は平年並であった。

スクミリンゴガイの越冬量について、本田は平年と比べてやや少、水路は平年より少の発生であり、5月中旬の分けつ期における発生量は平年並であった。

斑点米カメムシ類は、6月上旬のイタリアンライグラス等飼料作物での生息密度は平年並で、6月中旬の本田での発生面積率は平年に比べて多であったが（病害虫予察防除情報第5号（H28.6.24））、その後は、平年並から平年に比べて少の発生であった。

(2) 普通期水稻

葉いもちは6月中旬から発生が確認され、早期水稻と同様に感染に好適な条件が続いたことから、7月中旬以降は多からやや多の発生で推移した。7～8月の高温により進展が抑制されたものの、一部地域で穂への感染拡大が見られ、穂いもちについてはやや多の発生であった（病害虫予察注意報第2号（H28.8.3））。

紋枯病は7月下旬の巡回調査から確認され、発生量は期間を通して平年並で推移した。

セジロウンカは初飛来が平年並の5月30日で、8月に入り県内の広い範囲で断続的な飛来が見られたが、平年を上回る発生量とはならなかった。

トビロウンカは初飛来が6月16日で平年よりも早く、梅雨時期の県内への飛来は散発的なものであったことや、8月の好天により計画通り防除が行われたこともあり、期間をとおして平年よりやや少の発生であった。

コブノメイガは初飛来が6月11日で前年よりも早かったが、普通期地帯で主要な飛来が確認されたのは8月上旬以降であった。発生量は期間を通して平年に比べてやや少～平年並の発生であった。

斑点米カメムシ類は8月下旬の巡回調査では平年に比べてやや多の発生であったが、概ね平年並の発生であった。

(3) カンショ

ナカジロシタバやハスモンヨトウの8月中旬の発生量は平年に比べてやや多の発生であったが、9月中旬の発生量は平年並であった。イモキバガの発生量は期間を通して平年に比べやや多の発生で推移した。

(4) 大豆

べと病の9月（着莢期）の発生面積は平年並、程度は平年に比べて多の発生であった。その後の収穫物調査では被害粒は平年に比べてやや少の発生であった。また、9月中下旬の多雨の影響により腐敗豆が平年に比べて多の発生であった。

ハスモンヨトウの発生面積は平年並であったが、程度は期間を通して平年に比べてやや多から多の発生であった。吸汁性カメムシは生育後半にやや発生が多くなった。

(5) ジャガイモ

疫病は、4月下旬から5月上旬に曇や雨の日が多く感染に好適な条件となったことから、5月中旬の発生量は平年に比べて多発生となった。

(6) かんきつ類（露地栽培）

そうか病、かいよう病の葉での初発生は平年よりやや早かったが、黒点病は平年より早い発生であった。果実での初発生については、そうか病、黒点病は平年より早く、かいよう病は平年並の発生であった。

ミカンハダニの発生量については、越冬成虫は平年並であった。年間を通しての発生は平年並～やや少の発生となった。

果樹カメムシ類のフェロモントラップでの誘殺数は平年より少なかった。予察灯での誘殺数も平年より少なかった。果樹園での飛来はほとんど地域で確認されなかった。果実への被害も例年に比べて少なかった。

(7) 茶

炭疽病の6, 7, 10月の発生は平年よりやや多かった。輪斑病は9月から発生が増加傾向となった

チャノコカクモンハマキ、チャハマキ及びチャノホソガについては、一部地域で時期によっては平年より多の発生であった。カンザワハダニについては、年間を通して平年よりやや少ない発生で推移した。クワシロカイガラムシは年間を通して平年並～やや少ない発生であった。

(8) 冬春きゅうり（栽培期間：平成27年9月～28年6月）

べと病は年内の発生は少なかったものの年明け以降急激に増加し、最終的には平年と比べてやや多の発生となった。うどんこ病は、発生が少なく、年明け2月までは平年よりも少の発生で推移したが、3月以降急激に発生面積が増加し、最終的には平年並みの発生となった。灰色かび病、褐斑病は平年よりやや少の発生であった。黄化えそ病は、11月から発生ほ場が散見され、その後も新規発生ほ場が増加し、栽培期間を通して発生が確認された。

ミナミキイロアザミウマは栽培期間を通して概ね平年並みの発生であった。タバココナジラミは11月～12月にかけてやや発生面積が増加したが、年明け以降は平年よりもやや少の発生で推移した。

(9) 冬春ピーマン（栽培期間：平成27年9月～28年6月）

ほとんどの病害虫において、平年並みもしくは平年よりやや少の発生であった。

斑点病は年内発生が少なく、年明けに一時発生面積が増加したが、その後、発生面積は減少した。栽培期間を通して平年並みの発生であった。うどんこ病は年内、一時的に発生面積が急増したが、その後減少、平年よりも少ない発生で推移したことから、平年と比べると少発生となった。灰色かび病、モザイク病、疫病は栽培期間を通して発生はみられなかった。

ミナミキイロアザミウマは、栽培期間を通して平年よりも発生面積は少ない発生で推移したが、ほ場によっては、発生が多いほ場も散見され、ほ場間差が目立った。ヒラズハナアザミウマは12月に発生面積が増加したものの、年明け以降は概ね平年並みの発生で推移した。

(10) 冬春トマト（栽培期間：平成27年9月～28年6月）

灰色かび病は1月から発生が確認され、徐々に発生が拡大したが、果実での発生は平年より少ない発生で推移した。疫病については、年明け以降発生面積が増加し、平年と比べるとやや多の発生となった。

タバココナジラミは栽培初期は少ない発生であったが、12月以降増加し、その後も調査終了時まで高い発生面積で推移した。一方、黄化葉巻病は定植直後に発生が多かったものの、その後は平年並の発生であった。

(11) いちご（栽培期間：平成27年9月～28年5月）

うどんこ病は、12月における発生面積率はやや多、発病葉率は多となり、年明け以降も発生は増加し、2月調査時点では、発生面積率、発病率ともに過去10年同時期と比較して、最も高い数値となった（平成27年度病害虫防除情報11号（H28.2.2）、12号（H28.3.1））。灰色かび病は1月から発生がみられたが、全体として平年並～やや少の発生であった。炭疽病は栽培初期から発生がみられたが、その後は栽培期間を通して平年並の発生であった。

ハダニ類は定植直後から多発生となり、11月に注意報を発表した（平成27年度病害虫発生予察注意報第4号（H27.12.1））。年明け1月までは高い発生面積率も増加傾向であったが、2月以降は、発生面積・寄生株率ともに平年並みとなった。アブラムシ類は平年並み、ハスモンヨトウは平年よりやや少の発生であった。

(12) 秋冬だいこん（栽培期間：平成27年9月～27年12月）

秋冬だいこんではモザイク病、萎黄病、べと病、軟腐病いずれも平年並の発生であった。コナガとキスジノミハムシは平年より多、ダイコンサルハムシとアブラムシは平年並の発生であった。

(13) サトイモ（栽培期間：平成28年3月～28年9月）

平成26、27年に2年連続して疫病が多発生したことから、県では「さといも新生プロジェクト会議」を設置し、防除啓発（圃場管理、種芋選別や薬剤散布等）を行っている。

6月中旬に中部及び西諸県地区のマルチ栽培において初発生が確認された。一方、巡回調査圃場では、7月初旬に発生確認以降、急激に蔓延し、9月中旬には前年同程度の発生となった。

3) 水稲、かんきつ病害の初発日ならびにウンカ類の初飛来日

(1)水稲、かんきつ病害の初発日

ア. 水稲

| 種 別 | 早期水稲 | | | 普通期水稲 | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 |
| 葉いもち | 5. 19 | 5. 21 | 5. 15 | 6. 13 | 7. 6 | 6. 10 |
| 穂いもち | 6. 28 | 7. 10 | 7. 6 | 9. 5 | 9. 10 | 9. 7 |
| 紋枯病 | 6. 28 | 7. 3 | 6. 25 | 7. 27 | 8. 4 | 8. 24 |
| 白葉枯病 | — | — | — | — | — | — |

イ. かんきつ

| 種 別 | 春 葉 | | | 果 実 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 |
| そうか病 | 4. 24 | 5. 4 | 4. 28 | 5. 20 | 6. 15 | 6. 15 |
| 黒点病 | 5. 6 | 5. 30 | 5. 1 | 6. 20 | 7. 7 | 6. 15 |
| かいよう病 | 5. 10 | 5. 13 | 5. 11 | 7. 1 | 7. 1 | 7. 6 |

(2)予察灯におけるウンカ類、ツマグロヨコバイ、コブノメイガの初飛来日

| 項 目 | 地区名 年次 | 延 岡 | | | 佐土原 | | | 国 富 | | | 都 城 | | |
|----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| セジロウンカ | | 6. 20 | 6. 9 | 5. 23 | 6. 16 | 6. 11 | 6. 10 | 6. 16 | 6. 19 | 6. 15 | 5. 30 | 6. 11 | 6. 4 |
| トビイロウンカ | | 6. 19 | 7. 6 | 7. 25 | 9. 13 | 7. 28 | — | 6. 16 | 7. 10 | 8. 1 | 6. 21 | 7. 8 | 7. 2 |
| ヒメトビウンカ | | 5. 25 | 6. 26 | 6. 10 | 8. 25 | 7. 22 | 8. 20 | 7. 7 | 7. 7 | 7. 8 | 8. 1 | 6. 21 | 5. 14 |
| ツマグロヨコバイ | | 5. 24 | 5. 23 | 5. 19 | 5. 14 | 5. 26 | 5. 20 | 5. 19 | 5. 19 | 5. 14 | 5. 24 | 5. 27 | 5. 19 |
| コブノメイガ | | — | 7. 19 | — | — | 7. 2 | — | — | 8. 5 | 9. 1 | 8. 27 | 7. 7 | 8. 9 |

4) 予察灯（白色60W）における水稻害虫の誘殺状況

(1) 延岡

| 月 | 半旬 | ツマグロヨコバイ | | セジロウンカ | | トビイロウンカ | | ヒメトビウンカ | |
|----|----|----------|------|--------|------|---------|------|---------|-----|
| | | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 |
| 4 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 1.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 13 | 4.8 | 0 | 1.1 | 0 | 0.0 | 5 | 0.5 |
| | 6 | 32 | 24.4 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 | 6 | 0.0 |
| | 計 | | 45 | 30.2 | 0 | 1.5 | 0 | 0.0 | 11 |
| 6 | 1 | 1 | 18.2 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 66 | 44.2 | 0 | 10.2 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 |
| | 3 | 24 | 26.8 | 0 | 1.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 2 | 28.0 | 5 | 8.2 | 1 | 1.2 | 0 | 0.7 |
| | 5 | 3 | 5.8 | 4 | 15.2 | 1 | 0.2 | 0 | 0.7 |
| | 6 | 0 | 2.2 | 0 | 2.2 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| | 計 | | 96 | 125.2 | 9 | 37.5 | 2 | 1.6 | 1 |
| 7 | 1 | 0 | 0.9 | 0 | 23.9 | 0 | 1.1 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 1 | 1.5 | 0 | 11.4 | 0 | 0.5 | 0 | 0.5 |
| | 3 | 2 | 7.1 | 0 | 14.5 | 0 | 1.7 | 0 | 0.7 |
| | 4 | 2 | 33.8 | 5 | 11.5 | 0 | 0.2 | 0 | 0.4 |
| | 5 | 3 | 44.2 | 10 | 26.6 | 0 | 1.0 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 1 | 68.0 | 4 | 5.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.7 |
| | 計 | | 9 | 155.5 | 19 | 92.9 | 0 | 4.5 | 0 |
| 8 | 1 | 0 | 11.1 | 1 | 3.7 | 0 | 0.6 | 0 | 0.4 |
| | 2 | 8 | 6.6 | 2 | 3.8 | 0 | 0.5 | 0 | 0.5 |
| | 3 | 9 | 20.7 | 10 | 3.8 | 0 | 1.2 | 0 | 0.7 |
| | 4 | 12 | 52.9 | 73 | 51.5 | 0 | 1.5 | 0 | 1.8 |
| | 5 | 4 | 52.9 | 7 | 14.4 | 0 | 3.0 | 2 | 1.1 |
| | 6 | 2 | 20.1 | 17 | 19.1 | 0 | 12.8 | 0 | 1.3 |
| | 計 | | 35 | 164.3 | 110 | 96.3 | 0 | 19.6 | 2 |
| 9 | 1 | 4 | 18.8 | 8 | 14.1 | 0 | 3.7 | 0 | 2.0 |
| | 2 | 6 | 25.4 | 31 | 12.0 | 0 | 30.2 | 0 | 1.3 |
| | 3 | 2 | 7.3 | 21 | 6.2 | 4 | 15.8 | 0 | 0.6 |
| | 4 | 3 | 3.5 | 2 | 16.4 | 2 | 9.9 | 0 | 0.6 |
| | 5 | 14 | 12.2 | 8 | 3.4 | 4 | 4.5 | 0 | 0.3 |
| | 6 | 7 | 1.6 | 0 | 7.3 | 3 | 18.6 | 0 | 2.3 |
| | 計 | | 36 | 68.8 | 70 | 59.4 | 13 | 82.7 | 0 |
| 10 | 1 | 23 | 3.0 | 1 | 2.7 | 3 | 25.7 | 0 | 3.5 |
| | 2 | 9 | 6.1 | 6 | 0.8 | 1 | 37.1 | 7 | 1.3 |
| | 3 | 0 | 1.5 | 1 | 1.3 | 5 | 11.5 | 0 | 0.3 |
| | 4 | 3 | 0.2 | 0 | 0.1 | 99 | 1.8 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.4 | 39 | 3.8 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 8 | 7.2 | 0 | 0.1 |
| | 計 | | 35 | 10.8 | 8 | 5.3 | 155 | 87.1 | 7 |

(2) 佐土原

| | | ツマグロヨコバイ | | セジロウンカ | | トビイロウンカ | | ヒメトビウンカ | |
|----|----|----------|-------|--------|------|---------|------|---------|-----|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 |
| 4 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 1.3 | 0 | 1.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 3 | 2.1 | 0 | 1.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 5 | 4.2 | 0 | 3.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 6 | 1 | 1 | 1.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 2.2 | 0 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 0 | 3.9 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 4 | 0 | 5.4 | 11 | 4.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 5 | 6 | 4.9 | 4 | 5.5 | 0 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 1 | 6.6 | 8 | 8.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 8 | 24.3 | 23 | 19.0 | 0 | 0.4 | 0 |
| 7 | 1 | 1 | 5.2 | 1 | 38.5 | 0 | 0.8 | 0 | 0.2 |
| | 2 | 0 | 6.4 | 0 | 20.6 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 13.8 | 0 | 1.4 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| | 4 | 0 | 40.5 | 0 | 1.8 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| | 5 | 0 | 53.4 | 0 | 23.0 | 0 | 0.9 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 66.3 | 0 | 9.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 |
| | 計 | | 1 | 185.6 | 1 | 94.5 | 0 | 2.5 | 0 |
| 8 | 1 | 0 | 72.8 | 1 | 3.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.3 |
| | 2 | 0 | 25.0 | 0 | 1.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 0 | 37.7 | 0 | 1.8 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| | 4 | 0 | 56.7 | 9 | 0.9 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| | 5 | 2 | 21.7 | 7 | 4.8 | 0 | 0.8 | 1 | 0.4 |
| | 6 | 2 | 155.7 | 7 | 10.3 | 0 | 1.8 | 0 | 0.3 |
| | 計 | | 4 | 369.6 | 24 | 22.3 | 0 | 3.1 | 1 |
| 9 | 1 | 0 | 100.6 | 2 | 3.8 | 0 | 1.1 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 36.8 | 6 | 3.4 | 0 | 1.7 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 0 | 26.2 | 29 | 8.0 | 5 | 1.6 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 8.3 | 2 | 1.7 | 1 | 1.5 | 1 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 7.8 | 0 | 1.2 | 1 | 0.4 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.9 | 0 | 1.6 | 0 | 1.6 | 0 | 0.4 |
| | 計 | | 0 | 180.6 | 39 | 19.7 | 7 | 7.9 | 1 |
| 10 | 1 | 1 | 3.4 | 0 | 1.3 | 0 | 36.0 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 1 | 1.8 | 0 | 0.9 | 0 | 5.7 | 0 | 0.1 |
| | 3 | 0 | 0.2 | 0 | 0.3 | 0 | 27.1 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.7 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.1 | 2 | 0.3 | 3 | 0.5 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.1 | 1 | 0.0 | 2 | 0.5 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 2 | 5.6 | 3 | 2.9 | 5 | 70.5 | 0 |

(3) 国富

| | | ツマグロヨコバイ | | セジロウンカ | | トビイロウンカ | | ヒメトビウンカ | |
|----|----|----------|------|--------|------|---------|------|---------|-----|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 |
| 4 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 3 | 3.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 14 | 8.3 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 6 | 58 | 29.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 計 | | 75 | 41.9 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 |
| 6 | 1 | 7 | 27.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 24 | 66.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 3 | 29 | 35.7 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | — | 29.9 | — | 5.5 | — | 0.5 | — | 0.0 |
| | 5 | — | 21.2 | — | 25.9 | — | 0.1 | — | 0.2 |
| | 6 | — | 4.6 | — | 3.4 | — | 0.2 | — | 0.3 |
| | 計 | | (60) | 185.3 | (0) | 35.0 | (0) | 0.8 | (0) |
| 7 | 1 | — | 5.2 | — | 76.0 | — | 2.1 | — | 0.4 |
| | 2 | 3 | 9.1 | 3 | 87.4 | 0 | 0.5 | 5 | 0.7 |
| | 3 | 3 | 12.6 | 1 | 15.9 | 0 | 1.2 | 0 | 0.4 |
| | 4 | 1 | 12.8 | 1 | 3.3 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 6 | 16.8 | 0 | 7.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.5 |
| | 6 | 0 | 23.0 | 0 | 4.9 | 0 | 0.3 | 0 | 0.3 |
| | 計 | | (13) | 79.4 | (5) | 194.6 | (1) | 4.4 | (5) |
| 8 | 1 | 2 | 24.9 | 2 | 1.6 | 0 | 0.5 | 0 | 4.0 |
| | 2 | 12 | 28.1 | 4 | 1.8 | 0 | 0.2 | 0 | 0.9 |
| | 3 | 39 | 61.5 | 9 | 4.3 | 0 | 1.0 | 0 | 0.6 |
| | 4 | 38 | 47.5 | 0 | 22.0 | 0 | 1.1 | 0 | 0.6 |
| | 5 | 6 | 30.6 | 1 | 5.5 | 0 | 7.3 | 0 | 1.0 |
| | 6 | 5 | 14.6 | 5 | 13.0 | 1 | 9.9 | 0 | 2.0 |
| | 計 | | 102 | 207.2 | 21 | 48.2 | 1 | 20.0 | 0 |
| 9 | 1 | 0 | 5.8 | 2 | 8.4 | 0 | 4.8 | 0 | 0.4 |
| | 2 | 1 | 4.5 | 3 | 3.8 | 2 | 8.9 | 0 | 0.9 |
| | 3 | 2 | 2.4 | 1 | 6.7 | 0 | 10.7 | 1 | 0.5 |
| | 4 | 0 | 2.0 | 0 | 1.1 | 3 | 2.7 | 0 | 0.1 |
| | 5 | 0 | 2.7 | 0 | 1.7 | 1 | 3.1 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.3 | 2 | 0.9 | 33 | 4.5 | 0 | 0.6 |
| | 計 | | 3 | 17.7 | 8 | 22.6 | 39 | 34.7 | 1 |
| 10 | 1 | 3 | 2.6 | 1 | 0.9 | 6 | 6.6 | 0 | 1.0 |
| | 2 | 1 | 3.4 | 5 | 0.4 | 15 | 3.5 | 0 | 0.3 |
| | 3 | 0 | 0.3 | 1 | 1.2 | 2 | 22.1 | 2 | 5.2 |
| | 4 | 0 | 0.3 | 2 | 0.1 | 85 | 2.6 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.1 | 3 | 0.4 | 32 | 8.4 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 2 | 0.1 | 25 | 2.9 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 4 | 6.7 | 14 | 3.2 | 165 | 46.1 | 2 |

※「—」は欠測、()は欠測期間を除く頭数

(4) 都城

| | | ツマグロヨコバイ | | セジロウンカ | | トビイロウンカ | | ヒメトビウンカ | |
|----|----|----------|-------|--------|-------|---------|-------|---------|-----|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 | 本年 | 平年値 |
| 4 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 3 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 0 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 3 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 31 | 4.6 | 2 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 34 | 5.2 | 2 | 0.4 | 0 | 0.1 | 0 |
| 6 | 1 | 7 | 6.2 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 48 | 22.7 | 1 | 14.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3 | 97 | 17.3 | 15 | 9.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 5 | 7.9 | 4 | 26.8 | 0 | 0.1 | 0 | 0.6 |
| | 5 | 0 | 3.1 | 225 | 91.6 | 3 | 8.1 | 0 | 0.2 |
| | 6 | 0 | 6.1 | 34 | 61.6 | 1 | 1.8 | 0 | 1.1 |
| | 計 | | 157 | 63.3 | 280 | 203.4 | 4 | 10.3 | 0 |
| 7 | 1 | 8 | 2.6 | 9 | 702.4 | 0 | 11.3 | 0 | 1.4 |
| | 2 | 5 | 5.8 | 1 | 558.4 | 0 | 3.2 | 0 | 1.3 |
| | 3 | 11 | 15.8 | 9 | 51.9 | 0 | 1.6 | 0 | 0.6 |
| | 4 | 22 | 23.8 | 15 | 12.7 | 0 | 0.5 | 0 | 0.1 |
| | 5 | 14 | 77.3 | 5 | 26.1 | 0 | 1.2 | 0 | 1.3 |
| | 6 | 32 | 128.6 | 1 | 41.1 | 0 | 3.7 | 0 | 3.6 |
| | 計 | | 92 | 253.9 | 40 | 1392.6 | 0 | 21.5 | 0 |
| 8 | 1 | 12 | 73.3 | 2 | 75.2 | 0 | 2.2 | 2 | 1.7 |
| | 2 | 37 | 87.0 | 7 | 7.4 | 0 | 0.6 | 0 | 0.5 |
| | 3 | 96 | 115.9 | 71 | 3.0 | 1 | 1.9 | 1 | 0.4 |
| | 4 | 126 | 97.3 | 21 | 26.0 | 1 | 1.1 | 0 | 0.4 |
| | 5 | 119 | 91.7 | 8 | 14.7 | 0 | 6.4 | 0 | 0.6 |
| | 6 | 49 | 55.3 | 12 | 21.2 | 1 | 23.1 | 0 | 0.5 |
| | 計 | | 439 | 520.5 | 121 | 147.5 | 3 | 35.3 | 3 |
| 9 | 1 | 55 | 53.4 | 1 | 13.1 | 0 | 14.9 | 0 | 0.6 |
| | 2 | 17 | 40.6 | 6 | 6.5 | 7 | 37.4 | 0 | 1.1 |
| | 3 | 8 | 9.7 | 22 | 4.5 | 18 | 7.3 | 1 | 1.0 |
| | 4 | 21 | 6.7 | 11 | 7.2 | 21 | 5.8 | 0 | 6.3 |
| | 5 | 24 | 7.8 | 11 | 6.4 | 23 | 12.8 | 0 | 0.7 |
| | 6 | — | 9.0 | — | 3.2 | — | 33.6 | — | 0.1 |
| | 計 | | (125) | 127.2 | (51) | 40.9 | (69) | 111.8 | (1) |
| 10 | 1 | 214 | 3.6 | 0 | 2.7 | 19 | 156.0 | 0 | 0.7 |
| | 2 | 40 | 3.4 | 2 | 3.2 | 313 | 62.8 | 0 | 1.0 |
| | 3 | 3 | 4.5 | 3 | 0.4 | 172 | 9.7 | 1 | 0.2 |
| | 4 | 17 | 0.3 | 4 | 0.8 | 981 | 1.5 | 0 | 0.2 |
| | 5 | 0 | 0.1 | 2 | 0.3 | 370 | 30.0 | 5 | 0.0 |
| | 6 | 2 | 0.1 | 10 | 0.0 | 128 | 29.4 | 0 | 0.0 |
| | 計 | | 276 | 12.0 | 21 | 7.4 | 1983 | 289.4 | 6 |

※「—」は欠測、()は欠測期間を除く頭数

5) コブノメイガの発消長

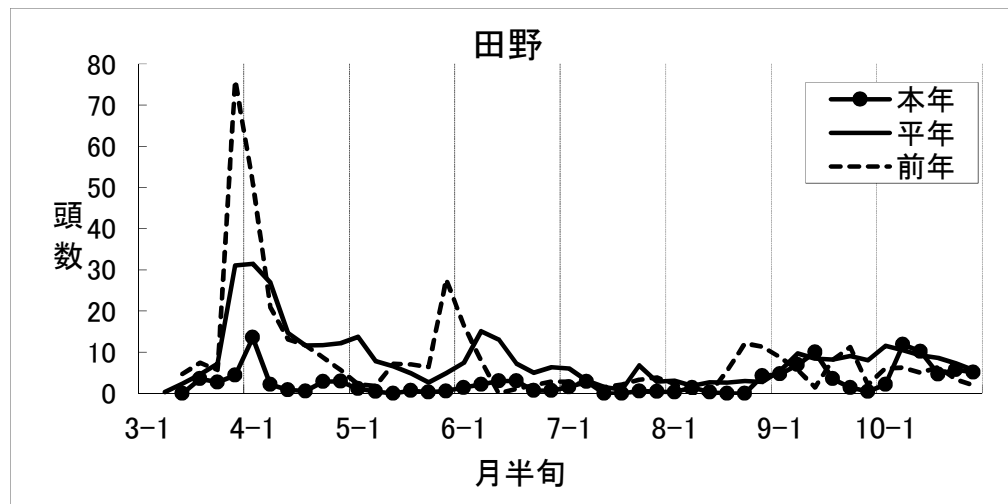
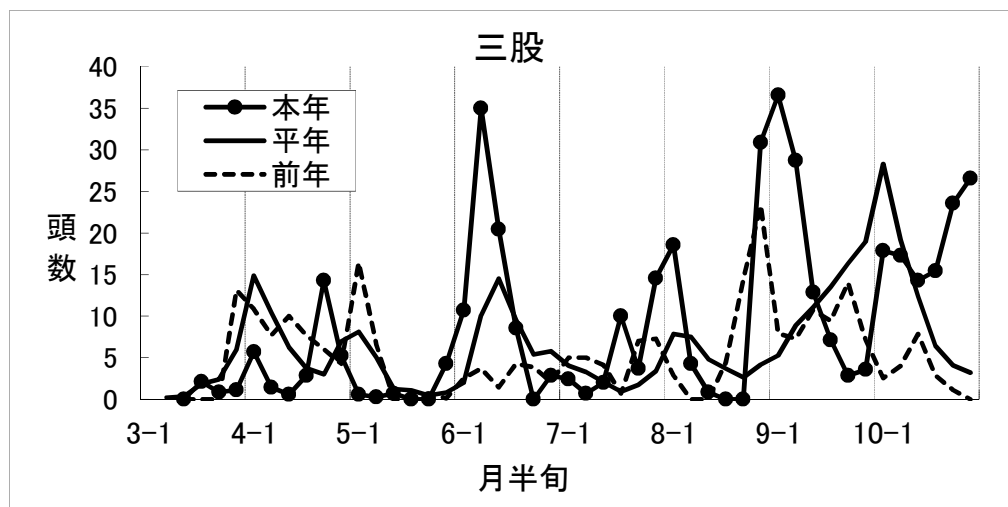
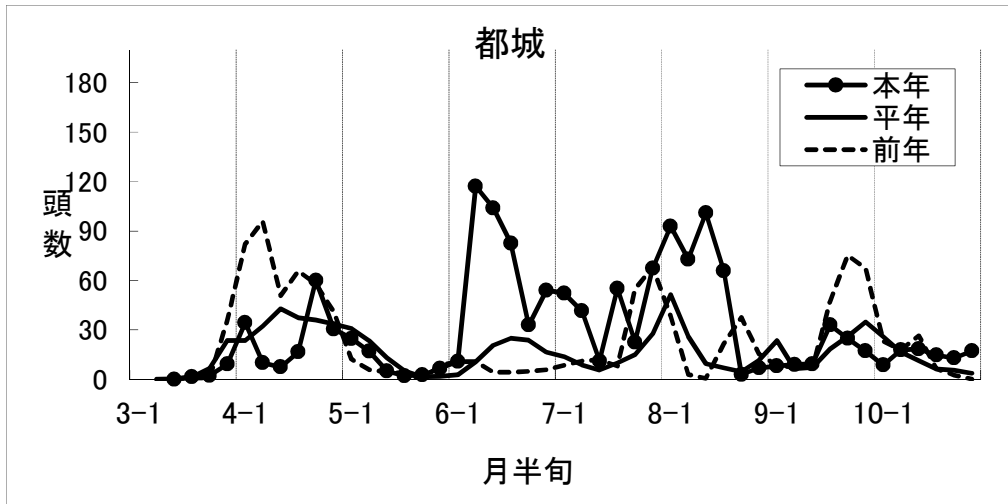
| | 6 月 | | | 7 月 | | | 8 月 | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 都城 | えびの | 佐土原 | 都城 | えびの | 佐土原 | 都城 | えびの | 佐土原 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 3 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 1 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 9 | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 | 8 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 9 | 7 |
| 半旬計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 36 | 27 | 11 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 |
| 半旬計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 11 | 2 | 4 |
| 11 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 半旬計 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 8 |
| 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 半旬計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 17 |
| 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | / | / | 5 |
| 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | / | / | 7 |
| 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | / | / | 3 |
| 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | / | / | 7 |
| 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | / | / | 0 |
| 半旬計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | / | / | 22 |
| 26 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | / | / | 1 |
| 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | / | / | 0 |
| 28 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | / | / | 0 |
| 29 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | / | / | 10 |
| 30 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | / | / | 3 |
| 31 | / | / | / | 3 | 1 | 3 | / | / | 20 |
| 半旬計 | 0 | 3 | 0 | 10 | 1 | 6 | / | / | 34 |
| 月計 | 2 | 3 | 0 | 10 | 11 | 6 | 50 | 31 | 96 |

6) フェロモントラップによる誘殺状況

(1) チャハマキの誘殺状況

| 月 | 半旬 | 都 城 | | | 三 股 | | | 田 野 | | |
|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 3 | 1 | | | | | | | | | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 4 | 5 | 7 |
| | 5 | 2 | 7 | 1 | 1 | 2 | 0 | 3 | 7 | 6 |
| | 6 | 9 | 23 | 36 | 1 | 6 | 13 | 4 | 31 | 76 |
| 4 | 1 | 34 | 24 | 82 | 6 | 15 | 11 | 14 | 31 | 51 |
| | 2 | 10 | 32 | 96 | 1 | 10 | 8 | 2 | 27 | 21 |
| | 3 | 7 | 43 | 51 | 1 | 6 | 10 | 1 | 15 | 13 |
| | 4 | 17 | 37 | 66 | 3 | 4 | 8 | 1 | 12 | 12 |
| | 5 | 60 | 36 | 58 | 14 | 3 | 6 | 3 | 12 | 9 |
| | 6 | 30 | 34 | 41 | 5 | 7 | 4 | 3 | 12 | 6 |
| 5 | 1 | 25 | 31 | 12 | 1 | 8 | 16 | 1 | 14 | 2 |
| | 2 | 17 | 24 | 6 | 0 | 5 | 7 | 0 | 8 | 2 |
| | 3 | 5 | 13 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 7 |
| | 4 | 2 | 5 | 4 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 | 7 |
| | 5 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 6 |
| | 6 | 7 | 2 | 9 | 4 | 1 | 0 | 1 | 5 | 28 |
| 6 | 1 | 11 | 3 | 11 | 11 | 2 | 3 | 1 | 7 | 17 |
| | 2 | 117 | 11 | 11 | 35 | 10 | 4 | 2 | 15 | 8 |
| | 3 | 104 | 21 | 4 | 20 | 15 | 1 | 3 | 13 | 0 |
| | 4 | 83 | 25 | 4 | 9 | 10 | 4 | 3 | 7 | 1 |
| | 5 | 33 | 24 | 5 | 0 | 5 | 4 | 1 | 5 | 2 |
| | 6 | 54 | 16 | 6 | 3 | 6 | 2 | 1 | 6 | 3 |
| 7 | 1 | 52 | 14 | 9 | 2 | 4 | 5 | 2 | 6 | 3 |
| | 2 | 41 | 9 | 11 | 1 | 3 | 5 | 3 | 3 | 2 |
| | 3 | 11 | 6 | 12 | 2 | 2 | 4 | 0 | 2 | 2 |
| | 4 | 55 | 10 | 8 | 10 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 5 | 22 | 15 | 55 | 4 | 2 | 7 | 1 | 7 | 3 |
| | 6 | 67 | 28 | 68 | 15 | 3 | 7 | 0 | 3 | 4 |
| 8 | 1 | 93 | 51 | 38 | 19 | 8 | 3 | 0 | 3 | 2 |
| | 2 | 73 | 26 | 3 | 4 | 8 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | 3 | 101 | 10 | 1 | 1 | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 4 | 66 | 7 | 22 | 0 | 4 | 4 | 0 | 3 | 6 |
| | 5 | 3 | 5 | 38 | 0 | 3 | 14 | 0 | 3 | 12 |
| | 6 | 7 | 12 | 15 | 31 | 4 | 23 | 4 | 3 | 11 |
| 9 | 1 | 8 | 23 | 8 | 37 | 5 | 8 | 5 | 5 | 9 |
| | 2 | 9 | 6 | 7 | 29 | 9 | 7 | 7 | 10 | 6 |
| | 3 | 9 | 7 | 7 | 13 | 11 | 11 | 10 | 8 | 1 |
| | 4 | 33 | 18 | 47 | 7 | 14 | 9 | 4 | 8 | 8 |
| | 5 | 25 | 26 | 75 | 3 | 16 | 14 | 1 | 9 | 11 |
| | 6 | 17 | 35 | 67 | 4 | 19 | 7 | 0 | 8 | 2 |
| 10 | 1 | 9 | 26 | 23 | 18 | 28 | 3 | 2 | 12 | 6 |
| | 2 | 18 | 16 | 18 | 17 | 19 | 4 | 12 | 10 | 6 |
| | 3 | 18 | 11 | 26 | 14 | 12 | 8 | 10 | 9 | 5 |
| | 4 | 15 | 6 | 6 | 15 | 6 | 3 | 5 | 9 | 6 |
| | 5 | 13 | 5 | 3 | 24 | 4 | 1 | 6 | 7 | 3 |
| | 6 | 17 | 4 | 0 | 27 | 3 | 0 | 5 | 6 | 2 |

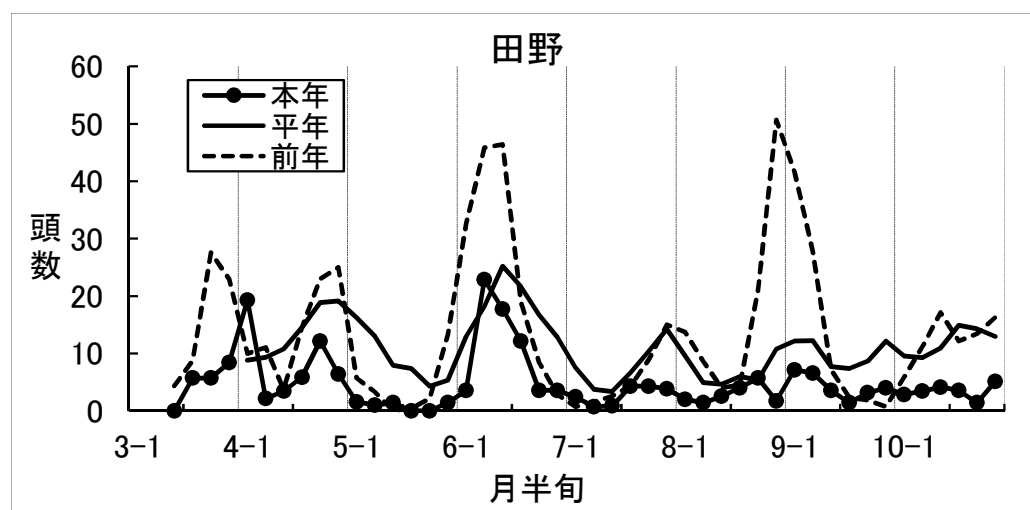
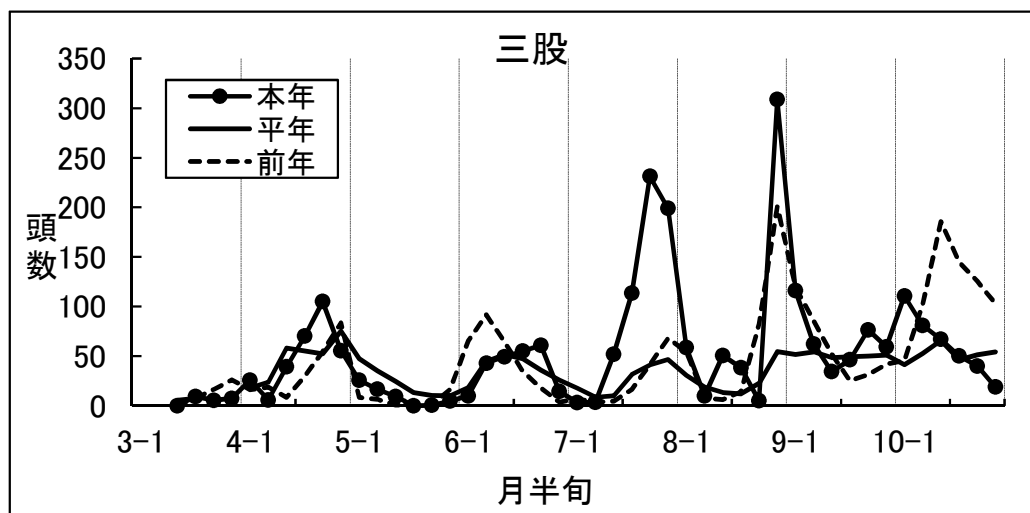
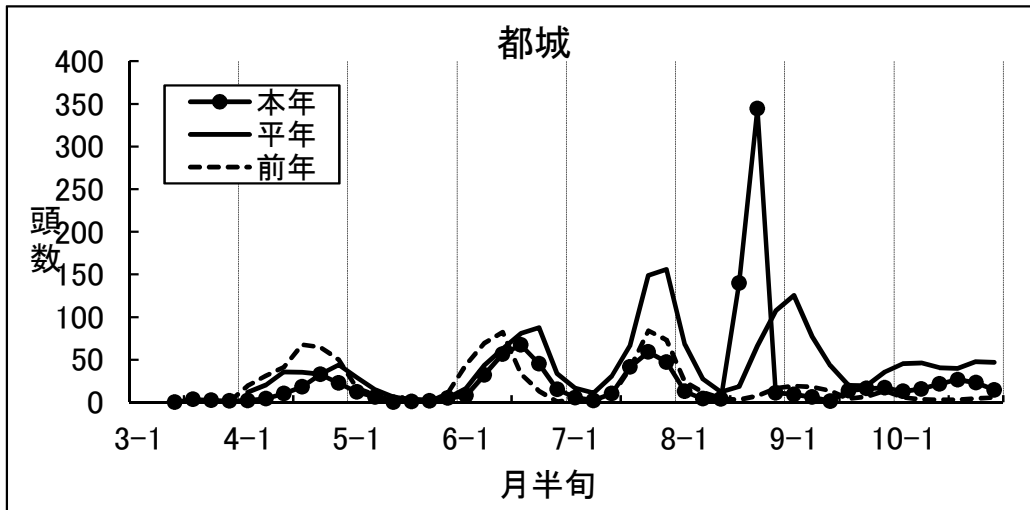
平成28年フェロモントラップ誘殺数(チャハマキ)



(2) チャノココクモンハマキの誘殺状況

| 月 | 半旬 | 都 城 | | | 三 股 | | | 田 野 | | |
|----|----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|----|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 3 | 1 | | | | | | | | | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 2 |
| | 4 | 4 | 0 | 0 | 9 | 4 | 3 | 6 | 2 | 3 |
| | 5 | 2 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 | 6 | 6 | 1 |
| | 6 | 2 | 1 | 5 | 7 | 10 | 7 | 8 | 6 | 5 |
| 4 | 1 | 2 | 11 | 19 | 26 | 18 | 16 | 19 | 9 | 10 |
| | 2 | 4 | 20 | 31 | 6 | 24 | 19 | 2 | 9 | 11 |
| | 3 | 10 | 36 | 41 | 39 | 58 | 9 | 3 | 11 | 4 |
| | 4 | 18 | 35 | 68 | 70 | 55 | 30 | 6 | 15 | 15 |
| | 5 | 33 | 33 | 65 | 105 | 52 | 54 | 12 | 19 | 23 |
| | 6 | 23 | 44 | 50 | 55 | 75 | 84 | 6 | 19 | 25 |
| 5 | 1 | 12 | 29 | 16 | 26 | 47 | 9 | 2 | 16 | 6 |
| | 2 | 6 | 15 | 9 | 17 | 35 | 6 | 1 | 13 | 3 |
| | 3 | 0 | 6 | 2 | 9 | 24 | 1 | 1 | 8 | 0 |
| | 4 | 1 | 4 | 1 | 0 | 13 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| | 5 | 2 | 3 | 1 | 0 | 10 | 1 | 0 | 4 | 2 |
| | 6 | 5 | 5 | 11 | 5 | 10 | 17 | 1 | 5 | 13 |
| 6 | 1 | 8 | 17 | 44 | 10 | 19 | 66 | 4 | 13 | 33 |
| | 2 | 32 | 44 | 70 | 43 | 45 | 92 | 23 | 18 | 46 |
| | 3 | 57 | 63 | 82 | 49 | 52 | 64 | 18 | 25 | 46 |
| | 4 | 67 | 81 | 34 | 55 | 47 | 35 | 12 | 22 | 19 |
| | 5 | 45 | 88 | 13 | 61 | 36 | 18 | 4 | 17 | 8 |
| | 6 | 15 | 34 | 1 | 14 | 26 | 4 | 4 | 13 | 3 |
| 7 | 1 | 6 | 17 | 3 | 3 | 18 | 7 | 2 | 7 | 1 |
| | 2 | 2 | 11 | 2 | 4 | 9 | 4 | 1 | 4 | 2 |
| | 3 | 10 | 31 | 8 | 52 | 10 | 4 | 1 | 3 | 3 |
| | 4 | 41 | 66 | 39 | 114 | 32 | 16 | 4 | 7 | 4 |
| | 5 | 59 | 149 | 84 | 231 | 41 | 42 | 4 | 10 | 9 |
| | 6 | 47 | 156 | 73 | 199 | 47 | 68 | 4 | 14 | 15 |
| 8 | 1 | 13 | 68 | 24 | 59 | 31 | 54 | 2 | 10 | 14 |
| | 2 | 4 | 27 | 12 | 10 | 19 | 8 | 1 | 5 | 9 |
| | 3 | 4 | 12 | 5 | 51 | 13 | 6 | 3 | 5 | 4 |
| | 4 | 140 | 18 | 3 | 38 | 12 | 14 | 4 | 6 | 5 |
| | 5 | 344 | 66 | 7 | 5 | 23 | 82 | 6 | 5 | 21 |
| | 6 | 11 | 107 | 17 | 309 | 55 | 201 | 2 | 11 | 51 |
| 9 | 1 | 9 | 125 | 19 | 116 | 52 | 119 | 7 | 12 | 42 |
| | 2 | 6 | 77 | 18 | 62 | 54 | 85 | 7 | 12 | 28 |
| | 3 | 1 | 43 | 14 | 34 | 48 | 52 | 4 | 8 | 7 |
| | 4 | 14 | 20 | 4 | 46 | 50 | 25 | 1 | 7 | 2 |
| | 5 | 16 | 19 | 7 | 77 | 50 | 31 | 3 | 9 | 2 |
| | 6 | 17 | 36 | 14 | 59 | 51 | 42 | 4 | 12 | 1 |
| 10 | 1 | 13 | 45 | 6 | 111 | 41 | 46 | 3 | 10 | 6 |
| | 2 | 16 | 46 | 3 | 81 | 53 | 102 | 3 | 9 | 11 |
| | 3 | 21 | 41 | 3 | 67 | 66 | 186 | 4 | 11 | 17 |
| | 4 | 27 | 40 | 3 | 50 | 46 | 145 | 4 | 15 | 12 |
| | 5 | 23 | 48 | 5 | 40 | 52 | 125 | 1 | 14 | 13 |
| | 6 | 15 | 47 | 6 | 19 | 54 | 103 | 5 | 13 | 16 |

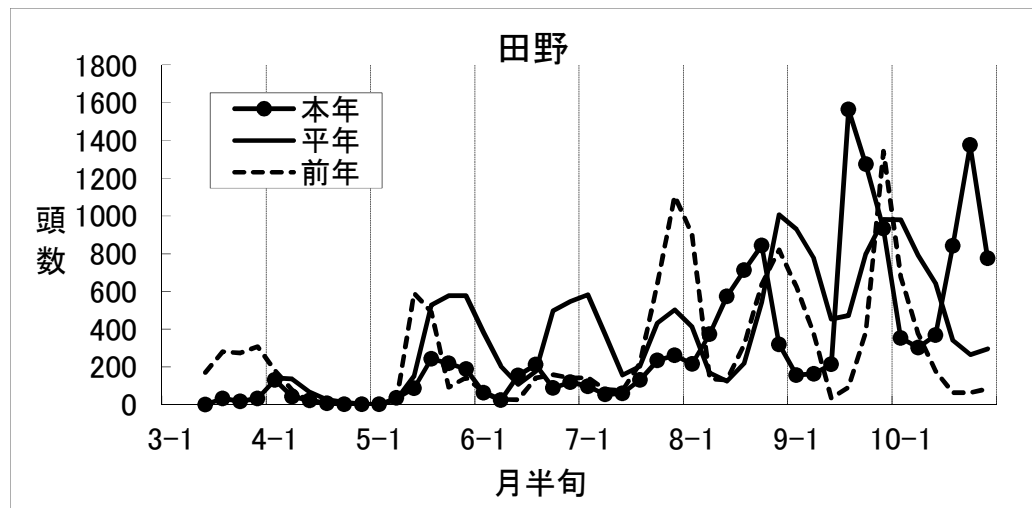
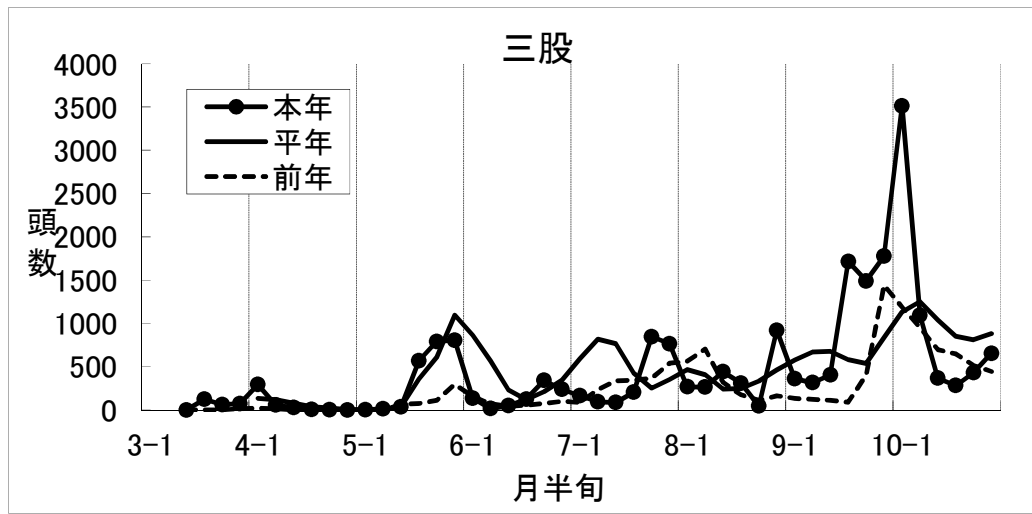
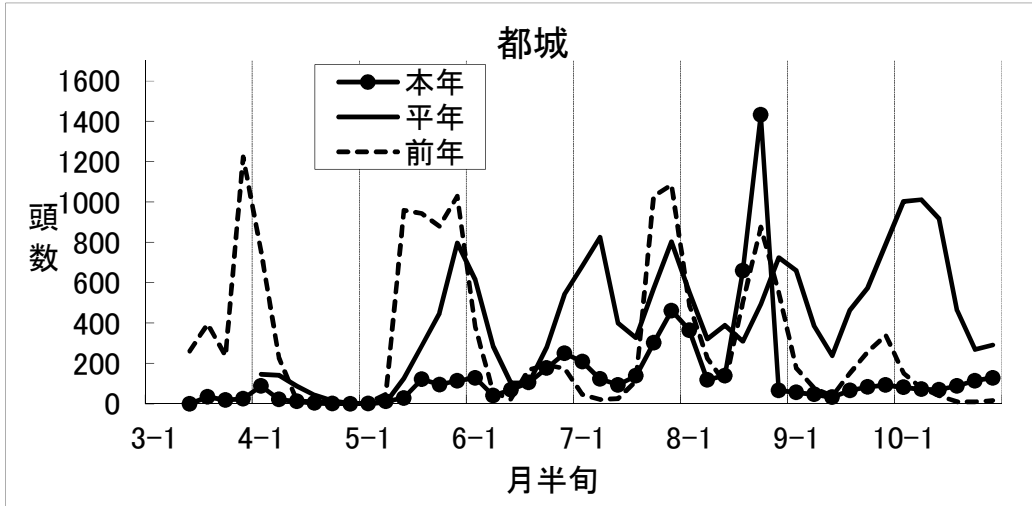
平成28年フェロモントラップ誘殺数(チャノコカクモンハマキ)



(3) チャノホソガの誘殺状況

| 月 | 半旬 | 都 城 | | | 三 股 | | | 田 野 | | |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 3 | 1 | | | | | | | | | |
| | 2 | 5 | 3 | 0 | 13 | 0 | 0 | 37 | 2 | 2 |
| | 3 | 0 | 71 | 261 | 0 | 14 | 0 | 0 | 167 | 170 |
| | 4 | 34 | 119 | 395 | 124 | 64 | 1 | 33 | 137 | 281 |
| | 5 | 19 | 72 | 237 | 61 | 87 | 1 | 17 | 107 | 274 |
| | 6 | 25 | 321 | 1,225 | 74 | 166 | 14 | 32 | 126 | 308 |
| 4 | 1 | 89 | 147 | 757 | 294 | 135 | 18 | 131 | 140 | 182 |
| | 2 | 21 | 143 | 227 | 58 | 119 | 14 | 43 | 136 | 78 |
| | 3 | 12 | 88 | 16 | 28 | 80 | 1 | 22 | 66 | 16 |
| | 4 | 4 | 43 | 10 | 7 | 39 | 4 | 7 | 25 | 10 |
| | 5 | 1 | 15 | 5 | 2 | 21 | 3 | 2 | 12 | 4 |
| | 6 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 5 | 1 | 1 | 2 | 5 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 2 | 12 | 7 | 48 | 14 | 3 | 2 | 35 | 26 | 20 |
| | 3 | 29 | 126 | 960 | 34 | 34 | 63 | 86 | 152 | 590 |
| | 4 | 121 | 287 | 944 | 569 | 357 | 73 | 243 | 528 | 490 |
| | 5 | 95 | 450 | 880 | 791 | 612 | 113 | 219 | 577 | 92 |
| | 6 | 114 | 797 | 1,030 | 806 | 1,094 | 296 | 188 | 578 | 143 |
| 6 | 1 | 129 | 615 | 382 | 136 | 864 | 155 | 63 | 382 | 67 |
| | 2 | 41 | 285 | 58 | 16 | 568 | 70 | 23 | 204 | 27 |
| | 3 | 69 | 103 | 24 | 49 | 230 | 42 | 154 | 107 | 26 |
| | 4 | 106 | 104 | 168 | 125 | 118 | 56 | 211 | 177 | 142 |
| | 5 | 177 | 282 | 193 | 342 | 211 | 76 | 88 | 497 | 159 |
| | 6 | 250 | 543 | 176 | 238 | 346 | 101 | 119 | 546 | 141 |
| 7 | 1 | 210 | 681 | 47 | 165 | 592 | 86 | 97 | 582 | 142 |
| | 2 | 123 | 825 | 21 | 94 | 819 | 235 | 54 | 371 | 81 |
| | 3 | 94 | 401 | 26 | 87 | 766 | 337 | 59 | 157 | 76 |
| | 4 | 139 | 328 | 114 | 206 | 425 | 346 | 131 | 202 | 218 |
| | 5 | 303 | 570 | 1,028 | 847 | 251 | 365 | 234 | 434 | 641 |
| | 6 | 462 | 804 | 1,087 | 766 | 353 | 539 | 261 | 502 | 1,104 |
| 8 | 1 | 365 | 553 | 489 | 268 | 468 | 563 | 214 | 413 | 902 |
| | 2 | 119 | 321 | 226 | 264 | 406 | 703 | 372 | 168 | 139 |
| | 3 | 140 | 389 | 102 | 442 | 241 | 320 | 574 | 125 | 129 |
| | 4 | 660 | 310 | 505 | 310 | 247 | 173 | 712 | 220 | 319 |
| | 5 | 1,432 | 494 | 877 | 45 | 333 | 113 | 843 | 543 | 638 |
| | 6 | 67 | 725 | 551 | 921 | 462 | 163 | 319 | 1,006 | 820 |
| 9 | 1 | 57 | 659 | 176 | 360 | 580 | 132 | 157 | 930 | 625 |
| | 2 | 47 | 384 | 78 | 317 | 671 | 124 | 163 | 778 | 379 |
| | 3 | 33 | 239 | 39 | 405 | 677 | 113 | 213 | 454 | 34 |
| | 4 | 66 | 465 | 152 | 1,714 | 580 | 89 | 1,564 | 472 | 91 |
| | 5 | 84 | 575 | 258 | 1,491 | 538 | 403 | 1,273 | 799 | 385 |
| | 6 | 93 | 789 | 340 | 1,777 | 836 | 1,443 | 933 | 982 | 1,343 |
| 10 | 1 | 82 | 1,003 | 151 | 3,514 | 1,132 | 1,189 | 353 | 980 | 677 |
| | 2 | 72 | 1,012 | 78 | 1,095 | 1,253 | 953 | 303 | 790 | 377 |
| | 3 | 70 | 917 | 40 | 368 | 1,039 | 696 | 368 | 644 | 177 |
| | 4 | 88 | 462 | 11 | 283 | 851 | 646 | 841 | 340 | 63 |
| | 5 | 114 | 270 | 10 | 430 | 810 | 515 | 1,375 | 265 | 63 |
| | 6 | 129 | 291 | 17 | 654 | 883 | 443 | 775 | 295 | 83 |

平成28年フェロモントラップ誘殺数(チャノホソガ)

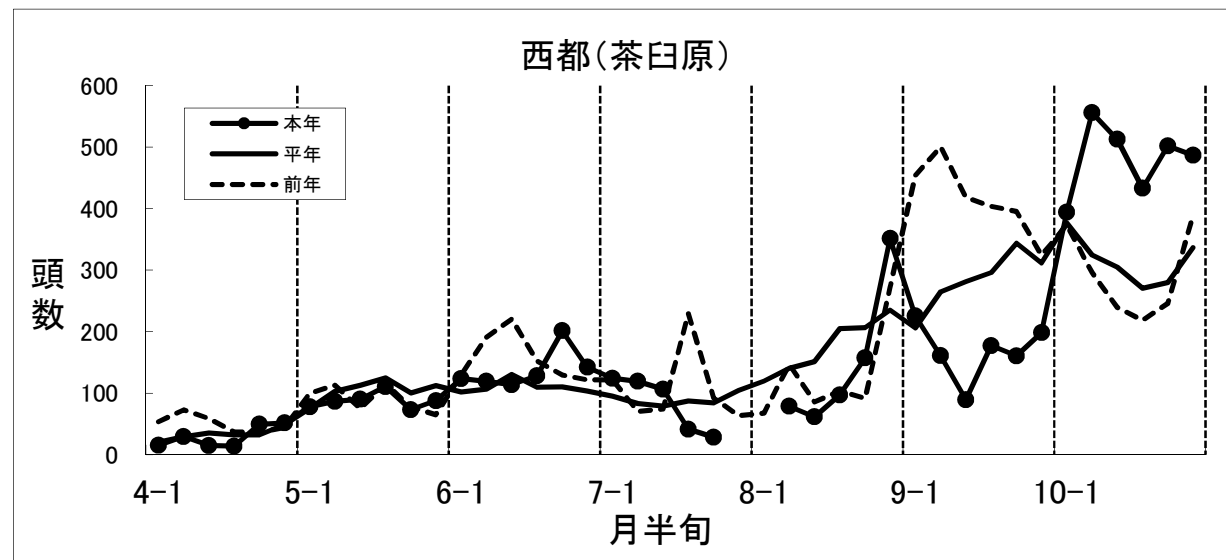
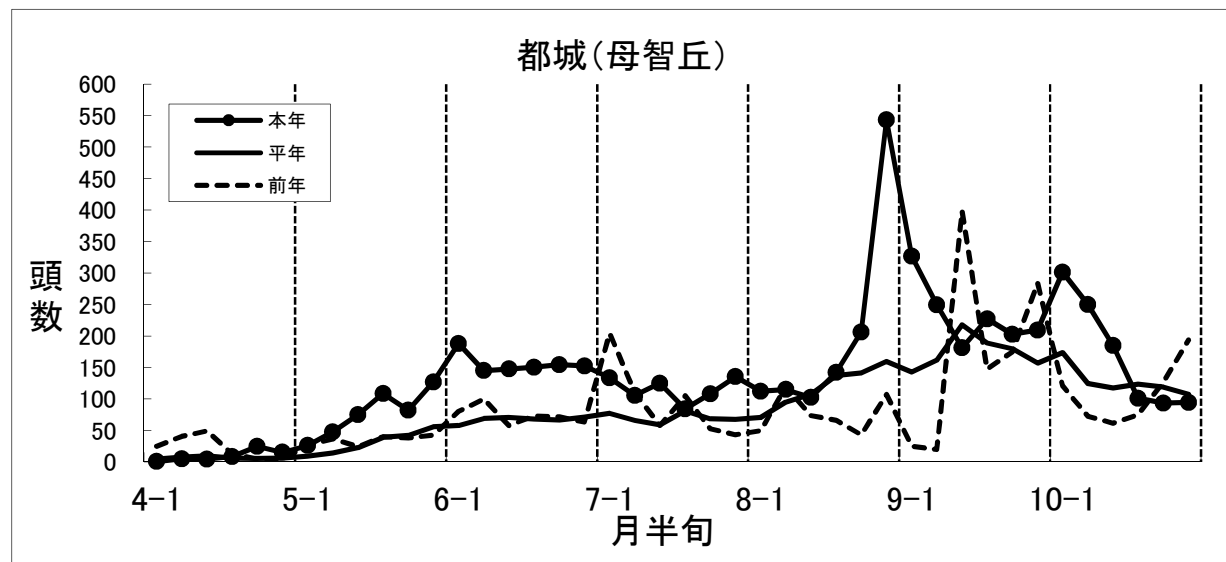
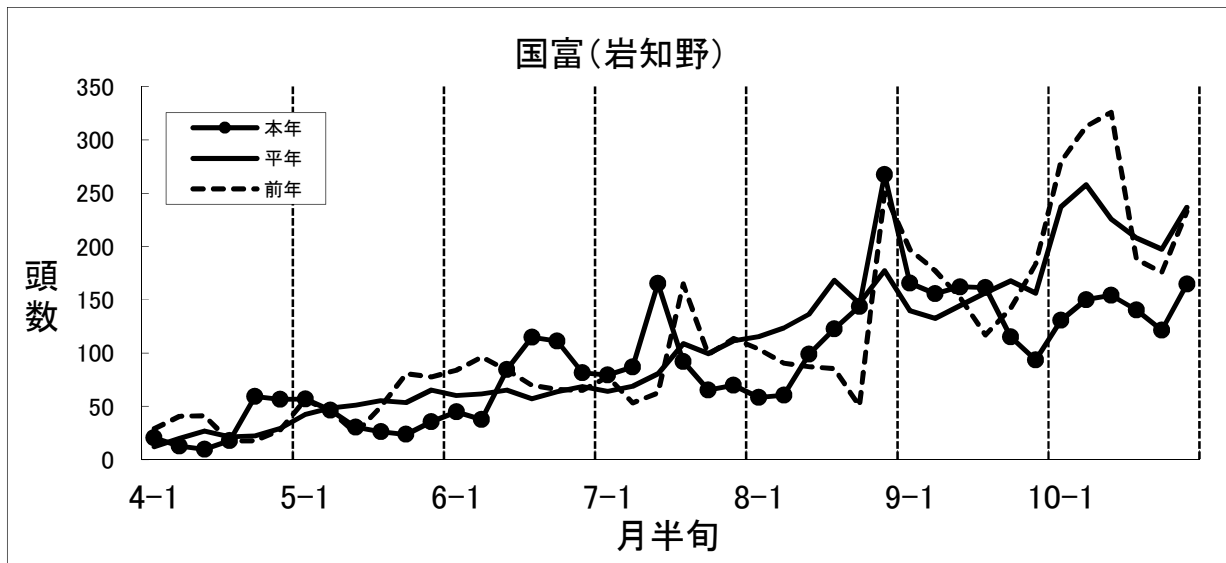


(4) ハスモンヨトウ(雄成虫)の誘殺状況

| 月 | 半旬 | 国富(岩知野) | | | 都城(母智丘) | | | 西都(茶臼原) | | |
|----|----|---------|-------|-----|---------|-------|-----|---------|-------|-----|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 4 | 1 | 21 | 12.4 | 29 | 1 | 4.6 | 25 | 15 | 20.1 | 54 |
| | 2 | 13 | 20.1 | 41 | 5 | 7.5 | 41 | 29 | 29.2 | 73 |
| | 3 | 10 | 26.9 | 41 | 5 | 9.7 | 49 | 15 | 35.3 | 59 |
| | 4 | 18 | 21.7 | 17 | 8 | 5.9 | 13 | 14 | 32.2 | 37 |
| | 5 | 59 | 22.5 | 18 | 25 | 5.5 | 5 | 49 | 32.2 | 37 |
| | 6 | 57 | 29.4 | 28 | 15 | 6.3 | 5 | 51 | 48.8 | 44 |
| 5 | 1 | 57 | 42.5 | 56 | 26 | 9.2 | 26 | 78 | 75.5 | 100 |
| | 2 | 47 | 48.6 | 46 | 48 | 14.0 | 37 | 87 | 102.8 | 113 |
| | 3 | 31 | 51.2 | 25 | 75 | 22.8 | 24 | 90 | 113.0 | 75 |
| | 4 | 26 | 55.5 | 50 | 109 | 39.2 | 40 | 111 | 124.6 | 115 |
| | 5 | 24 | 53.8 | 81 | 82 | 42.4 | 38 | 73 | 100.2 | 77 |
| | 6 | 36 | 65.5 | 78 | 127 | 55.8 | 43 | 88 | 112.2 | 65 |
| 6 | 1 | 45 | 60.3 | 84 | 188 | 58.0 | 80 | 124 | 101.7 | 130 |
| | 2 | 38 | 61.7 | 96 | 145 | 68.9 | 100 | 119 | 106.7 | 191 |
| | 3 | 85 | 65.4 | 84 | 148 | 70.8 | 58 | 114 | 130.3 | 221 |
| | 4 | 115 | 57.4 | 70 | 150 | 67.9 | 73 | 128 | 109.5 | 152 |
| | 5 | 111 | 63.9 | 66 | 154 | 66.7 | 72 | 201 | 110.2 | 130 |
| | 6 | 82 | 68.8 | 65 | 153 | 71.2 | 64 | 142 | 103.3 | 121 |
| 7 | 1 | 79 | 64.1 | 78 | 134 | 77.1 | 204 | 124 | 95.2 | 121 |
| | 2 | 87 | 68.9 | 53 | 106 | 66.2 | 110 | 119 | 83.4 | 70 |
| | 3 | 165 | 80.8 | 63 | 125 | 59.0 | 58 | 106 | 78.8 | 74 |
| | 4 | 92 | 108.8 | 165 | 84 | 81.1 | 105 | 41 | 87.5 | 229 |
| | 5 | 65 | 99.6 | 99 | 108 | 68.4 | 53 | 28 | 84.0 | 92 |
| | 6 | 70 | 111.5 | 114 | 135 | 67.7 | 43 | — | 104.5 | 63 |
| 8 | 1 | 58 | 115.6 | 104 | 112 | 70.5 | 50 | — | 119.4 | 68 |
| | 2 | 61 | 123.7 | 91 | 115 | 95.1 | 119 | 79 | 140.1 | 146 |
| | 3 | 99 | 136.4 | 87 | 102 | 107.6 | 74 | 61 | 151.4 | 86 |
| | 4 | 123 | 168.1 | 85 | 142 | 137.1 | 66 | 97 | 205.1 | 103 |
| | 5 | 144 | 146.7 | 50 | 206 | 141.5 | 43 | 157 | 206.5 | 91 |
| | 6 | 267 | 177.4 | 250 | 543 | 159.8 | 107 | 351 | 235.3 | 272 |
| 9 | 1 | 166 | 139.7 | 197 | 327 | 143.0 | 301 | 225 | 206.2 | 454 |
| | 2 | 156 | 132.7 | 177 | 250 | 161.4 | 372 | 161 | 265.0 | 501 |
| | 3 | 162 | 144.6 | 152 | 181 | 217.8 | 399 | 89 | 281.2 | 418 |
| | 4 | 161 | 156.6 | 117 | 227 | 189.1 | 147 | 177 | 296.0 | 404 |
| | 5 | 115 | 167.6 | 142 | 203 | 179.9 | 175 | 160 | 343.7 | 395 |
| | 6 | 94 | 156.4 | 184 | 209 | 157.1 | 284 | 198 | 311.6 | 324 |
| 10 | 1 | 131 | 237.3 | 280 | 301 | 174.0 | 121 | 394 | 376.9 | 374 |
| | 2 | 150 | 257.8 | 312 | 250 | 124.5 | 73 | 556 | 324.8 | 296 |
| | 3 | 154 | 225.6 | 326 | 185 | 117.2 | 61 | 513 | 304.7 | 239 |
| | 4 | 140 | 207.9 | 188 | 101 | 123.3 | 75 | 433 | 270.3 | 219 |
| | 5 | 121 | 197.4 | 176 | 94 | 119.2 | 127 | 502 | 279.6 | 246 |
| | 6 | 165 | 236.8 | 233 | 94 | 107.6 | 194 | 487 | 336.7 | 389 |

※「—」は欠測

平成28年度フェロモントラップ誘殺数(ハスモンヨトウ)



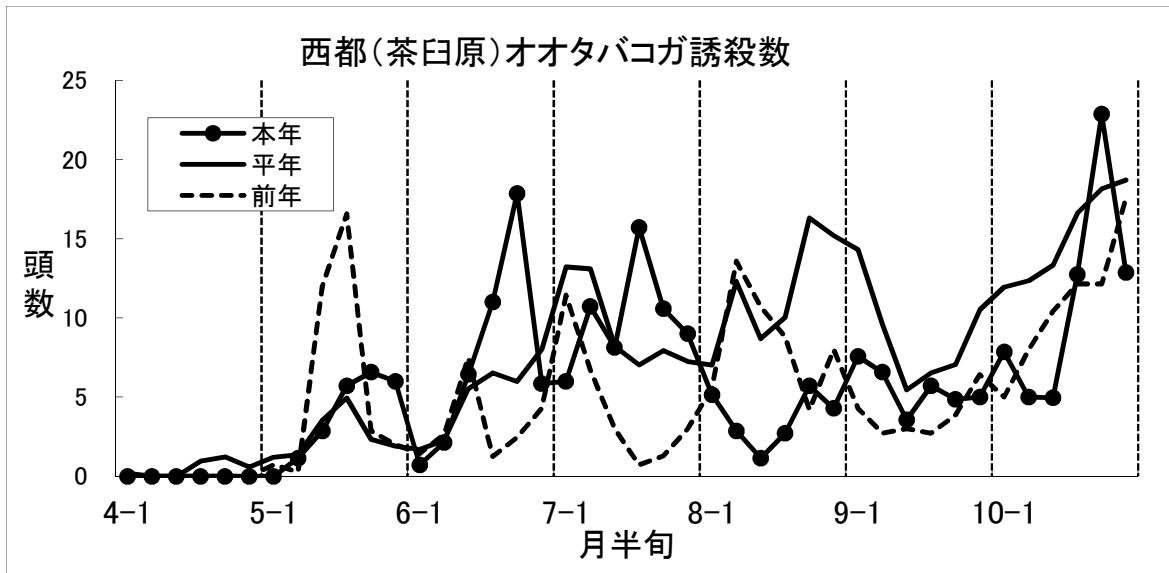
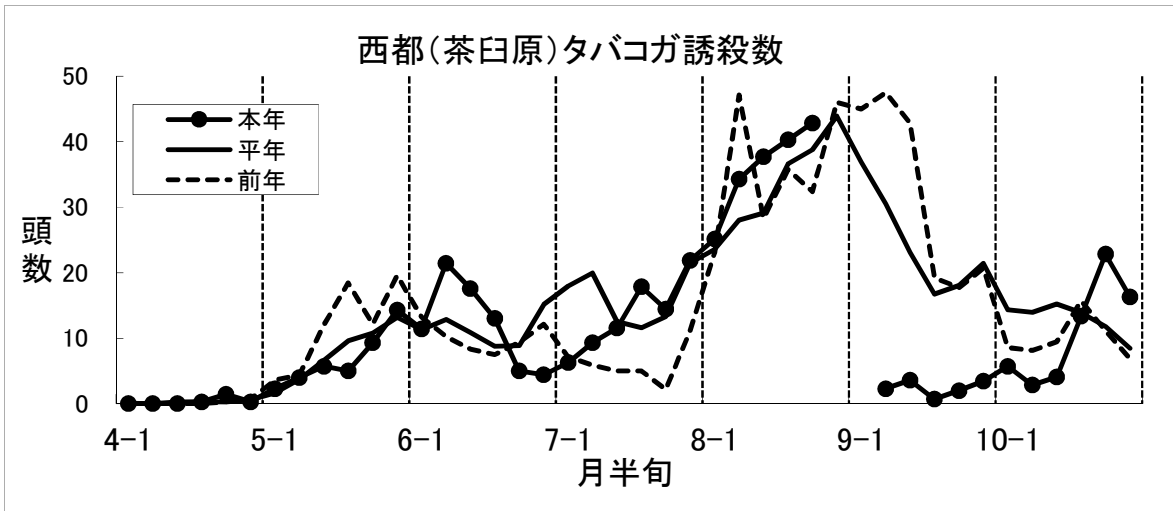
(5) タバコガ・オオタバコガ (雄成虫) の誘殺状況

| 月 | 半旬 | タバコガ | | | オオタバコガ | | |
|----|----|------|------|----|--------|------|----|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 4 | 1 | 0 | 0.1 | 0 | 0 | 0.2 | 0 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0.2 | 0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0.3 | 0 | 0 | 1.0 | 0 |
| | 5 | 1 | 0.3 | 0 | 0 | 1.2 | 0 |
| | 6 | 0 | 0.6 | 1 | 0 | 0.6 | 0 |
| 5 | 1 | 2 | 1.6 | 4 | 0 | 1.2 | 1 |
| | 2 | 4 | 3.7 | 4 | 1 | 1.4 | 0 |
| | 3 | 6 | 6.6 | 12 | 3 | 3.5 | 12 |
| | 4 | 5 | 9.6 | 18 | 6 | 4.9 | 17 |
| | 5 | 9 | 10.8 | 12 | 7 | 2.3 | 3 |
| | 6 | 14 | 13.2 | 20 | 6 | 1.9 | 2 |
| 6 | 1 | 11 | 11.3 | 13 | 1 | 1.7 | 1 |
| | 2 | 21 | 12.9 | 10 | 2 | 2.3 | 3 |
| | 3 | 18 | 10.8 | 8 | 6 | 5.5 | 8 |
| | 4 | 13 | 8.8 | 8 | 11 | 6.5 | 1 |
| | 5 | 5 | 8.9 | 9 | 18 | 6.0 | 2 |
| | 6 | 4 | 15.2 | 12 | 6 | 8.0 | 4 |
| 7 | 1 | 6 | 18.0 | 7 | 6 | 13.2 | 11 |
| | 2 | 9 | 19.9 | 6 | 11 | 13.1 | 7 |
| | 3 | 12 | 12.5 | 5 | 8 | 8.2 | 3 |
| | 4 | 18 | 11.6 | 5 | 16 | 7.0 | 1 |
| | 5 | 14 | 13.3 | 2 | 11 | 7.9 | 1 |
| | 6 | 22 | 21.5 | 11 | 9 | 7.2 | 3 |
| 8 | 1 | 25 | 23.6 | 23 | 5 | 7.0 | 6 |
| | 2 | 34 | 28.0 | 47 | 3 | 12.3 | 14 |
| | 3 | 38 | 29.1 | 28 | 1 | 8.7 | 11 |
| | 4 | 40 | 36.6 | 36 | 3 | 10.0 | 9 |
| | 5 | 43 | 38.8 | 32 | 6 | 16.3 | 4 |
| | 6 | — | 43.9 | 46 | 4 | 15.2 | 8 |
| 9 | 1 | — | 36.9 | 45 | 8 | 14.3 | 4 |
| | 2 | 2 | 30.5 | 48 | 7 | 9.6 | 3 |
| | 3 | 4 | 23.1 | 43 | 4 | 5.4 | 3 |
| | 4 | 1 | 16.7 | 19 | 6 | 6.5 | 3 |
| | 5 | 2 | 18.0 | 18 | 5 | 7.0 | 4 |
| | 6 | 3 | 21.5 | 21 | 5 | 10.5 | 6 |
| 10 | 1 | 6 | 14.3 | 9 | 8 | 11.9 | 5 |
| | 2 | 3 | 14.0 | 8 | 5 | 12.3 | 8 |
| | 3 | 4 | 15.2 | 9 | 5 | 13.3 | 10 |
| | 4 | 13 | 13.9 | 16 | 13 | 16.6 | 12 |
| | 5 | 23 | 11.8 | 11 | 23 | 18.1 | 12 |
| | 6 | 16 | 8.4 | 7 | 13 | 18.7 | 18 |

※ フェロモントラップ設置地点：西都市茶白原

※ 「—」は欠測

平成28年度フェロモントラップ誘殺数(タバコガ・オオタバコガ)



7)果樹カメムシ類の誘殺状況

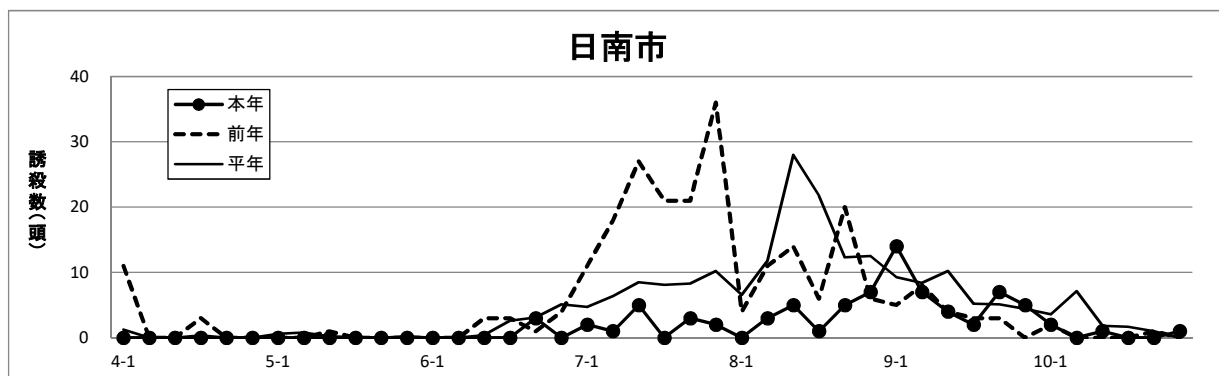
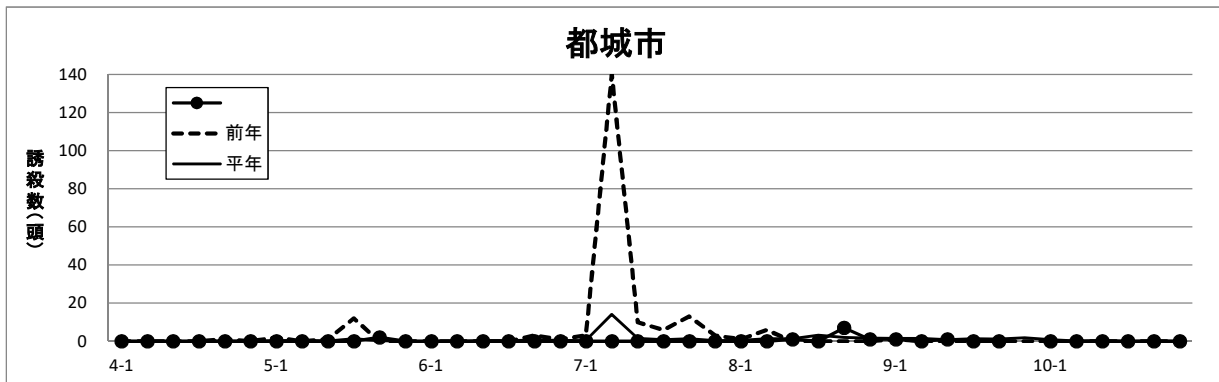
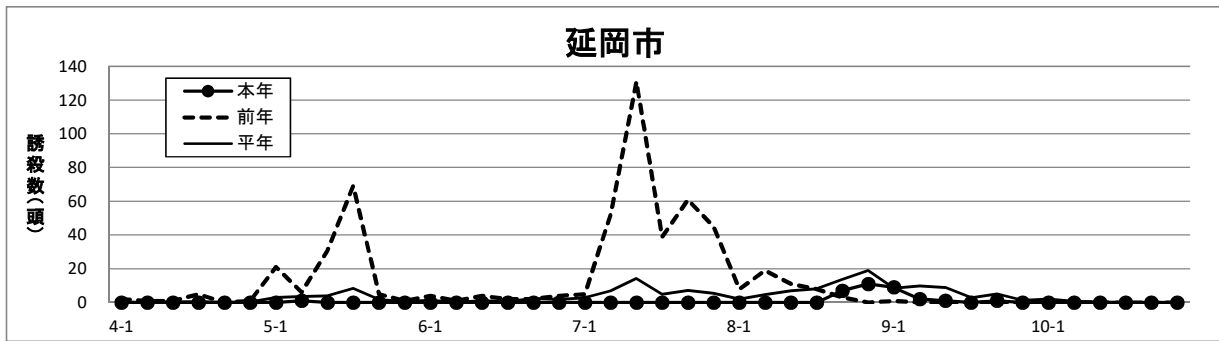
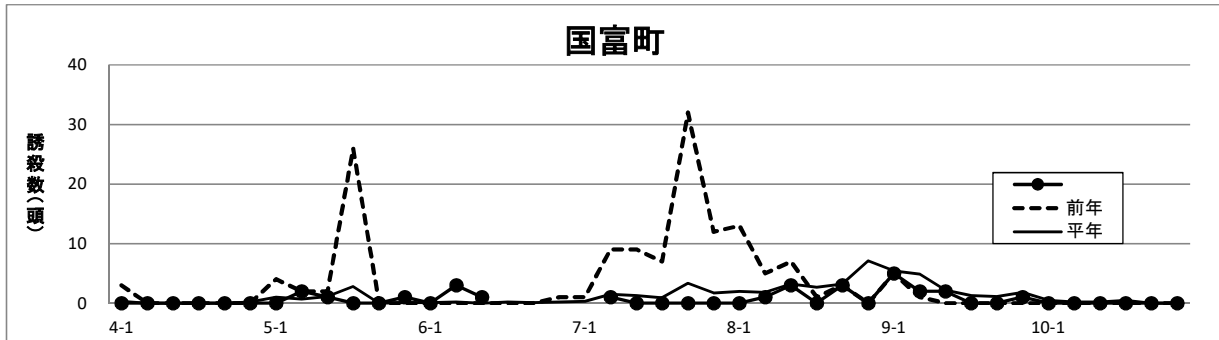
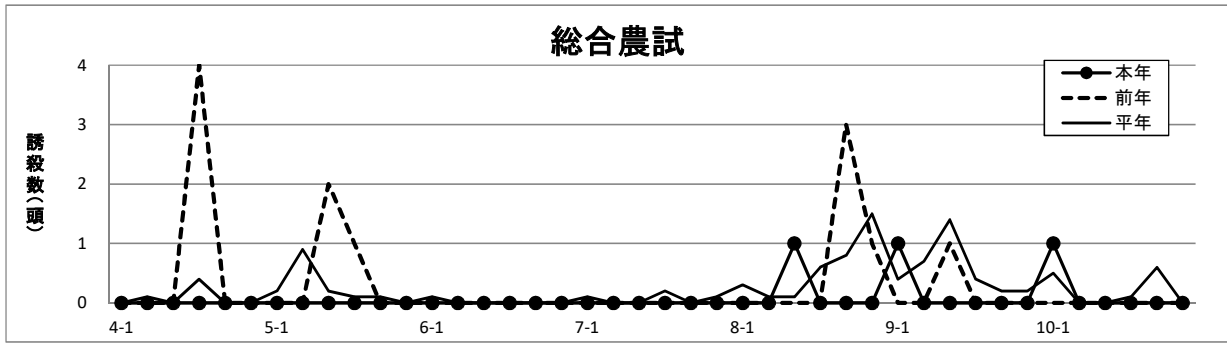
(1)予察灯における誘殺状況

①チャバネアオカメムシの誘殺状況

| 月 | 半旬 | 総合農試 | | | 国富 | | | 延岡 | | | 都城 | | | 日南 | | |
|----|----|------|----|----|------|-----|----|----|-----|-----|------|-----|----|----|-----|-----|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 |
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 1 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 21 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 6 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 31 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 26 | 3 | 0 | 69 | 8 | 0 | 12 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | — | 1 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | 5 |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | — | 1 | 0 | 0 | 5 | 3 | 0 | 3 | 0 | 2 | 11 | 5 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 2 | 0 | 52 | 7 | 0 | 140 | 14 | 1 | 18 | 6 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 | 0 | 131 | 14 | 0 | 10 | 2 | 5 | 27 | 9 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 | 0 | 39 | 5 | 0 | 6 | 1 | 0 | 21 | 8 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32 | 3 | 0 | 61 | 7 | 0 | 13 | 1 | 3 | 21 | 8 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | 0 | 45 | 6 | 0 | 3 | 0 | 2 | 36 | 10 |
| 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 2 | 0 | 8 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | 7 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 2 | 0 | 19 | 5 | 0 | 6 | 1 | 3 | 11 | 12 |
| | 3 | 1 | 0 | 0 | 3 | 7 | 3 | 0 | 11 | 7 | 1 | 0 | 1 | 5 | 14 | 28 |
| | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 8 | 8 | 0 | 0 | 3 | 1 | 6 | 22 |
| | 5 | 0 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 7 | 3 | 14 | 7 | 0 | 2 | 5 | 20 | 12 |
| | 6 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 7 | 11 | 0 | 19 | 1 | 0 | 2 | 7 | 6 | 13 |
| 9 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 5 | 5 | 9 | 1 | 9 | 1 | 1 | 2 | 14 | 5 | 9 |
| | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 5 | 2 | 0 | 10 | 0 | 0 | 2 | 7 | 8 | 8 |
| | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 9 | 1 | 0 | 1 | 4 | 4 | 10 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 5 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 1 | 7 | 3 | 5 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | — | 0 | 2 | 5 | 0 | 4 |
| 10 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 5 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 合計 | | 3 | 12 | 10 | (26) | 143 | 54 | 32 | 543 | 166 | (13) | 203 | 44 | 80 | 247 | 212 |

※「—」は欠測、()は欠測期間を除く頭数

平成28年予察灯における誘殺数(チャバネアオカメムシ)

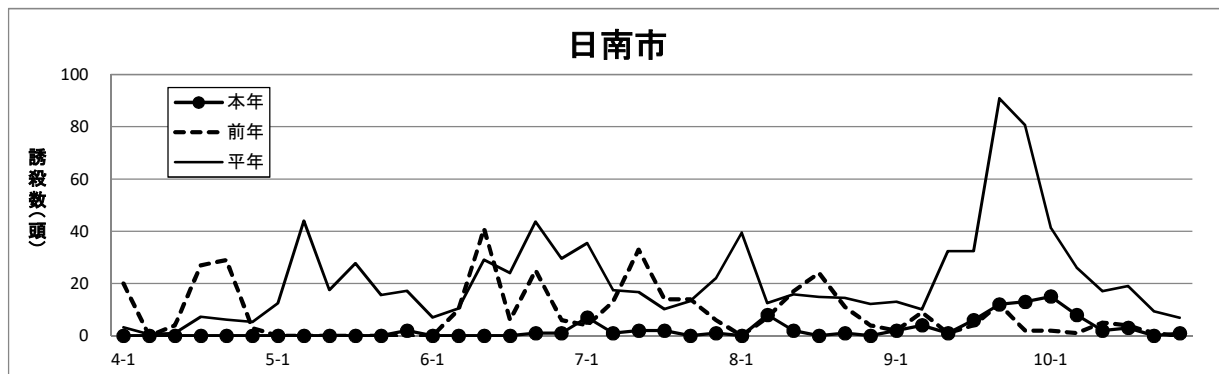
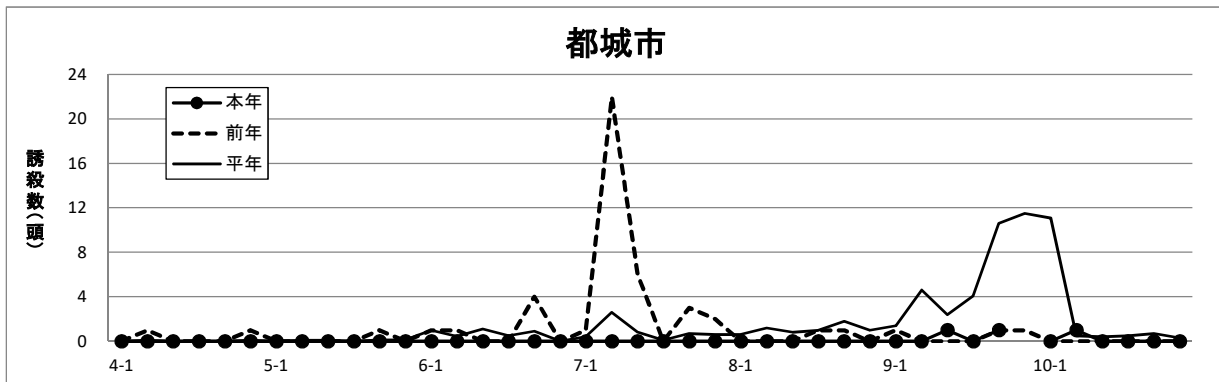
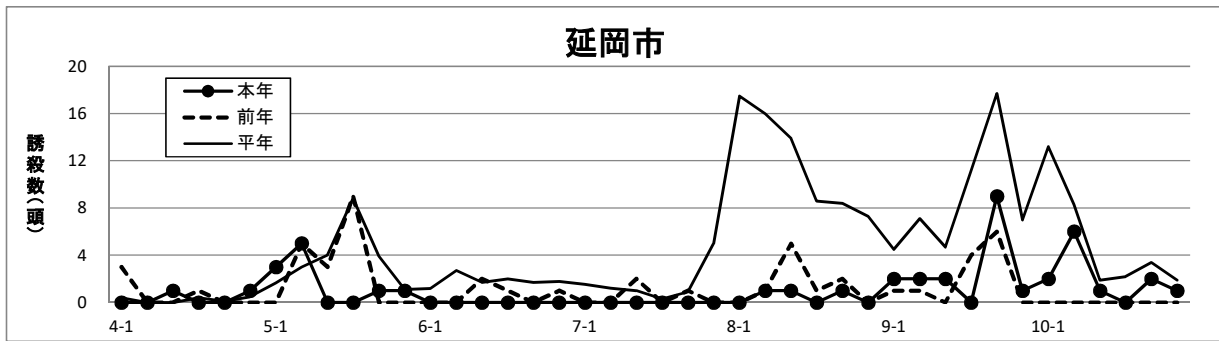
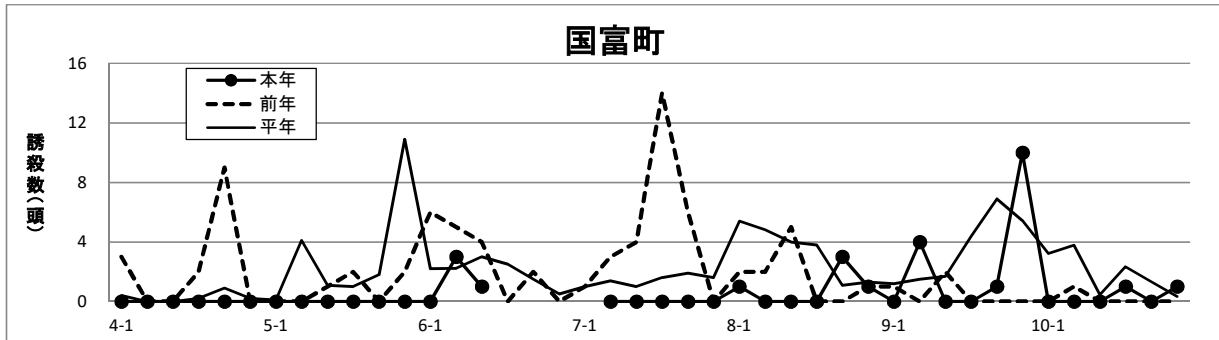
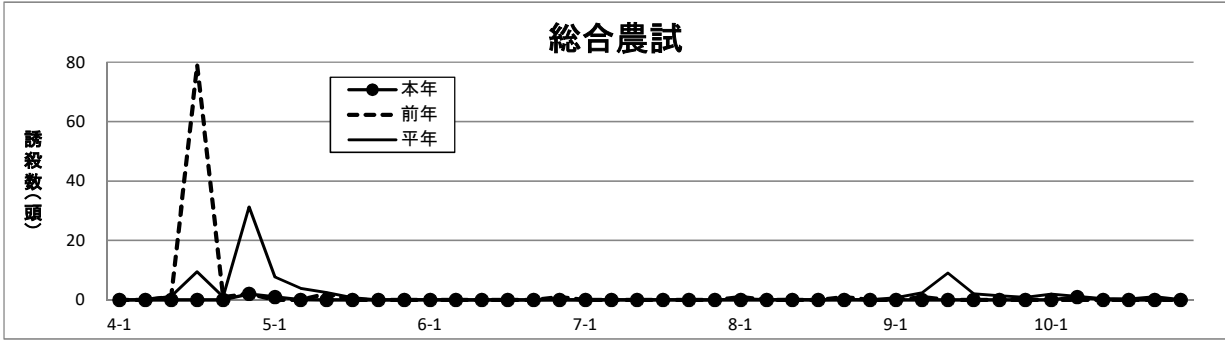


②ツヤアオカメムシの誘殺状況

| 月 | 半旬 | 総合農試 | | | 国富 | | | 延岡 | | | 都城 | | | 日南 | | |
|----|----|------|----|----|------|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 |
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 3 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 |
| | 4 | 0 | 79 | 10 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 7 |
| | 5 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 6 |
| | 6 | 2 | 2 | 31 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 5 |
| 5 | 1 | 1 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 | 5 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 |
| | 3 | 0 | 2 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 16 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 17 |
| 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 10 | 11 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 41 | 29 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 | 24 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | — | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 1 | 25 | 44 |
| | 6 | 0 | 1 | 0 | — | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 30 |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | — | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 7 | 4 | 35 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 22 | 3 | 1 | 13 | 17 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 6 | 1 | 2 | 33 | 17 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 14 | 10 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 14 | 13 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 5 | 0 | 2 | 1 | 6 | 22 |
| 8 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 5 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 40 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 1 | 1 | 16 | 0 | 0 | 1 | 8 | 7 | 13 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 4 | 1 | 5 | 14 | 0 | 0 | 1 | 2 | 17 | 16 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 9 | 0 | 1 | 1 | 0 | 24 | 15 |
| | 5 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 | 8 | 0 | 1 | 2 | 1 | 11 | 15 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 12 |
| 9 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 13 |
| | 2 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 2 | 2 | 1 | 7 | 0 | 0 | 5 | 4 | 9 | 10 |
| | 3 | 0 | 0 | 9 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 5 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 32 |
| | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 11 | 0 | 0 | 4 | 6 | 4 | 32 |
| | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 9 | 6 | 18 | 1 | 1 | 11 | 12 | 12 | 91 |
| | 6 | 0 | 0 | 1 | 10 | 0 | 5 | 1 | 0 | 7 | — | 1 | 12 | 13 | 2 | 81 |
| 10 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 13 | 0 | 0 | 11 | 15 | 2 | 41 |
| | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 6 | 0 | 8 | 1 | 0 | 1 | 8 | 1 | 26 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 17 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 19 |
| | 5 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| 合計 | | 4 | 89 | 81 | (26) | 78 | 94 | 43 | 49 | 200 | (3) | 48 | 64 | 95 | 361 | 905 |

※「—」は欠測、()は欠測期間を除く頭数

平成28年予察灯における誘殺数(ツヤアオカメムシ)



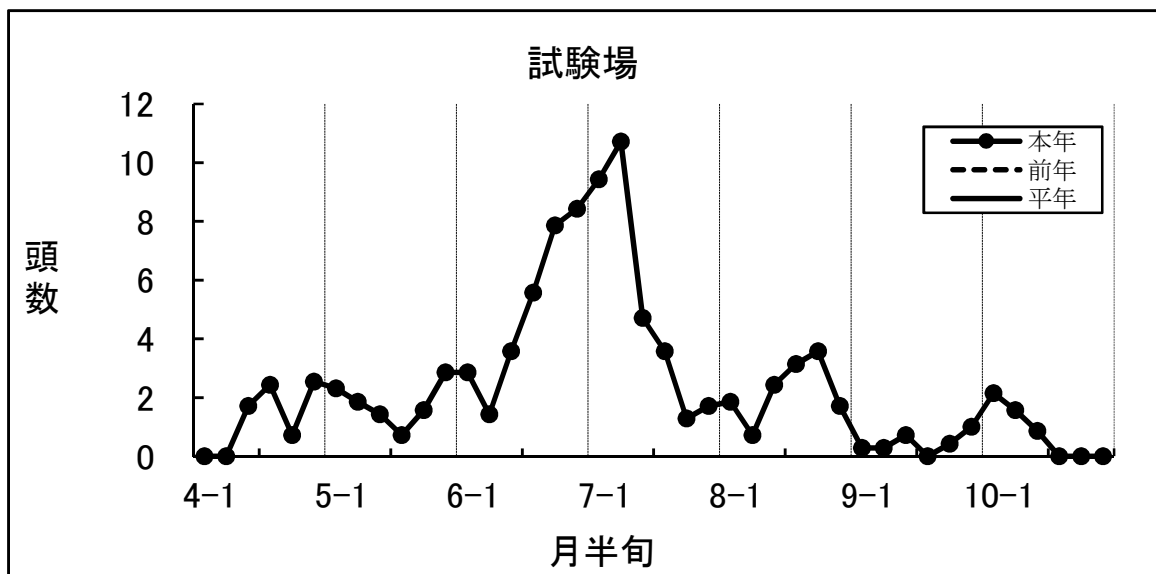
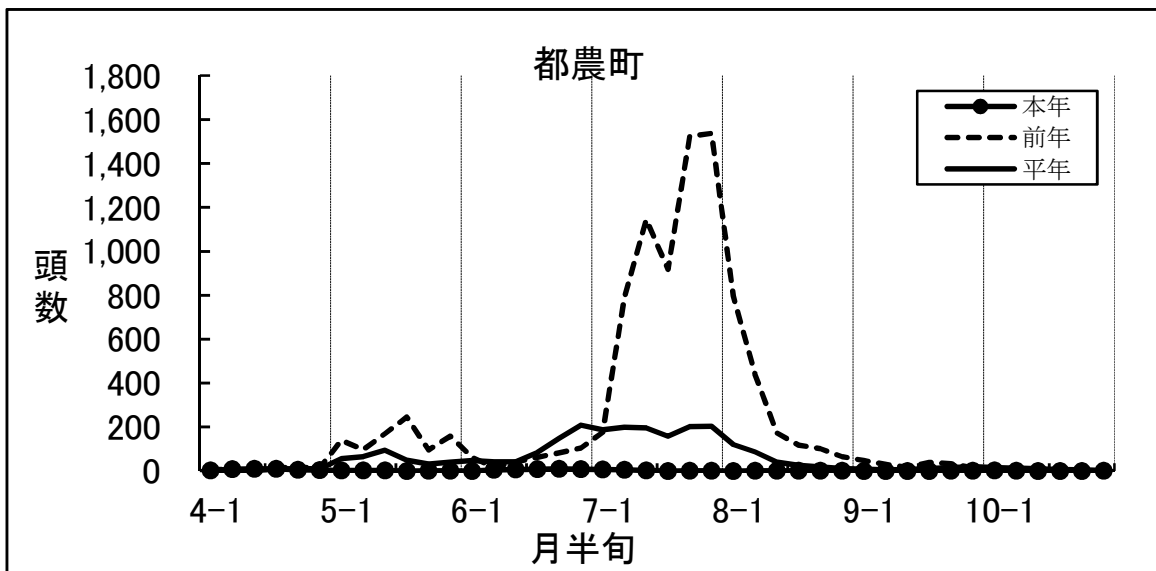
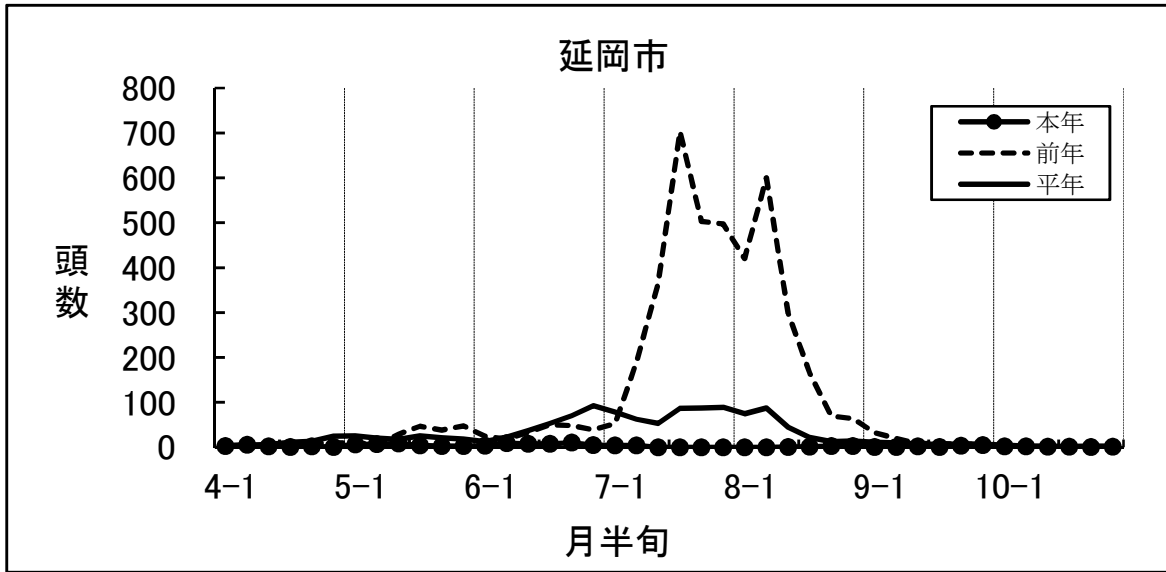
(2) 合成集合フェロモンによる誘殺状況

① チャバネアオカメムシ

※試験場はH28から開始

| 月 | 半旬 | 延 岡 | | | 都 農 | | | 試験場 | | |
|----|----|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|----|----|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 |
| 4 | 1 | 2 | 0 | 4 | 2 | 7 | 2 | 0 | | |
| | 2 | 5 | 1 | 5 | 8 | 8 | 3 | 0 | | |
| | 3 | 2 | 1 | 6 | 9 | 1 | 3 | 2 | | |
| | 4 | 0 | 7 | 11 | 9 | 15 | 9 | 2 | | |
| | 5 | 1 | 9 | 13 | 6 | 17 | 11 | 1 | | |
| | 6 | 0 | 9 | 24 | 3 | 15 | 10 | 3 | | |
| 5 | 1 | 6 | 9 | 26 | 3 | 139 | 56 | 2 | | |
| | 2 | 7 | 6 | 20 | 3 | 98 | 65 | 2 | | |
| | 3 | 8 | 29 | 18 | 2 | 171 | 94 | 1 | | |
| | 4 | 4 | 46 | 25 | 0 | 247 | 49 | 1 | | |
| | 5 | 2 | 38 | 21 | 1 | 96 | 31 | 2 | | |
| | 6 | 2 | 48 | 19 | 2 | 158 | 40 | 3 | | |
| 6 | 1 | 3 | 25 | 13 | 0 | 63 | 47 | 3 | | |
| | 2 | 9 | 18 | 23 | 6 | 17 | 42 | 1 | | |
| | 3 | 7 | 33 | 36 | 7 | 40 | 43 | 4 | | |
| | 4 | 7 | 51 | 53 | 9 | 63 | 84 | 6 | | |
| | 5 | 10 | 48 | 70 | 10 | 83 | 148 | 8 | | |
| | 6 | 5 | 39 | 92 | 9 | 105 | 209 | 8 | | |
| 7 | 1 | 4 | 52 | 78 | 7 | 176 | 188 | 9 | | |
| | 2 | 4 | 189 | 62 | 6 | 791 | 199 | 11 | | |
| | 3 | 0 | 365 | 53 | 2 | 1145 | 197 | 5 | | |
| | 4 | 0 | 704 | 87 | 0 | 918 | 159 | 4 | | |
| | 5 | 0 | 503 | 87 | 1 | 1524 | 202 | 1 | | |
| | 6 | 0 | 497 | 89 | 0 | 1537 | 204 | 2 | | |
| 8 | 1 | 0 | 421 | 74 | 0 | 797 | 120 | 2 | | |
| | 2 | 0 | 600 | 87 | 1 | 440 | 87 | 1 | | |
| | 3 | 1 | 298 | 45 | 1 | 174 | 40 | 2 | | |
| | 4 | 1 | 166 | 22 | 1 | 117 | 25 | 3 | | |
| | 5 | 2 | 69 | 12 | 1 | 101 | 18 | 4 | | |
| | 6 | 3 | 64 | 14 | 2 | 65 | 11 | 2 | | |
| 9 | 1 | 0 | 32 | 11 | 0 | 48 | 9 | 0 | | |
| | 2 | 1 | 19 | 10 | 0 | 30 | 6 | 0 | | |
| | 3 | 1 | 9 | 7 | 0 | 18 | 7 | 1 | | |
| | 4 | 1 | 8 | 6 | 0 | 39 | 12 | 0 | | |
| | 5 | 3 | 7 | 7 | 0 | 33 | 16 | 0 | | |
| | 6 | 4 | 6 | 6 | 1 | 14 | 20 | 1 | | |
| 10 | 1 | 1 | 2 | 5 | 3 | 4 | 16 | 2 | | |
| | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 12 | 2 | | |
| | 3 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 10 | 1 | | |
| | 4 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 7 | 0 | | |
| | 5 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 0 | | |
| | 6 | 1 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | | |
| 計 | | 112 | 4,430 | 1,256 | 117 | 9,314 | 2,517 | 100 | 0 | 0 |

平成28年フェロモントラップ誘殺数（チャバネアオカメムシ）

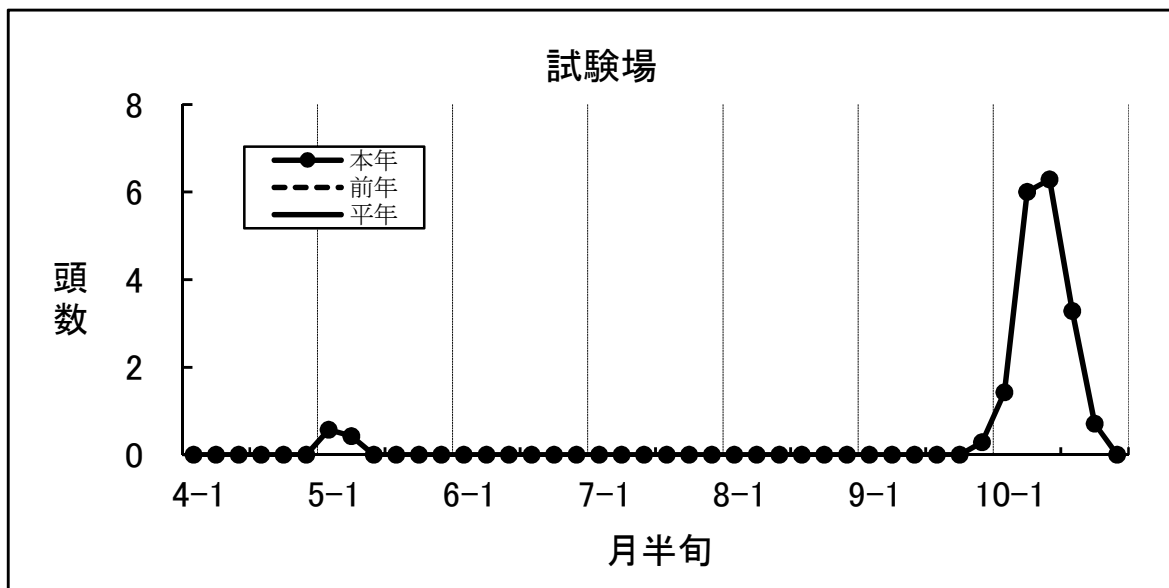
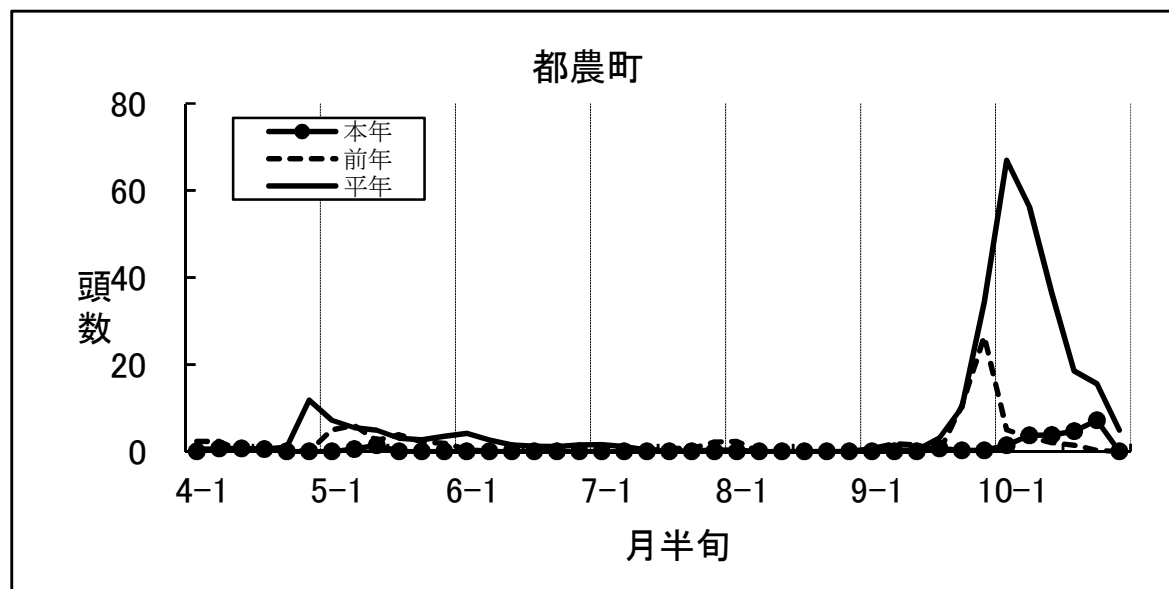
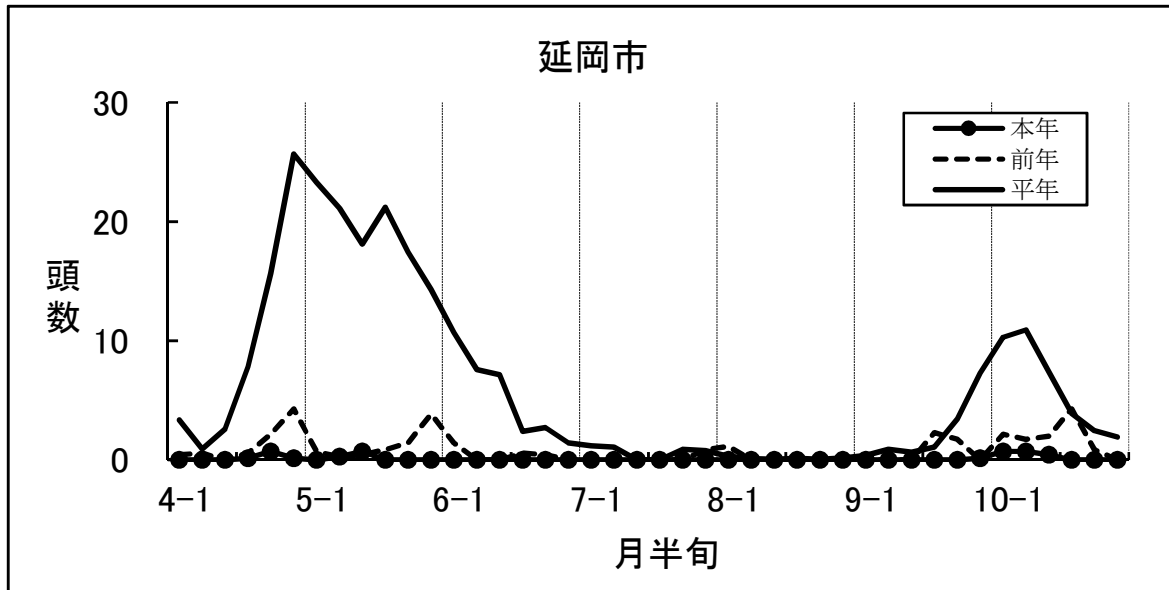


② ツヤアオカメムシ

※試験場はH28から開始

| 月 | 半旬 | 延 岡 | | | 都 農 | | | 試験場 | | |
|----|----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 |
| 4 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | | |
| | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | | |
| | 3 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 1 | 8 | 1 | 1 | 1 | 0 | | |
| | 5 | 1 | 2 | 16 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 4 | 26 | 0 | 0 | 12 | 0 | | |
| 5 | 1 | 0 | 1 | 23 | 0 | 5 | 7 | 1 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 21 | 1 | 6 | 5 | 0 | | |
| | 3 | 1 | 0 | 18 | 1 | 3 | 5 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 1 | 21 | 0 | 4 | 3 | 0 | | |
| | 5 | 0 | 1 | 17 | 0 | 2 | 3 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 4 | 14 | 0 | 2 | 4 | 0 | | |
| 6 | 1 | 0 | 1 | 11 | 0 | 1 | 4 | 0 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 3 | 0 | | |
| | 3 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 2 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 5 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | | |
| 8 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 4 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | | |
| | 5 | 0 | 2 | 3 | 0 | 11 | 10 | 0 | | |
| | 6 | 0 | 0 | 7 | 0 | 26 | 34 | 0 | | |
| 10 | 1 | 1 | 2 | 10 | 1 | 5 | 67 | 1 | | |
| | 2 | 1 | 2 | 11 | 4 | 3 | 56 | 6 | | |
| | 3 | 0 | 2 | 7 | 4 | 2 | 36 | 6 | | |
| | 4 | 0 | 4 | 4 | 5 | 1 | 18 | 3 | | |
| | 5 | 0 | 1 | 2 | 7 | 0 | 16 | 1 | | |
| | 6 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 5 | 0 | | |
| 計 | | 4 | 35 | 259 | 26 | 87 | 305 | 19 | 0 | 0 |

平成28年フェロモントラップ誘殺数（ツヤアオカメムシ）



8) 農作物有害動植物の発生及び防除状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|-------|----------|-------------------|--------------------|-----------|--|--|--|
| 早期水稲 | 葉いもち | 平年: やや早い 前年: 並 | 平年: 多 前年: 並 | 5,471 | 初確認は5月19日(平年:5月21日、前年5月15日)。6月下旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(発病度)はいずれも平年に比べて多発生であった。 | 4月上旬の高温・日照不足の影響でイネの生育が軟弱徒長気味に推移したことに加え、6月の日照不足や多雨により感染に好適な条件が続いたことから、葉いもちだけでなく、穂への感染も拡大した。 | 育苗箱施薬、初発前の粒剤散布及び初発時の粉剤・液剤散布。 |
| | 穂いもち | 平年: 早い 前年: 早い | 平年: 多 前年: 並 | 3,998 | 7月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(発病度)はいずれも平年に比べて多発生であった。 | | 穂ばらみ期と穂揃い期に防除。一部地区で航空防除。防除情報第4号(H28.6.24)発表。 |
| | 紋枯病 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや少 前年: やや多 | 1,683 | 6月下旬の巡回調査から発生が確認され、7月中旬の巡回調査においては、発生面積率は平年並、発生程度(発病度)は平年に比べやや少の発生であった。 | 6月の天候は不順であり、その後気温が高め推移したが適期防除が行われた。 | 穂ばらみ期に防除。一部地区で航空防除。 |
| | イネミズゾウムシ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: やや少 | 5,256 | 4月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(被害度)はいずれも平年に比べやや多の発生であった。5月中旬の巡回調査においては、発生面積率は平年並、発生程度は平年に比べやや少の発生であった。 | | 育苗箱施薬、粒剤の水面施用。 |
| | スクミリンゴガイ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: 並 | 1,683 | 4月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(m ² 当貝数)はいずれも平年並の発生であった。5月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度は平年に比べて少発生であった。 | | 粒剤の水面施用。貝の採取・冬季の耕起。 |
| | カメムシ類 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや少 前年: やや少 | 1,898 | 6月中旬の本田巡回調査では、発生面積率は平年に比べて多、発生程度(20回振すくい取り虫数)は平年並の発生であった。その後、7月中旬の本田巡回調査では、発生面積率と発生程度はいずれも平年に比べて少発生であった。 | | 穂揃い期とその7~10日後の2回防除を徹底。一部地区で航空防除。防除情報第5号(H28.6.24)発表。 |
| 普通期水稲 | 葉いもち | 平年: 早い 前年: 並 | 平年: やや多 前年: 並 | 7,500 | 本田での発生は6月中旬の巡回調査から確認された。7月中旬と7月下旬の調査では、発生面積率と発生程度(発病度)はいずれも平年に比べて多発生であった。8月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(発病度)はいずれも平年に比べてやや多の発生であった。 | 6月の日照不足や多雨の影響でイネの生育が軟弱徒長気味に推移したことで、山間地域を中心に葉いもちの発生が拡大した。7~8月の高温により進展が抑制されたものの、一部地域で穂への感染拡大が見られた。 | 育苗箱施薬、初発前の粒剤散布及び初発時の粉剤・液剤散布。 |
| | 穂いもち | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: 多 | 8,250 | 9月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(発病穂率)はいずれも平年に比べやや多の発生であった。 | | 注意報第2号(H28.8.3)発表。穂ばらみ期と穂揃い期に防除。一部地区で航空防除。 |
| | 紋枯病 | 平年: 並 前年: 早い | 平年: やや少 前年: やや多 | 3,250 | 7月下旬の巡回調査から確認され、8月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度はいずれも平年並の発生であった。9月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度は平年に比べやや少の発生であった。 | 期間をとおして、天候は不順であり、気温は平年並~やや高めで推移したが適期防除が行われた。 | 穂ばらみ期の防除。一部地区で航空防除。 |
| | もみ枯細菌病 | 平年: 並 前年: 早い | 平年: 並 前年: 並 | 750 | 9月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(病穂率)はいずれも平年並の発生であった。 | | 粒剤による防除。 |
| | 内穎褐変病 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: やや少 | 6,750 | 9月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度(病穂率)は平年に比べやや少の発生であった。 | | |

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|----------|------------------|------------------|-----------|--|--|--|
| | セジロウンカ | 平年:並 前年:やや遅い | 平年:少 前年:並 | 9,500 | 予察灯初飛来は5月30日(平年5月30日、前年5月23日)であった。本田では7月中旬の巡回調査から確認され、8月中旬の巡回調査においては、発生面積率は平年並、発生程度(20回振すくい取り虫数)は平年よりやや多の発生であった。 | 県内の広い範囲で断続的な飛来が見られたのは8月に入ってからであり、栽培期間中は天候不順が続いたことから、平年を上回る発生量とはならなかった。 | 育苗箱施薬。飛来虫と次世代幼虫の防除。出穂期のウンカ類防除。一部地区で航空防除。 |
| | トビイロウンカ | 平年:やや早い 前年:早い | 平年:やや少 前年:やや少 | 3,500 | 予察灯初飛来は、6月16日(平年6月27日、前年7月2日)で平年より遅かった。本田では、7月下旬から発生が確認され、9月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(株当たり虫数)は平年に比べやや少の発生であった。 | 梅雨時期の県内への飛来は散発的なものであったことや、8月の好天により計画通り防除が行われたこともあり、平年よりやや少ない発生であった。 | 育苗箱施薬。飛来虫と次世代幼虫の防除。出穂期のウンカ類防除。一部地区で航空防除。 |
| | ヒメトビウンカ | 平年:早い 前年:並 | 平年:やや少 前年:並 | 9,750 | 7月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年に比べやや少、発生程度(20回振すくい取り虫数)は平年並の発生であった。8月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度は平年に比べ少発生であった。9月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度はいずれも平年に比べ少発生であった。 | 越冬量は平年の比べて少の発生であったのに加え、栽培期間中も長雨が続きことから、例年ほどの発生量の増加はみられなかった。 | 育苗箱施薬。出穂期のウンカ類防除。一部地区で航空防除。 |
| | ツマグロヨコバイ | 平年:並 前年:並 | 平年:少 前年:やや少 | 7,000 | 8月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度(20回振すくい取り虫数)は平年に比べ少発生であった。9月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年に比べ少、発生程度は平年に比べやや少発生であった。 | 越冬量は平年並の発生であったが、栽培期間中も長雨が続きことから、例年ほどの発生程度の増加はみられなかった。 | 育苗箱施薬。 |
| | コブノメイガ | 平年:並 前年:並 | 平年:少 前年:やや少 | 2,250 | フェロモントラップでの初飛来は、6月11日(前年6月17日)で平年より早かった。7月中旬の巡回調査では発生未確認であった。8月中旬の巡回調査では、発生面積率は平年に比べやや少、発生程度(被害葉率)は平年並の発生であった。 | 飛来量が少なかった。7月下旬まで散発的な飛来しかなく、主要な飛来が見られたのは8月に入ってからであった。 | 育苗箱施薬。発蛾最盛期の粒剤防除及びウンカ類との同時防除の粉剤・液剤防除。 |
| | イネミズゾウムシ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 1,720 | 6月中旬巡回調査においては、発生面積率は平年に比べやや多、発生程度(被害度)は平年並の発生であった。 | | 育苗箱施薬、粒剤の水面施用。 |
| | スクミリンゴガイ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや多 | 3,100 | 6月中旬巡回調査では、発生面積率は平年並、発生程度(m ² 当貝数)は平年に比べて少発生であった。 | 水管理及び防除の不徹底。 | 粒剤の水面施用。貝の採取・冬季の耕起 |
| | カメムシ類 | 平年:並 前年:早い | 平年:やや多 前年:やや多 | 5,500 | 8月中旬の巡回調査では、発生面積率と発生程度(20回振すくい取り虫数)はいずれも平年並の発生であった。8月下旬の巡回調査では、県内各地で確認され、やや多の発生であった。 | 出穂期、穂ぞろい期防除の徹底。 | 穂揃い期とその7~10日後の防除。 |
| 大豆 | べと病 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや少 前年:並 | 196 | 9月中旬の巡回調査における発生面積率は平年並、発生程度(発病度)は平年に比べ多の発生であったが、10月の巡回調査における発生面積率と発生程度いずれも平年並の発生であった。 | | 種子消毒の徹底。 |
| | 葉焼病 | 平年:— 前年:— | 平年:並 前年:並 | 0 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | | |
| | ハスモンヨトウ | 平年:並 前年:並 | 平年:少 前年:並 | 261 | 8月中旬と9月中旬の巡回調査における発生面積率は平年並であった。 | | 若齢期の防除。 |
| | カメムシ類 | 平年:並 前年:並 | 平年:少 前年:並 | 157 | 8月中旬と9月中旬の巡回調査における発生面積率と発生程度(25株虫数)はいずれも平年並の発生であった。 | | さやの肥大期の防除。 |

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|-------|-------------|--------------------|----------------|-----------|---|---|--|
| かんしょ | イモキバガ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:多 | 2,393 | 8月中旬の巡回調査における発生面積率は平年に比べやや多、発生程度(被害率)は平年並の発生であった。その後、9月中旬の巡回調査においては、発生面積率と発生程度はいずれも平年に比べやや多の発生であった。 | | 被害初期の防除。 |
| | ナカシロシタハ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 3,590 | 8月中旬の巡回調査における発生面積率は平年に比べてやや多、発生程度(被害率)は平年並の発生であった。その後、9月中旬の巡回調査においては、発生面積率と発生程度はいずれも平年並の発生であった。 | | 一部地区で無人ヘリ防除。つる先の1~3葉に食害痕が見られる被害初期の防除。 |
| | ハスモンヨトウ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:少 | 3,590 | 8月中旬の巡回調査における発生面積率は平年に比べてやや多、発生程度(被害率)は平年並の発生であった。その後、9月中旬の巡回調査においては、発生面積率と発生程度はいずれも平年並の発生であった。 | | 他の害虫との同時防除。 |
| ジャガイモ | 疫病 | 平年:並 前年:早い | 平年:多 前年:並 | 520 | 5月中旬巡回調査において、発生面積、発生程度(発病度)はいずれも平年に比べて多発生であった。 | 期間を通して気温が高く、曇や雨の日が多かったため、感染に好適な条件であった。 | 種芋の更新。初発前の予防防除。 |
| | アブラムシ類 | 平年:並 前年:並 | 平年:多 前年:並 | 468 | 4月中旬巡回調査において、発生面積、発生程度(寄生度)はいずれも平年に比べやや多の発生であった。 | 初期防除の不徹底。 | 初発時の防除。 |
| | ニジュウヤホシテントウ | 平年:並 前年:遅い | 平年:並 前年:やや少 | 156 | 5月中旬巡回調査において、発生面積、発生程度(株虫数)はいずれも平年並の発生であった。 | | 幼虫分散前の防除。 |
| | ハスモンヨトウ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 52 | 5月中旬巡回調査において、発生面積、発生程度(被害株率)はいずれも平年並の発生であった。 | | 若齢期の防除。 |
| かんきつ | そうか病 | 平年:やや早い 前年:やや早い | 平年:やや少 前年:- | 0 | 葉・果実ともにやや少ない発生であった。初発は、葉が4月24日(平年比-10日)、果実が5月20日(平年比-25日)であった。 | 適期防除と病葉除去の不徹底 | 春梢発芽期、落弁期、幼果期の農薬防除。 |
| | 黒点病 | 平年:やや早い 前年:やや早い | 平年:やや多 前年:- | 1,046 | 断続的な降雨により適期に防除出来ない園地が多く、やや多い発生となった。 | 適期防除の不徹底 枯れ枝等の放置 | 落花期以降の定期的な防除。 枯れ枝の除去。剪定くずの適切な処理。 |
| | かいよう病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:- | 232 | 平年並の発生で推移した。初発は、葉で5月10日(平年比-3日)、果実で7月1日(平年比0日)であった。 | 新梢の剪定が不徹底の園地で発生が多かった。ハモグリガは平年よりやや少ない発生であった。 | 発芽直前、開花直前、落花期の防除。 強風対策として防風垣、防風ネットを設置する。 |
| | ミカンハダニ | 平年:並 前年:並 | 平年:やや少 前年:- | 524 | 年間を通して、平年並~やや少の発生であったが9月に入ってから、多発生した園地も一部確認された。 | 適期防除の不徹底 夏期マシン油の散布不徹底 | 発生初期の防除徹底。 同一系統薬剤の連用を避ける。 冬季、夏期にマシン油乳剤を利用する。 |
| | チャノキイロアザミウマ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:- | 0 | 巡回調査では確認されなかった。 | 適期防除の不徹底 | 落花期から9月までの防除。 |
| | ミカンハモグリガ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:- | 696 | 新梢発生が長引いた園地での発生は確認されたが、年間を通して平年並の発生であった。 | 新梢発生が長引いた。 | 新梢をだらだらと発生させないような肥培管理。 |
| | アブラムシ類 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや多 前年:- | 388 | 5月はやや多い発生であったが、その他の月は平年並の発生であった。 | 梅雨時期の長雨による発生抑制。 | 防除の徹底 |

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|----------|----------------------|----------------------|------------------|---------------------------------------|--|--|---|
| | カメムシ類 | 平年: やや遅い 前年: やや遅い | 平年: 少ない 前年: - | 226 | 予察灯では5月上旬から誘殺され始めた。フェロモントラップ・予察灯共に平年より少ない誘殺数であった。果樹園の飛来は9月上旬に一部ほ場で確認されたが、ほとんどの地域では飛来が確認されなかった。 | 越冬成虫が平年より少なかった。餌となるヒノキ毬果の量が少なかった(聞き取り)。 | 飛来確認後の速やかな防除 |
| 茶 | 炭疽病 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや多 前年: - | 1,110 | 6月に入って、平年より多い発生であったが、8月からは平年並の発生で推移した。 | 適期防除の不徹底 | |
| | もち病 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: - | 171 | 6月に山間部で発生が確認されたが、その後の発生は確認されなかった。 | 断続的な降雨 | 二番茶・秋芽の萌芽期から二・三葉期に、炭疽病との同時防除 |
| | 輪斑病 | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや多 前年: - | 426 | 7月に入って、平年よりやや多い発生が確認され、その後平年並～やや多の発生で推移した。 | 断続的な降雨により、適期防除が出来ず発生が助長された。 | 摘採直後の防除 摘採機の洗浄 |
| | チャノコカクモンハマキ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや多 前年: - | 171 | ほ場調査では、8月に発生が確認され、やや多い発生となった。 | 発生ピークのズレや摘採時期との関係で適期防除出来なかった園では発生量が増加した。 | チャハマキとの同時防除 |
| | チャハマキ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: - | 86 | ほ場調査では8月に発生が確認され、平年並の発生となった。 | 発生ピークのズレや摘採時期との関係で適期防除出来なかった園では発生量が増加した。 | チャノコカクモンハマキとの同時防除 |
| | チャノホソガ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: - | 767 | ほ場調査では年間を通して平年並の発生であった。フェロモントラップ調査では、一部地域では第1世代から平年よりやや多く発生したところも見られた。 | 発生ピークのズレや摘採時期との関係で適期防除出来なかった園では発生量が増加した。 | 三角葉巻前の防除 |
| | カンザワハダニ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや少 前年: - | 558 | 越冬ダニは平年並の発生であった。年間を通してやや少ない発生となった。 | 梅雨時期の断続的な降雨により発生が抑制された。 | 適期防除 |
| | チャノミドリヒメコバイ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: やや少 前年: - | 597 | 年間を通してやや少の発生となった。 | 初期防除、適期防除の不徹底 | 二番茶・三番茶開花期と秋芽の防除。 チャノキイロアザミウマとの同時防除。 |
| | チャノキイロアザミウマ | 平年: 並 前年: 並 | 平年: 並 前年: - | 767 | 平年並の発生で推移した。 | 梅雨時期の断続的な降雨により発生が抑制された。 | 二番茶・三番茶開花期と秋芽の防除。 チャノキイロアザミウマとの同時防除。 |
| クシロイガラムシ | 平年: やや遅い 前年: やや遅い | 平年: やや少 前年: - | 559 | 一部園地で発生が増加した時期もあったが、全体的にやや少ない発生で推移した。 | 梅雨時期の断続的な降雨により発生が抑制された。 | 孵化最盛期に合わせた防除の徹底 | |

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|--|-------------|--------------------|------------------|--------------|---|--|--------------------------------------|
| 平成28年産 冬春キュウリ H27.9～28.6 (栽培期間) | べと病 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや多 前年:やや多 | 169 | 年内は、平年より少ない発生面積で推移したが、年明け以降発生面積、発生程度ともに徐々に拡大し作終了まで上昇傾向は継続した。 | 肥培管理及び湿度管理の不徹底 発生初期防除の不徹底 曇雨天等による発生の助長 | 薬剤による防除 |
| | 灰色かび病 | 平年:遅い 前年:並 | 平年:やや少 前年:並 | 0 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | 早期防除の徹底 罹病残渣の早期除去 | 薬剤による防除 罹病果の持ち出し |
| | うどんこ病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや多 | 96 | 栽培当初は平年並みであったが、その後は発生面積は減少した。しかしながら、3月以降は発生面積が急増した。 | 発生初期防除の不徹底 窒素質肥料の多用 | 薬剤による防除 |
| | 褐斑病 | 平年:遅い 前年:並 | 平年:やや少 前年:並 | 29 | 年明けから発生が散見されたが、栽培期間を通してやや少の発生となった。 | 湿度管理の不徹底 窒素質肥料の多用 | 初期防除の徹底 薬剤による防除 |
| | ミナミキイロアザミウマ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 149 | 黄化えそ病等ウイルス病の媒介虫対策として、定植時の粒剤施用が浸透してきたが徹底されていないほ場では定植直後から発生がみられた。年明け以降発生面積率が急激に増加したが、概ね平年並みの発生であった。 | 早期水稲準備等、労力不足による防除の不徹底 | 定植時の粒剤施用 薬剤のローテーション散布 防虫ネットの設置 |
| | ハスモンヨトウ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや多 | 28 | 栽培開始時にわずかに確認されたが、その後発生は確認されなくなった。 | 施設開放時の侵入防止対策等の不備 | 防虫ネットの設置 若齢期防除の実施 |
| 平成28年産 冬春ピーマン H27.9～28.6 (栽培期間) | モザイク病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 0 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | 早期抜根等の実施 | 土壌消毒の実施 抵抗性品種の導入 媒介昆虫の防除 |
| | 斑点病 | 平年:やや遅い 前年:やや遅い | 平年:並 前年:やや少 | 35 | 栽培当初の発生はなかったものの、11月以降は発生面積が増加したが、期間を通して平年並みの発生で推移した。 | 施設内湿度管理の不徹底 燃油高騰対策のための内張多層被覆下での栽培法への対応不足 | 薬剤による防除 施設内湿度の適正管理 罹病葉の持ち出し |
| | うどんこ病 | 平年:並 前年:並 | 平年:少 前年:少 | 62 | 11月に一時的に発生面積が急増したが、その後は平年より少ない発生程度で推移した。 | 初期防除の不徹底 窒素質肥料の多用 | 薬剤による防除 |
| | 灰色かび病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 0 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | 初期防除の徹底 罹病果の早期除去 | 薬剤による防除 |
| | ミナミキイロアザミウマ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや少 | 60 | 栽培期間を通して、概ね平年並で推移した。 | 天敵導入面積の拡大 天敵導入前防除の取り組み | 防虫ネットの設置 薬剤による防除 生物農薬等の活用 |
| 平成28年産 冬春トマト H27.9～28.6 (栽培期間) | 灰色かび病 | 平年:やや早い 前年:早い | 平年:やや少 前年:並 | 19 | 葉における調査では、12月以降発生面積が増加した。果実については、年明け2月以降に発生が確認されたが、平年より少ない発生程度で推移した。 | 初期防除の不徹底や、作業遅れによる栽培環境の悪化 | 薬剤による防除 |
| | 葉かび病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 11 | 1月に初発生を確認した。発生面積は平年より少なかったが、発病率はやや高めに推移した。 | 発生初期の対応の遅れや、作業遅れによる栽培環境の悪化 | 薬剤による防除 抵抗性品種の導入 罹病葉の持ち出し |

| 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生面積 (ha) | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|--|-----------|-----------------|------------------|--------------|--|---|-------------------------------------|
| | 黄化葉巻病 | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや多 | 4 | 定植後に発生株が散見されていたが、早期抜根処理を行っていたためその後の発生はみられなかった。 | 初期の発生については、育苗～定植初期におけるタバココナジラミの防除が不徹底であった。 | 媒介昆虫の防除 罹病株の除去及び適正処分 |
| | コナジラミ類 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや多 前年:やや多 | 79 | 定植直後から県内全域で発生が確認され、栽培期間を通して、平年よりやや多で推移した。 | 育苗～定植初期における防除が不徹底。目の細かい防虫ネットの設置が行われていないほ場については、野外からの侵入があった。 | 防虫ネットの設置 薬剤による防除 薬剤のローテーション散布 |
| | ハモグリバエ類 | 平年:並 前年:やや早 | 平年:並 前年:やや多 | 9 | 栽培期間を通して、概ね平年並で推移した。 | 苗床での防除の不徹底 侵入防止対策の不備 | 初期防除の徹底 薬剤による防除 |
| 平成28年産 いちご H27.9～28.5 (栽培期間) | うどんこ病 | 平年:並 前年:並 | 平年:多 前年:やや多 | 31 | 定植直後から葉で発生が確認され11月には平年より多発生となった。年明けは果実を中心に発生が目立った。 | 親株床での防除の不徹底 初期防除の不徹底 | 薬剤による防除 初期防除の徹底 古葉、罹病葉の持ち出し |
| | 灰色かび病 | 平年:並 前年:やや早い | 平年:並 前年:やや多 | 4 | 年明け1月以降、発生が見られた。 | 初期防除の徹底 罹病残渣の早期除去 | 薬剤による防除 罹病果の持ち出し |
| | 炭疽病 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや少 前年:並 | 3 | 定植直後は、発生ほ場が散見されたが、その後は発生が少なく、期間を通して平年並みで推移した。 | 親株の計画的な更新ができていない 育苗期間の防除が不徹底、健全株の選抜の不備 | 健全苗の選抜の徹底 罹病株及び周辺株の除去 |
| | ハダニ類 | 平年:早い 前年:早い | 平年:並 前年:やや少 | 53 | 定植直後から、平年より多発生となり、その後も増加傾向で推移したが、年明け以降、減少傾向に転じ、最終的には平年並みの発生となった。 | 育苗期間の防除が不徹底であったため、本ほへ持ち込んだ。その後、ビニル被覆前の防除が徹底されていなかった。 | 薬剤による防除 早期発見によるスポット防除 |
| | ハスモンヨトウ | 平年:並 前年:並 | 平年:やや少 前年:やや少 | 3 | 栽培当初は県内各地でハスモンヨトウの被害が確認されていたが、その後は減少し、期間を通して平年よりやや少で推移した。 | 侵入防止対策の不備 | 薬剤による防除 防虫ネットの設置 |
| 平成28年産 秋冬ダイコン H27.9～ 27.12. (栽培期間) | 萎黄病 | 平年:遅い 前年:並 | 平年:並 前年:並 | 0 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | 罹病残渣の早期撤去 | 高温期の播種を避ける 連作を避ける |
| | 軟腐病 | 平年:並 前年:並 | 平年:やや多 前年:やや多 | 271 | 栽培期間を通して発生は見られなかった。 | 初期防除の徹底 | 排水を良くする |
| | コナガ | 平年:並 前年:並 | 平年:多 前年:多 | 1,082 | 11月以降、県内各地で発生が急増した。 | 初期防除の不徹底 薬剤感受性の低下 | 薬剤による防除 |
| | ダイコンサルハムシ | 平年:並 前年:並 | 平年:並 前年:やや多 | 812 | 10月の調査開始時点から発生が散見されたが、全体としては平年並みであった。 | 初期防除の不徹底 | 薬剤による防除 |

(2) 発生面積及び防除面積等

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 | | |
|----------|--------------|-------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|--------------|----------------|-------|-------|---|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | | | |
| 早期水稲 | 6,730 | 苗立枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 6,663 | (同) | 6,663 | 0 | 0 | |
| | | 苗いもち | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 6,192 | (同) | 6,192 | 0 | 0 | |
| | | 葉いもち | 0 | 0 | 841 | 4,630 | 5,471 | (同) | 6,192 | (同) | 12,383 | 841 | 2,428 | |
| | | 穂いもち | 0 | 0 | 424 | 3,574 | 3,998 | (同) | 6,192 | (同) | 12,383 | 424 | 1,709 | |
| | | 紋枯病 | 0 | 0 | 0 | 1,683 | 1,683 | (同) | 3,029 | (同) | 3,029 | 0 | 3,016 | |
| | | 白葉枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | ばか苗病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 6,057 | (同) | 6,057 | 0 | 0 |
| | | 心枯線虫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 〃 (種) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 6,663 | (同) | 6,663 | 0 | |
| | | ごま葉枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 188 | |
| | | 黄化萎縮病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 縞葉枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 538 | 538 | 0 | 0 | | |
| | | 萎縮病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 黄萎病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | もみ枯細菌病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 〃 (種) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 6,663 | (同) | 6,663 | 0 | |
| | | 内穎褐変病 | 0 | 0 | 0 | 5,048 | 5,048 | 0 | - | - | 0 | 4,971 | | |
| | | 稲こうじ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | ニカメイチュウ第1世代 | 0 | 0 | 0 | 209 | 209 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | ニカメイチュウ第2世代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| セジロウンカ | 0 | 0 | 0 | 5,471 | 5,471 | (同) | 538 | (同) | 538 | 0 | 6,224 | | | |
| トビイロウンカ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 538 | (同) | 538 | 0 | 166 | | | |
| ヒメトビウンカ | 0 | 209 | 2,106 | 3,574 | 5,889 | (同) | 538 | (同) | 538 | 2,315 | 7,326 | | | |
| ツマグロヨコバイ | 0 | 0 | 0 | 4,630 | 4,630 | (同) | 538 | (同) | 538 | 0 | 5,303 | | | |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 | |
|-------|--------------|--------------|--------------|---|-------|-------|-------|-----------|-------|--------------|----------------|-------|-------|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | | |
| | | イネハモク`リハ`エ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | イネヒメハモク`リハ`エ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | イネドロオイムシ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 1,144 | (同) | 1,144 | 0 | |
| | | イネゾウムシ | 0 | 0 | 0 | 841 | 841 | (同) | 1,144 | (同) | 1,144 | 0 | 584 |
| | | 斑点米カメムシ類 | 0 | 0 | 424 | 1,474 | 1,898 | (同) | 1,144 | (同) | 4,038 | 0 | 3,118 |
| | | イネツトムシ | 0 | 0 | 0 | 841 | 841 | | 0 | | 0 | 0 | |
| | | フタオビコヤガ | 0 | 0 | 0 | 1,891 | 1,891 | | 0 | | 0 | 0 | |
| | | イネヨトウ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | アワヨトウ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | コブノメイガ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 1,857 |
| | | イネミズゾウムシ | 0 | 0 | 0 | 5,256 | 5,256 | (同) | 1,144 | (同) | 1,144 | 0 | 5,482 |
| | | スクミリンゴガイ | 0 | 0 | 209 | 1,474 | 1,683 | (同) | 538 | (同) | 538 | 209 | 2,584 |
| 普通期水稲 | 10,000 | 苗立枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 9,900 | (同) | 9,900 | 0 | 0 |
| | | 苗いもち | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 9,200 | (同) | 9,900 | 0 | 0 |
| | | 葉いもち | 0 | 0 | 1,250 | 6,250 | 7,500 | (同) | 9,200 | (同) | 18,400 | 1,250 | 6,261 |
| | | 穂いもち | 0 | 0 | 250 | 8,000 | 8,250 | (同) | 9,200 | (同) | 18,400 | 250 | 5,986 |
| | | 紋枯病 | 0 | 0 | 0 | 3,250 | 3,250 | (同) | 7,000 | (同) | 7,000 | 0 | 5,966 |
| | | 白葉枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | ばか苗病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 9,000 | (同) | 9,000 | 0 | 0 |
| | | 心枯線虫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | “(種) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 9,900 | (同) | 9,900 | 0 | |
| | | ごま葉枯病 | 0 | 0 | 1,000 | 3,750 | 4,750 | (同) | 0 | (同) | 0 | 1,000 | 2,321 |
| | | 黄化萎縮病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 縞葉枯病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 萎縮病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 |
|------|--------------|---------------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|--------------|----------------|----|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | |
| | | 黄 萎 病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | もみ枯細菌病 | 0 | 0 | 0 | 750 | 750 | (同) 0 | (同) 0 | 0 | 3,054 | |
| | | 〃 (種) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 9,900 | (同) 9,900 | 0 | | |
| | | 内 穎 褐 変 病 | 0 | 0 | 0 | 6,750 | 6,750 | 0 | 0 | 0 | 7,406 | |
| | | 稲 こうじ 病 | 250 | 250 | 500 | 500 | 1,500 | (同) 7,000 | (同) 7,000 | 1,000 | 1,586 | |
| | | ニカメイチュウ第1世代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 4,900 | (同) 4,900 | 0 | | |
| | | ニカメイチュウ第2世代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 0 | (同) 0 | 0 | | |
| | | セ ジ ロ ウ ン カ | 0 | 250 | 750 | 8,500 | 9,500 | (同) 9,900 | (同) 19,600 | 1,000 | 11,198 | |
| | | ト ビ イ ロ ウ ン カ | 0 | 0 | 0 | 3,500 | 3,500 | (同) 9,900 | (同) 19,600 | 0 | 7,642 | |
| | | ヒ メ ト ビ ウ ン カ | 0 | 500 | 3,250 | 6,000 | 9,750 | (同) 9,900 | (同) 19,600 | 3,750 | 10,240 | |
| | | ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ | 0 | 0 | 0 | 7,000 | 7,000 | (同) 9,900 | (同) 19,600 | 0 | 8,368 | |
| | | イ ネ ハ モ ク `リハ`エ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | イ ネ ヒ メ ハ モ ク `リハ`エ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | イ ネ ド ロ オ イ ム シ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 1,700 | (同) 1,700 | 0 | | |
| | | イ ネ ゾ ウ ム シ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 1,700 | (同) 1,700 | 0 | | |
| | | 斑点米カメムシ類 | 0 | 1,000 | 1,250 | 3,250 | 5,500 | (同) 5,100 | (同) 6,000 | 2,250 | 4,362 | |
| | | イ ネ ツ ト ム シ | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | フ タ オ ビ コ ヤ ガ | 0 | 0 | 0 | 1,500 | 1,500 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | イ ネ ヨ ト ウ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | ア フ ヨ ト ウ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | コ ブ ノ メ イ ガ | 0 | 250 | 0 | 2,000 | 2,250 | (同) 8,000 | (同) 8,000 | 250 | 6,977 | |
| | | イ ネ ミ ズ ゾ ウ ム シ | 0 | 0 | 0 | 1,720 | 1,720 | (同) 1,700 | (同) 1,700 | 0 | 0 | |
| | | ス ク ミ リ ン ゴ ガ イ | 0 | 0 | 0 | 3,100 | 3,100 | (同) 800 | (同) 800 | 0 | 2,760 | |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 | |
|---------|--------------|-----------------|--------------|-----|-------|-----|-------|-----------|-------|--------------|----------------|-------|-------|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | | |
| 大豆 | 261 | 紫斑病 | 0 | 0 | 0 | 104 | 104 | 0 | 0 | 0 | 42 | | |
| | | さび病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35 | | |
| | | 立枯性病害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | べと病 | 0 | 0 | 65 | 131 | 196 | 0 | 0 | 65 | 267 | | |
| | | 葉焼病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 | | |
| | | モザイク病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | | |
| | | アブラムシ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) | 183 | (同) | 183 | 0 | 32 |
| | | コガネムシ類 | 0 | 0 | 0 | 65 | 65 | (同) | 183 | (同) | 183 | 0 | 266 |
| | | ハスモンヨトウ | 0 | 33 | 228 | 0 | 261 | (同) | 183 | (同) | 183 | 261 | 336 |
| | | ハダニ類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | タ`イス`サヤタマハ`エ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | マメヒメサヤムシカ` | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | マメシンクイガ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | |
| | | シロイチモシ`マダ`ラメイカ` | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | |
| カメムシ類 | 0 | 0 | 0 | 157 | 157 | (同) | 183 | (同) | 183 | 0 | 160 | | |
| ウコンノメイガ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| さつまいも | 3,590 | ナカジロシタバ | 1795 | 299 | 1,197 | 299 | 3,590 | (同) | 3,016 | (同) | 5,959 | 3,291 | 2,798 |
| | | ハスモンヨトウ | 1795 | 299 | 1,197 | 299 | 3,590 | (同) | 3,016 | (同) | 5,959 | 3,291 | 2,798 |
| | | イモコガ | 0 | 299 | 1,496 | 598 | 2,393 | (同) | 3,016 | (同) | 5,959 | 1,795 | 2,060 |
| じゃがいも | 520 | 疫病 | 0 | 0 | 260 | 260 | 520 | (同) | 312 | (同) | 624 | 260 | 148 |
| | | アブラムシ類 | 0 | 0 | 0 | 468 | 468 | (同) | 312 | (同) | 624 | 0 | 234 |
| | | ニシ`ユウヤホシテントウ | 0 | 0 | 0 | 156 | 156 | (同) | 312 | (同) | 624 | 0 | 127 |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 | |
|------|---------------|------------|--------------|-----|-----|-----|-------|-----------|-----------|--------------|----------------|-------|--|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | | |
| かんきつ | 1,392 | そうか病(春葉) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 974 | 2,923 | 0 | 112 | | |
| | | 温州 | そうか病(果実) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 974 | 2,923 | 0 | 269 | |
| | 730 | 黒点病(果実) | 174 | 88 | 174 | 610 | 1,046 | 974 | 2,923 | 436 | 962 | | |
| | | 晩柑 | かいよう病(春葉) | 0 | 0 | 0 | 232 | 232 | 974 | 974 | 0 | 372 | |
| | 662 | かいよう病(果実) | 0 | 0 | 0 | 78 | 78 | 974 | 974 | 0 | 348 | | |
| | | 日焼け炭疽病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 199 | | |
| | | ミカンハダニ | 0 | 0 | 262 | 262 | 524 | (同) 1,392 | 4,872 | 262 | 839 | | |
| | | ミカンサビダニ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 1,392 | (同) 4,872 | 0 | 0 | | |
| | | チャノキロアサミウマ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,253 | 3,758 | 0 | 113 | | |
| | | ミカンハモグリガ | 0 | 0 | 387 | 309 | 696 | 696 | 1,044 | 387 | 736 | | |
| | | アブラムシ類 | 0 | 78 | 78 | 232 | 388 | 388 | 388 | 156 | 310 | | |
| | | カメムシ類 | 0 | 0 | 0 | 226 | 226 | 226 | 451 | 0 | 463 | | |
| 茶 | | 1,450 | 炭疽病 | 0 | 0 | 86 | 1,024 | 1,110 | 1,450 | 5,075 | 86 | 1,073 | |
| | | | もち病 | 0 | 0 | 0 | 171 | 171 | (同) 1,450 | (同) 1,450 | 0 | 272 | |
| | 網もち病 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 0 | | |
| | 輪斑病 | | 0 | 0 | 0 | 426 | 426 | 1,450 | 2,900 | 0 | 383 | | |
| | チャノコカクモンハマキ | | 0 | 0 | 0 | 171 | 171 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 79 | | |
| | チャハマキ | | 0 | 0 | 0 | 86 | 86 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 97 | | |
| | チャノホソガ | | 0 | 0 | 0 | 767 | 767 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 950 | | |
| | カンザワハダニ | | 0 | 0 | 0 | 558 | 558 | 1,450 | 3,625 | 0 | 1,009 | | |
| | チャノミドリヒメヨコハ`イ | | 0 | 0 | 0 | 597 | 597 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 1,112 | | |
| | チャノキロアサミウマ | | 0 | 0 | 0 | 767 | 767 | (同) 1,450 | (同) 5,075 | 0 | 1,149 | | |
| | クワシロカイカ`ラムシ | | 0 | 112 | 112 | 335 | 559 | 559 | 839 | 224 | 764 | | |
| | カスミカメ類 | | 0 | 0 | 0 | 670 | 670 | 670 | 670 | 0 | 642 | | |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病害虫名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 |
|-----------------------------|--------------|---------------|--------------|----|----|-----|-------|-----------|-------|--------------|----------------|----|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | |
| 冬春キュウリ (H27.9 ~H28.6) | 340 | べと病 | 4 | 10 | 28 | 127 | 169 | 323 | 1,615 | 41 | 151 | |
| | | 炭そ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 143 | 286 | 0 | 0 | |
| | | 疫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 136 | 136 | 0 | 0 | |
| | | 灰色かび病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 136 | 136 | 0 | 7 | |
| | | うどんこ病 | 0 | 7 | 4 | 85 | 96 | 340 | 1,360 | 8 | 118 | |
| | | 褐斑病 | 0 | 0 | 5 | 24 | 29 | 326 | 979 | 5 | 64 | |
| | | 斑点細菌病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 85 | 170 | 0 | 0 | |
| | | モザイク病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | ミナミキイロアザミウマ | 0 | 3 | 11 | 135 | 149 | 323 | 1,938 | 14 | 168 | |
| | | アブラムシ類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 136 | 136 | 0 | 2 | |
| 冬春ピーマン (H27.9 ~H28.6) | 200 | 疫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 84 | 84 | 0 | 0 | |
| | | 斑点病 | 2 | 2 | 7 | 24 | 35 | 160 | 640 | 12 | 58 | |
| | | 斑点細菌病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 0 | 0 | |
| | | うどんこ病 | 0 | 0 | 5 | 57 | 62 | 176 | 528 | 5 | 100 | |
| | | 灰色かび病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 100 | 0 | 0 | |
| | | モザイク病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | | アブラムシ類 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 100 | 200 | 2 | 8 | |
| | | タバコガ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 110 | 220 | 0 | 1 | |
| | | ミナミキイロアザミウマ | 0 | 5 | 19 | 36 | 60 | 194 | 1,358 | 24 | 104 | |
| ヒラズハナアザミウマ | 10 | 12 | 22 | 33 | 77 | 194 | 1,358 | 43 | 71 | | | |
| 冬春トマト (H27.9 ~H28.6) | 130 | 疫病 | 0 | 0 | 0 | 9 | 9 | 98 | 390 | 0 | 3 | |
| | | 灰色かび病 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 117 | 234 | 0 | 22 | |
| | | 葉かび病 | 0 | 0 | 7 | 4 | 11 | 91 | 273 | 7 | 17 | |
| | | コナジラミ類 | 0 | 2 | 11 | 66 | 79 | 130 | 910 | 13 | 59 | |
| | | ハモグリバエ類 | 0 | 0 | 0 | 9 | 9 | 107 | 213 | 0 | 14 | |
| | | モザイク病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 117 | 234 | 0 | 0 | |
| | | アブラムシ類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 59 | 117 | 0 | 1 | |
| | | (含ミニ) ハスモンヨトウ | 0 | 0 | 2 | 12 | 14 | 59 | 117 | 2 | 14 | |

| 農作物名 | 作付面積 (ha) | 病虫害名 | 程度別発生面積 (ha) | | | | 計 | 防除面積 (ha) | | 被害面積 (ha) | 平年発生 面積(ha) | 備考 |
|----------------------------|--------------|----------|--------------|---|----|-----|-----|-----------|-----|--------------|----------------|----|
| | | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | 実 | 延 | | | |
| 冬春イチゴ (H27.9 ～H28.5) | 67 | 灰色かび病 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 56 | 113 | 0 | 5 | |
| | | うどんこ病 | 1 | 8 | 11 | 11 | 31 | 64 | 128 | 21 | 27 | |
| | | 炭そ病 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 16 | 32 | 1 | 8 | |
| | | アブラムシ類 | 1 | 1 | 1 | 21 | 24 | 64 | 192 | 0 | 27 | |
| | | ハダニ類 | 0 | 5 | 11 | 37 | 53 | 64 | 256 | 16 | 46 | |
| | | ハスモンヨトウ | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 64 | 128 | 1 | 11 | |
| 秋冬ダイコン (H27.10～12) | 1,332 | モザイク病 | 0 | 0 | 0 | 203 | 203 | 0 | 0 | 0 | 421 | |
| | | アブラムシ類 | 0 | 0 | 0 | 677 | 677 | 839 | 839 | 0 | 618 | |
| | | キスジノミハムシ | 0 | 0 | 0 | 271 | 271 | 271 | 271 | 0 | 68 | |

9) 有害動植物発生予察事業実施状況

(1) 発表情報一覧(警報、注意報、特殊報、防除情報)

| 情報の種類 | 番号 | 発令月日 | 対象作物 | 対象病害虫 | 情報内容 |
|-------|----|--------|-------------------------|--|-----------|
| 注意報 | 1号 | 6月24日 | かんきつ | 黒点病 | 次ページ以降を参照 |
| | 2号 | 8月3日 | 普通期水稲 | いもち病 | |
| | 3号 | 1月30日 | 冬春ピーマン | 斑点病 | |
| | 4号 | 1月30日 | 冬春トマト(ミニトマトを含む) | 葉かび病、すすかび病 | |
| 防除情報 | 1号 | 5月30日 | かんきつ | 黒点病 | |
| | 2号 | 5月30日 | 施設野菜(きゅうり、ピーマン、トマト、イチゴ) | アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、ハダニ類、キュウリ黄化えそ病、つる枯病、土壌病害虫 | |
| | 3号 | 6月24日 | イチゴ(親株床) | 炭疽病、うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類 | |
| | 4号 | 6月24日 | 早期水稲 | いもち病 | |
| | 5号 | 6月24日 | 早期水稲 | 斑点米カメムシ類 | |
| | 6号 | 6月24日 | 茶 | 炭疽病 | |
| | 7号 | 11月30日 | 施設野菜 | トマトすすかび病 ピーマン黒枯病、斑点病 | |

(2) 情報の内容

◎ 注意報第1号（発令月日：平成28年6月24日）

病害虫名 黒点病
 作物名 かんきつ

- 1 発生地域 県下全域
 2 発生量 多
 3 発生状況と注意報の根拠

- 1) 平成28年6月中旬の巡回調査の結果、発生面積率 66.7%は平年（8.0%）に比べて多、発病度 1.93も平年（0.32）に比べて多である（図1、図2）。
 2) 発生面積率、発病度の数値（6月）はここ10年間で最も高い（図3、図4）。
 3) 今後、降雨が続くなど本病にとって好適な条件が続いた場合、果実への感染拡大が懸念される。

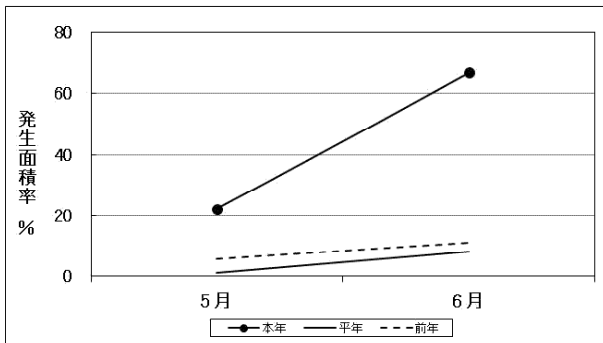


図1 月別発生面積率の推移

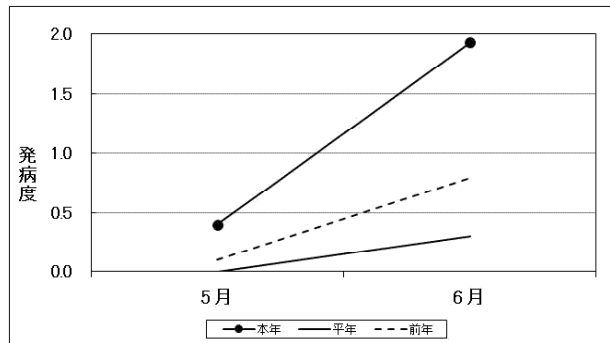


図2 月別発病度の推移

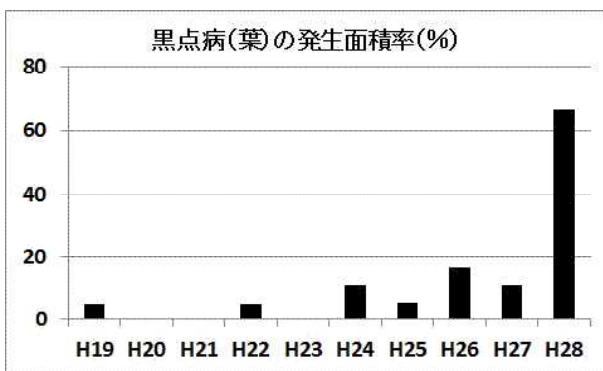


図3 年度別発生面積率

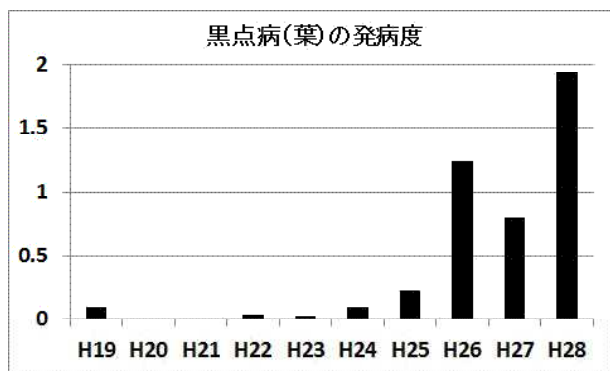


図4 年度別発病度

4 防除上の注意

- 1) 本病は糸状菌 (*Diaporthe citri*) により葉、果実、枝に発生する病気であり、果実への感染時期は6～10月である。
 2) 果実への被害を防ぐために、時期を逸しないよう継続して防除を行う。
 3) 伝染源は保菌した枯れ枝であるので、枯れ枝の剪定・除去（園外へ持ち出し）を行い伝染源を少なくするとともに、肥培管理に注意し、樹勢の強化・枯れ枝の発生抑制に努める。
 4) 防除の目安は、薬剤散布後の積算降水量が 250mm を超えた時点であるが、降水量が少ない場合でも、薬剤散布の30日後には次の防除が必要である。

- 5) 降雨によって発生が助長されるので、降雨前の薬剤散布を徹底する。
- 6) 降雨が続く晴天がないような場合でも、雨間散布により防除効果が期待できるので防除適期を逃さないよう防除を行う。また、降雨がなく晴天が続く場合でも、本病の更なる被害拡大を防ぐために定期的に薬剤防除を行う。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 注意報第2号（発令月日：平成28年8月3日）

病害虫名 いもち病（葉いもち、穂いもち）

作物名 普通期水稻

1 発生地域 県下全域

2 発生量 多

3 発生状況と注意報の根拠

- 1) 7月中旬の巡回調査における葉いもちの発生面積率は27.5%（平年8.5%）、発病度は3.3（平年0.5）で、発病株率は12.2%（平年1.7%）いずれも平年に比べて多の発生であった（図1、2）。
- 2) 7月下旬の巡回調査における葉いもちの発生面積率は55.0%（平年37.6%）、発病度は10.0（平年4.3）、発病株率は34.1%（平年13.4%）でいずれも過去10年間と比べて最も多い発生である（図1、2、表1）。特に県北部の中山間地域で発生が多い。
- 3) 向こう1か月の気象予報では、気温は平年並または高い予報であるが、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されていることから、穂いもちの発生に好適な条件となる可能性がある（鹿児島地方気象台7月28日発表1ヶ月予報）。

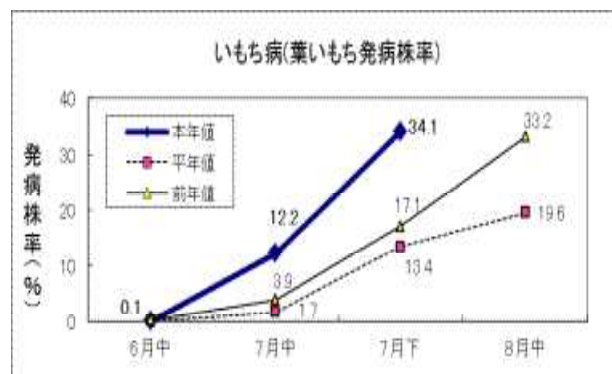
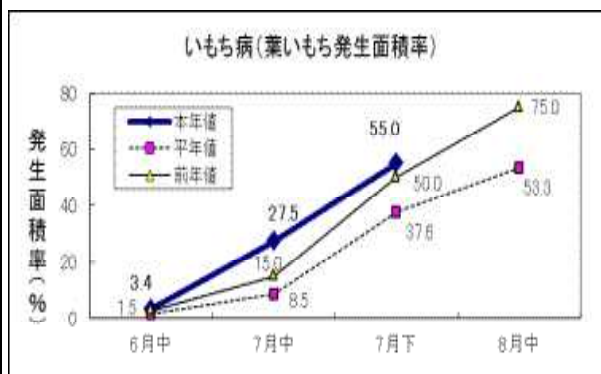


図1 巡回調査における発生面積率の推移

図2 巡回調査における発病株率の推移

表1 7月下旬の巡回調査における葉いもちの発生状況

| | 調査 地 点 数 | 程度別発生面積率 (%) | | | | 発生面積率 (%) | 発病度 | 発病株率 (%) |
|-----|----------------|-----------------|------|------|------|--------------|------------|-------------|
| | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | | |
| 東諸県 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0(22.5) | 1.0(0.7) | 4.0(2.6) |
| 北諸県 | 10 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 40.0 | 50.0(18.9) | 4.4(0.6) | 17.2(2.5) |
| 西諸県 | 8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 37.5 | 37.5(30.0) | 5.6(0.9) | 22.5(3.4) |
| 東臼杵 | 10 | 0.0 | 20.0 | 30.0 | 20.0 | 70.0(68.0) | 20.2(12.5) | 58.0(37.0) |
| 西臼杵 | 8 | 0.0 | 0.0 | 37.5 | 25.0 | 62.5(65.6) | 13.1(5.5) | 52.0(21.0) |
| 全県 | 40 | 0.0 | 5.0 | 17.5 | 32.5 | 55.0(37.6) | 10.0(4.3) | 34.1(13.4) |
| H27 | 40 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 40.0 | 50.0(-) | 4.5(-) | 17.1(-) |

※ () 内は平年値 (H18-27)。ただし、西臼杵は過去4年間 (H24-H27) の平均値

4 防除上の注意

- 1) 夏季の高温により、葉いもちの発生は一時的に抑制されるが、今後の気象条件によっては、穂いもちの発生が助長されるので、穂ばらみ後期と穂揃期の防除を徹底する。
- 2) 葉いもちが上位葉に発生している場合や、出穂期前後に降雨日が多いと予想される場合は、穂揃期の7～10日後にも追加防除を行う。
- 3) 雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。
- 4) 窒素過多になると、本病に感染しやすくなるので、適正な肥培管理を実施する。
- 5) 同一系統の薬剤の連用は薬剤耐性菌の発生を助長することから、作用機構の異なる薬剤をローテーションで使用する。
- 6) 県内の一部地域ではストロビルリン系殺菌剤（以下、QoI 剤）に対する感受性の低下したいもち病菌の発生が確認されているため、QoI 剤の使用は年1回にとどめ、感受性の低下を助長しないように注意する。
- 7) BLASTAM（ブラスタム）による葉いもちの感染好適条件の出現状況については、下記を参照。

※ <http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki/800/300/suitou/h27/blastam201507.htm>

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 注意報第3号（発令月日：平成29年 1月30日）

病害虫名 斑点病
作物名 冬春ピーマン

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多

3 注意報の根拠

1) 1月中旬の巡回調査における斑点病の発生面積率は54.6%（前年33.3%、平年33.5%）、発病葉率は6.6%（前年4.7%、平年3.7%）で、いずれも平年に比べてやや多の発生であった（図1、2）。

2) 向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は少ない予報であるが、曇雨天日が多くなると、施設内の湿度が高くなり、斑点病の発生に好適な条件となる可能性がある（鹿児島地方気象台1月26日発表1ヶ月予報）。

3) 平成28年11月30日付で防除情報第7号を発表し、適正管理および防除を呼びかけたが、その後も発生が拡大した。

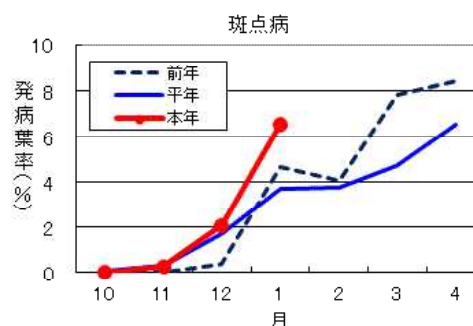
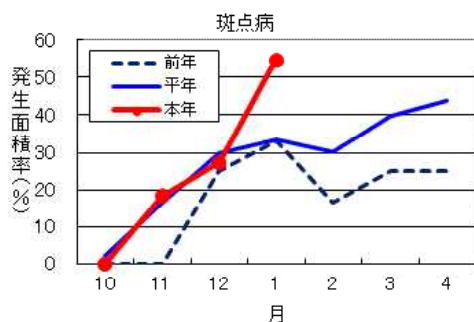


図1 巡回調査における発生面積率の推移

図2 巡回調査における発病葉率の推移

4 防除上の注意

- 1) 施設内が高温多湿にならないように、換気、水管理に注意するとともに、茎葉が過繁茂にならないよう管理を徹底する。
- 2) 厳寒期は施設内保温のために、密閉時間が長くなるので、加温機で送風を行うなどして発病しにくい環境作りに努める。
- 3) 発病葉は感染源となるため適正に処理する。本病に感染し落葉した葉、および着生している発病葉もできるだけこまめに摘葉しほ場外に持ち出し処分する。
- 4) 多発してからでは防除効果が劣るので、予防散布に重点をおく。発病がみられたら直ちに薬剤散布を行う。
- 5) 厳寒期には一時的に病勢の進展が緩慢になる傾向にあるが、3月以降は発病が増加傾向にあるので、発生を見逃さないように注意し、定期的な予防散布を実施する。

5 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

◎ 注意報第4号（発令月日：平成29年1月30日）

病害虫名 葉かび病、すすかび病
 作物名 冬春トマト（ミニトマトを含む）

- 1 発生地域 県下全域
 2 発生量 葉かび病 多
 すすかび病 前年、前々年より多い

3 注意報の根拠

1) 葉かび病

1月中旬の巡回調査における発生面積率は30.0%（前年10.0%、平年8.9%）、発病葉率は9.4%（前年2.0%、平年0.7%）で、いずれも平年に比べて多の発生であった（図1、2）。

発生面積率、発病葉率ともに過去10年同時期で最も高くなっている。

2) すすかび病

1月中旬の巡回調査における発生面積率は30.0%（前年20.0%、前々年20.0%）、発病葉率は6.4%（前年4.8%、前々年2.0%）であった（図3、4）。

発生面積率、発病葉率ともに過去10年同時期で最も高くなっている。

3) 向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は少ない予報であるが、曇雨天日が多くなると、施設内の湿度が高くなり、病害の発生に好適な条件となる可能性がある（鹿児島地方気象台1月26日発表1ヶ月予報）。

4) 平成28年11月30日付で防除情報第7号を発表し、すすかび病の防除を呼びかけたが、その後も平年より発生が多い状況で推移している。

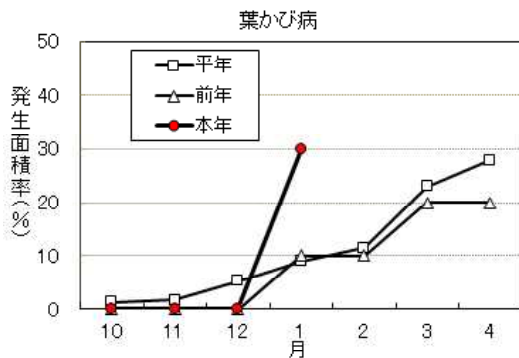


図1 巡回調査における発生面積率の推移

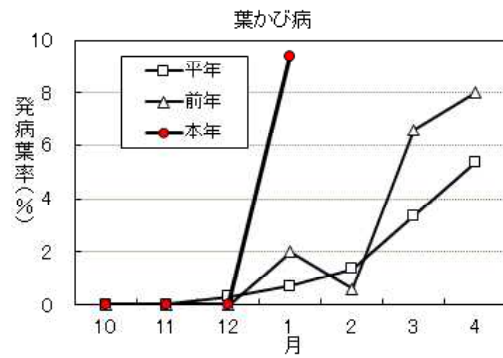


図2 巡回調査における発病葉率の推移

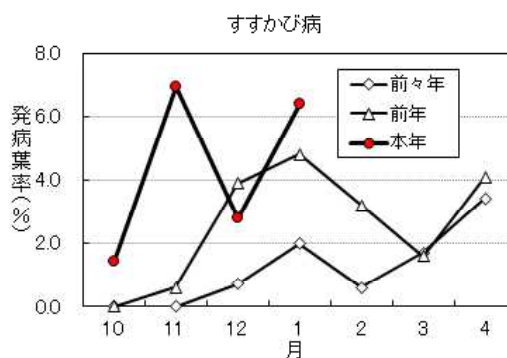
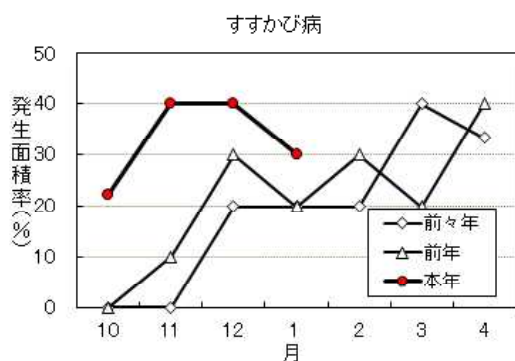


図3 巡回調査における発生面積率の推移 図4 巡回調査における発病葉率の推移

4 防除上の注意

- 1) 両病害とも密植や過繁茂により、施設内の湿度が高くなると発病しやすいので、換気を行うとともに、施設内が高湿度にならないように管理を徹底する。
- 2) 厳寒期は施設内保温のために、密閉時間が長くなるので、加温機で送風を行うなどして発病しにくい環境作りに努める。
- 3) 発病葉は感染源になるため、生育に支障がない限りできるだけ摘葉し、すみやかにほ場外へ持ち出し適正に処理する。
- 4) 多発してからでは防除効果が劣るので、予防散布に重点をおく。発病がみられたら直ちに薬剤散布を行う。
- 5) 今後は、灰色かび病や疫病等他の病害の発生も多く見られるようになるので、日頃からほ場をよく観察し、施設内管理を徹底するとともに早期発見・防除に努める。

5 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

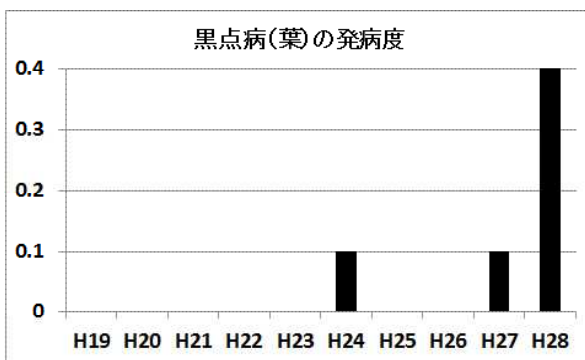
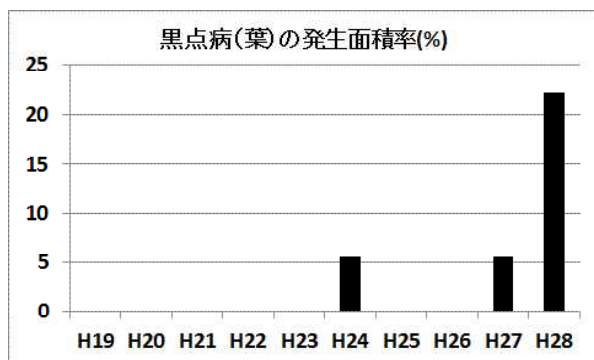
◎ 防除情報第1号（発令月日：平成28年5月30日）

かんきつの黒点病の発生量が多くなっています。

適切な防除に努めてください。

- 1 作物名 かんきつ
- 2 病害虫名 黒点病
- 3 発生状況（経過）

- 1) 5月中旬の巡回調査の結果、黒点病（葉）の発生面積率は22.2%（平年1.1%）、発病度0.4（平年0.02）で、いずれも平年に比べて多である。
- 2) 発生面積率、発病度の数値はここ10年間で最も高いため、今後の感染拡大が懸念される。



4 防除上の注意

- 1) 本病は糸状菌 (*Diaporthe citri*) により葉、果実、枝に発生する病気であり、果実への感染時期は6～10月である。
- 2) 直近の防除時期は6月上旬であり、時期を逸しないように注意する。また、果実への被害を防ぐために継続して防除を行う。
- 3) 伝染源は保菌した枯れ枝であるので、枯れ枝の剪定・除去（園外へ持ち出し）を行い伝染源を少なくするとともに、肥培管理に注意し、樹勢の強化・枯れ枝の発生抑制に努める。
- 4) 防除の目安は、薬剤散布後の積算降水量が 250mm を超えた時点であるが、降水量が少ない場合でも、薬剤散布の 30 日後には次の防除が必要である。
- 5) 降雨によって発生が助長されるので、降雨前の薬剤散布を徹底する。
- 6) 降雨がなく、晴天が続く場合でも、本病の更なる被害拡大を防ぐために定期的に薬剤防除を行う。また、降雨が続き晴天がないような場合でも、雨間散布により防除効果が期待できるので、防除適期を逃さないよう防除を行う。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第2号（発令月日：平成28年5月30日）

栽培終了時の蒸し込みと残さ処理を適切に行い、次期作付けのための病虫害対策を徹底しましょう。

- 1 作物名 施設野菜（きゅうり、ピーマン、トマト、イチゴ）
- 2 病虫害名 アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、ハダニ類、
キュウリ黄化えそ病、つる枯病、土壌病虫害
- 3 発生状況（経過）

1) アザミウマ類

4月の巡回調査の結果は以下の通りであった。

(1) 冬春きゅうり

・ミナミキイロアザミウマ

発生面積率：84.6%（前年 85.7%、平年 67.0%） 平年より多

100葉当たり虫数：39.9頭（前年 106.4頭、平年 212.5頭） 平年よりやや少

ミナミキイロアザミウマは、キュウリ黄化えそ病の原因ウイルスの媒介虫であり、保毒虫が施設外に拡散すると露地栽培きゅうりやその後続く施設栽培で病気の蔓延を引き起こすことが懸念される。

(2) 冬春ピーマン

・ミナミキイロアザミウマ

発生面積率：49.9%（前年 38.5%、平年 59.9%） 平年よりやや少

10花当たり虫数：3.8頭（前年 1.0頭、平年 2.3頭） 平年より多

・ヒラズハナアザミウマ

発生面積率：41.6%（前年 61.6%、平年 46.1%） 平年並

10花当たり虫数：11.2頭（前年 6.9頭、平年 13.8頭） 平年並

2) タバココナジラミ

4月の巡回調査の結果は以下の通りであった。

(1) 冬春きゅうり

発生面積率：30.8%（前年 14.3%、平年 28.5%） 平年並

100葉虫数：7.2頭（前年 1.5頭、平年 2.1頭） 平年より多

(2) 冬春トマト

発生面積率：70.0%（前年 33.3%、平年 39.3%） 平年より多

100葉当たり虫数：10.4頭（前年 6.2頭、平年 5.6頭） 平年よりやや多

タバココナジラミ（バイオタイプQ）は、トマト黄化葉巻病の原因ウイルスの媒介虫であり、保毒虫が施設外に拡散すると露地栽培トマトやその後続く施設栽培で病気の蔓延を引き起こすことが懸念される。

3) アブラムシ類

巡回調査の結果は以下の通りであった。

(1) 冬春ピーマン（4月調査）

発生面積率：0.0%（前年 0.0%、平年 7.1%） 平年並

50芯当たり虫数：0.0頭（前年 0.0%頭、平年 1.9頭） 平年並

(2) イチゴ（3月調査）

発生面積率：23.1%（前年 38.5%、平年 30.6%） 平年並

寄生株率：1.9%（前年 4.3%、平年 2.8%） 平年並

4) ハダニ類

3月のイチゴにおける巡回調査の結果は以下のとおりであった。

発生面積率：61.6%（前年 84.7%、平年 81.3%） 平年よりやや少

寄生株率：26.2%（前年 49.1%、平年 27.1%） 平年並

5) キュウリ黄化えそ病（MYSV）

4月の巡回調査の結果は以下のとおりであった。

発生面積率：23.1%（前年 14.3%、前々年 46.7%）過去6カ年間で2番目に多い

発病株率：0.8%（前年 1.5%、前々年 0.3%） 過去6カ年間で2番目に多い

6) つる枯病

4月のきゅうりにおける巡回調査の結果は以下のとおりであった。

発生面積率：15.4%（前年 7.1%、平年 7.9%） 平年よりやや多

発病株率：0.5%（前年 0.7%、平年 0.3%） 平年よりやや多

4 防除上の注意

1) アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、ハダニ類

- ① いずれの害虫も薬剤感受性の低下が報告されるなど、栽培期間中の防除が困難となってきていることから、次作での発生を抑制するためには、栽培終了時の施設外への飛散を抑制することが重要である。
- ② 栽培終了時には、施設を密閉し蒸し込みによる害虫の死滅を図り、病虫害の拡散防止を徹底する。具体的には、栽培終了後、植物及び雑草は株を抜根し、すぐに施設を密閉して蒸し込みを行う。蒸し込み期間は蛹が羽化する期間も考慮して、少なくとも10日間以上を確保する。
- ③ ほ場周辺やほ場内の雑草は害虫の発生・増殖源となるので、ハウス内外、栽培地周辺の除草を徹底する（ハウス内の雑草や枯れていない残さは害虫の生き残り場所になるので徹底した除草が必要である）。
- ④ 次期の作付に当たっては、育苗期から防除（粒剤施用など含む）を徹底し、本ほハウスには防虫ネットや抑草シート、光反射資材を設置し、害虫の苗からの持ち込みや外からの飛び込みを防止する。

2) キュウリ黄化えそ病（MYSV）

- ① 次期作に向け、周辺にウイルスを拡散させないために、栽培終了時には必ず防除と蒸し込みを行い、生き残ったミナミキイロアザミウマを死滅させる。具体的には、まずミナミキイロアザミウマの防除を行ってから株を抜根した上で、施設を密閉して20日間蒸し込む。

3) キュウリつる枯病

- ① 次作に残る病原菌は、土壌中のみではなく、資材へも多数付着しており、特にマルチやダクト、灌水チューブ等には多数の病原菌が付着しているため、次作ではなるべく新しいものを使用する。支柱など古い資材を使用する場合は、被害残渣を取り除き、適切に消毒を行い使用する。

4) 土壌病虫害

- ① 作物残さを施設外に持ち出し、埋却処理など、適切に処分する必要がある。*Nectria* 属菌によるピーマン立枯病やトマト立枯病などは、病気が感染した葉や果実などでも病原菌が増殖し、土壌中で生き残るため、葉や果実などの地上部残さも施設外に持ち出し、適切に処分する。
- ② トマトの線虫抵抗性台木を使用したほ場でもネコブセンチュウの被害が確認されていることから、線虫が寄生している根などはほ場内に残さないようにする。
- ③ 残さ処理の終わったほ場は、改良太陽熱消毒法などによりほ場の隅々まで土壌消毒を行う。天候不順などで、改良太陽熱消毒法の防除効果が十分に望めない時は、薬剤による土壌消毒を実施する。次期作付けに当たっては、健全種子及び苗を確保するとともに土作りを十分に行い、適正な栽培管理に努める。また、秋口の高温により発病が助長される土壌病害もあることから、極端な早植えは避ける。

- ④ 土壌病害が発生したほ場で、くん蒸剤などの土壌消毒剤を使用する場合は、残さを分解させた後に処理することで高い防除効果が得られる。
- ⑤ 施設内で使用した資材・農機具などについても消毒を行うなど、徹底して病原菌や線虫など土壌病害虫の密度を減らすことが重要である。

5 その他

- 1) その他詳細については、西白杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センターなど関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日までの3か月間、農薬危害防止運動を実施します。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第3号（発令月日：平成28年6月24日）

イチゴの親株や育苗床の病害虫対策を徹底しましょう。

- 1 作物名 イチゴ（親株床）
- 2 病害虫名 炭疽病、うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類
- 3 発生状況（経過）

5月上旬から下旬にかけての巡回調査の結果は、次の通りであった。

1) 炭疽病（簡易検定による潜在感染状況調査）

感染ほ場率 : 49.9%（平年 33.6%、前年 36.4%） 平年並
 潜在感染株率 : 11.7%（平年 9.1%、前年 6.4%） 平年よりやや多

2) うどんこ病

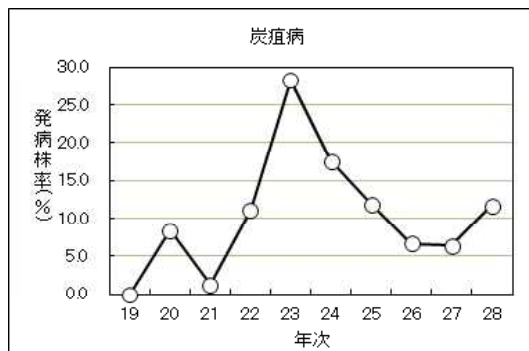
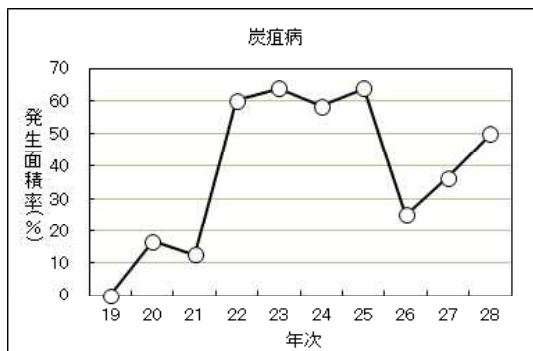
発病面積率 : 24.9%（平年 48.4%、前年 25.0%） 平年よりやや少
 発病株率 : 5.7%（平年 8.1%、前年 7.8%） 平年並

3) ハダニ類

発生面積率 : 50.0%（平年 66.3%、前年 83.3%） 平年並
 寄生株率 : 12.0%（平年 14.8%、前年 36.0%） 平年並

4) アブラムシ類

発生面積率 : 25.0%（平年 51.6%、前年 58.3%） 平年よりやや少
 寄生株率 : 1.5%（平年 11.8%、前年 8.3%） 平年よりやや少



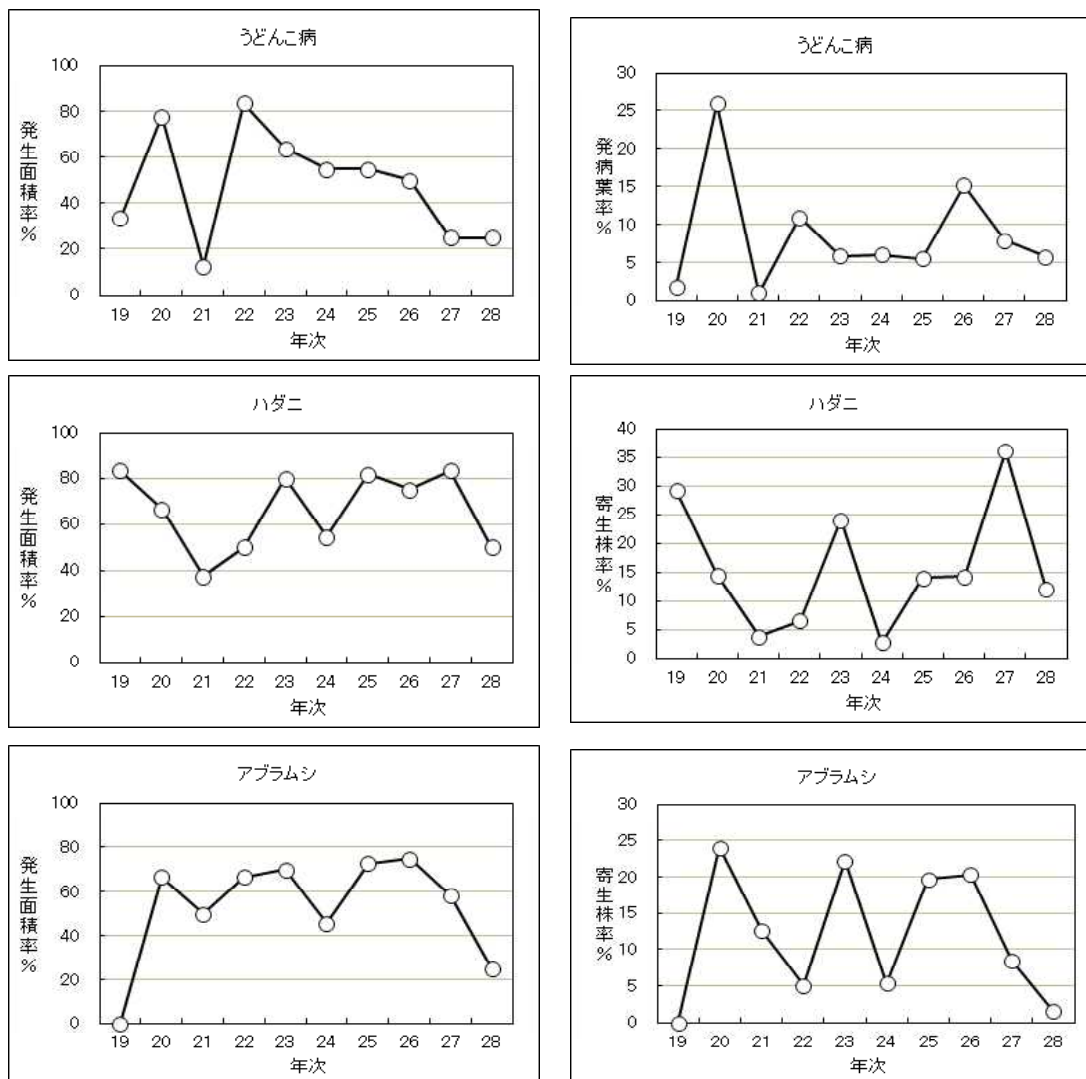


図1 親株床での病害虫の年次別発生状況

4 防除上の注意

1) 炭疽病

(1) 親株における本病の検定に努める。感染が確認された株は、病原菌が拡散する恐れがあるため、速やかに苗床や栽培ほ場から持ち出し、できるだけ離れた場所に埋却する等適切に処分する。感染株に隣接した株も感染の恐れが高いため、あわせて廃棄処分する。本病の簡易検定方法については、宮崎県農薬安全使用啓発ホームページ

(<http://nouyaku-tekisei.pref.miyazaki.lg.jp/nouyaku/user/haishinfile/list/miyazaki>)を参照。

(2) 降雨、台風の前や摘葉後には薬剤散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

(3) 窒素過多などで軟弱な株は発病しやすくなるため適正な施肥に努める。

(4) 感染株の発生に備え、予備苗を十分に確保するよう努める。

2) うどんこ病

(1) 過繁茂になると、株間の湿度が上がり感染しやすい環境になるので、適宜下葉の除去を行い、風通しをよくする。発病がみれなくても、定期的に防除を行い、本ぼへの持ち込みを防ぐ。

3) アブラムシ類、ハダニ類

(1) いずれも急激に個体数を増加させる害虫であるため、発生初期のうちに、散布間隔を短くして集中的に防除することが重要である。また、ハダニ類は発生初期はスポット的に寄生しているため、葉裏を中心にほ場全体を注意深く観察する。

(2) アブラムシ類は若い葉やランナーの先端部、ハダニ類は下葉の裏に多く寄生しているため、不要な下葉を除去した後、薬剤が葉裏まで十分にかかるように丁寧に散布する。除去した葉は、育苗ほ周辺に放置せず、ビニル袋などに密封するなどして適切に処理を行う。

(3) 両害虫とも、イチゴ以外の植物にも寄生するので、育苗ほ周辺の除草を行う。

(4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤のローテーション散布に努める。また、抵抗性発現の可能性が低い気門封鎖型薬剤等を使用するなど、効果の高い薬剤の温存に努める。

4) その他病害

(1) 萎黄病は、高温になると発生が多くなり、育苗時にはランナーで伝染するので、発病株はすみやかにほ場外に持ち出し処分する。

いずれの病害虫も本ほに持ち込むと根絶が困難であるため、育苗期間中に十分観察し、罹病・寄生株の早期防除・除去を行うとともに定植時の選別を徹底する。

5 その他

1) 他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第4号（発令月日：平成28年6月24日）

早期水稲で葉いもちの発生が多くなっています。適切な防除を行いましょう。

1 作物名 早期水稲

2 病害虫名 いもち病

3 発生状況（経過）

1) 6月中旬の巡回調査における巡回調査の結果は以下の通りであった。

発病面積率 : 34.4% (平年 14.1%、前年 46.9%) 平年よりやや多

発病度 : 2.3 (平年 0.9、前年 5.8) 平年よりやや多

発病株率 : 9.0% (平年 3.6%、前年 22.5%) 平年よりやや多

2) 向こう1か月の天候は、前半は平年に比べて曇りや雨の日が多く、気温は平年並が30%、高い確率が40%、降水量は平年並が30%、高い確率が50%と予想されている（鹿児島地方気象台6月23日発表1か月予報）ことから、病徴の進展に好適な条件である。

3) アメダスデータを利用した葉いもち発生予測モデル (BLASTAM) によると、5月から6月にかけて県内各地で感染好適日が出現しており、今後も発生の拡大が予想される (表2)。

4) 止葉や次葉に発生した葉いもち病斑は穂いもちの主要な伝染源となるため、出穂後の穂への感染が懸念される。

表1 6月中旬の葉いもち発生状況

| 区分 | 調査地点数 | 程度別発生面積率 (%) | | | | 発生面積率 (%) | 発病度 |
|----|-------|--------------|-----|-----|------|-------------|-------------|
| | | 甚 | 多 | 中 | 少 | | |
| 全県 | 32 | 0.0 | 0.0 | 3.1 | 31.3 | 34.4 (14.1) | 2.25 (0.92) |

※()内は平年値

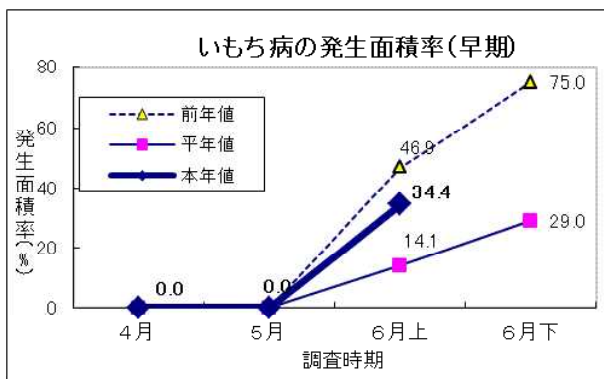


図1 巡回調査における発生面積率の推移

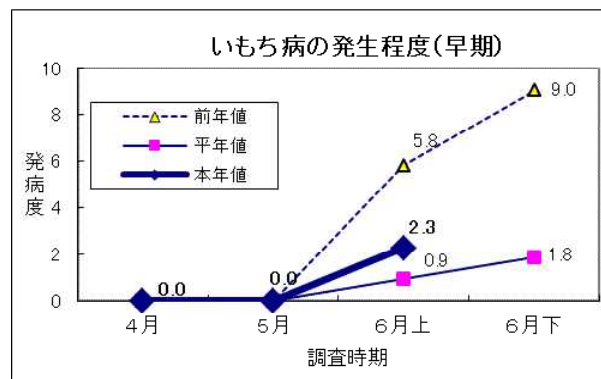


図2 巡回調査における発病度の推移

表2 5月下旬～6月中旬の BLASTAM 判定結果

| | 5/25 | 5/26 | 5/27 | 5/28 | 5/29 | 5/30 | 5/31 | 6/5 | 6/6 | 6/7 | 6/8 | 6/9 | 6/10 | 6/11 | 6/12 | 6/13 | 6/14 | 6/15 | 6/16 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 古江 | - | - | - | - | ● | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | ● | ● | - | - | ● |
| 延岡 | - | - | - | - | ● | - | - | - | ● | - | - | - | - | - | - | ● | - | - | ● |
| 日向 | - | - | - | ● | ● | - | - | ● | ● | - | ● | - | - | - | - | ● | - | - | ● |
| 高鍋 | - | - | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | 4 | - | - | - | - | - | ● | - | - | ● |
| 西都 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● | - | ● | - | - | - |
| 宮崎 | - | - | - | - | ● | - | - | - | ● | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | ● |
| 青島 | - | ● | - | - | - | ● | - | ● | - | - | - | - | ● | - | - | - | 4 | - | ● |
| 赤江 | - | - | - | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | - | ● |
| 油津 | - | ● | - | - | ● | - | - | - | ● | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● |
| 串間 | ● | ● | - | ● | - | ● | - | - | - | - | - | - | - | - | ● | - | ● | - | - |

注) BLASTAMは、気象庁のアメダスデータを用いて、葉面の湿潤時間を計算し、いもち病 (葉いもち) の感染しやすい条件を推定するシステムであり、もっとも感染に好適な条件になった日は●で表示される。

※最新の情報は <http://www.jpnpn.jp/miyazaki/800/300/suitou/h28/blastam201606.htm> を参照

4 防除上の注意

- 1) 穂いもちを対象に、穂ばらみ後期と穂揃期の2回防除を徹底する。
- 2) 本田で粒剤処理を行った水田においても、葉いもちの発生が多く、上位葉に進展している場合は、穂揃期の7～10日後に追加防除を行う。
- 3) 雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。

4) 無人ヘリ防除が行われない地域は広域の集団一斉防除に努め、防除効率を高める。

5 その他

1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

2) 6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施します。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第5号（発令月日：平成28年6月24日）

斑点米カメムシ類の適切な防除を行いましょ。

- 1 作物名 早期水稲
- 2 病害虫名 斑点米カメムシ類
- 3 発生状況

(1) 6月中旬の巡回調査における早期水稲での生息密度（20回すくい取り）は、発生面積率28.2%（平年13.8%、前年25.0%）、すくい取り虫数0.8頭（平年1.7頭、前年0.4頭）で、発生面積率は平年より多、すくい取り虫数は平年並となっている。

(2) 6月上旬の水田周辺におけるイタリアンライグラス等飼料作物での生息密度（20回振りすくい取り）は、成・幼虫合計で45.2頭（平年41.6頭、前年44.4頭）であり、平年並となっている（表1）。

(3) 種別では、アカスジカスミカメの生息密度が平年よりもやや高いが、その他4種の生息密度は平年並となっている（図1、2）。

表1 飼料作物における斑点米カメムシ類の種別平均頭数（6月上旬、20回振り）

| | ミナミアオ | クモヘリ | ホソハリ | シラホシ | アカスジカスミカメ | 全種合計 |
|-------|-------|------|------|------|-----------|------|
| H28 ※ | 1.4 | 2.3 | 1.9 | 0.5 | 39.1 | 45.2 |
| H27 ※ | 0.9 | 5.2 | 2.2 | 0.6 | 35.5 | 44.4 |
| 平年値 | 1.3 | 5.7 | 2.4 | 1.0 | 31.3 | 41.6 |

※調査地点数（H28）：91地点（中部、南那珂、児湯、東臼杵管内）

※調査地点数（H27）：139地点（中部、南那珂、児湯、東臼杵管内）

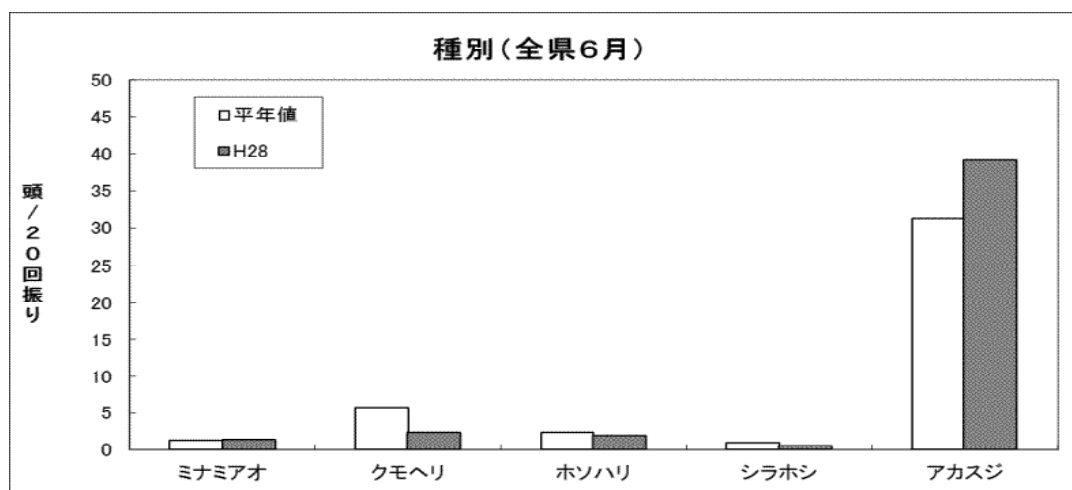


図1 種別平均頭数（6月上旬飼料作物、20回振り）

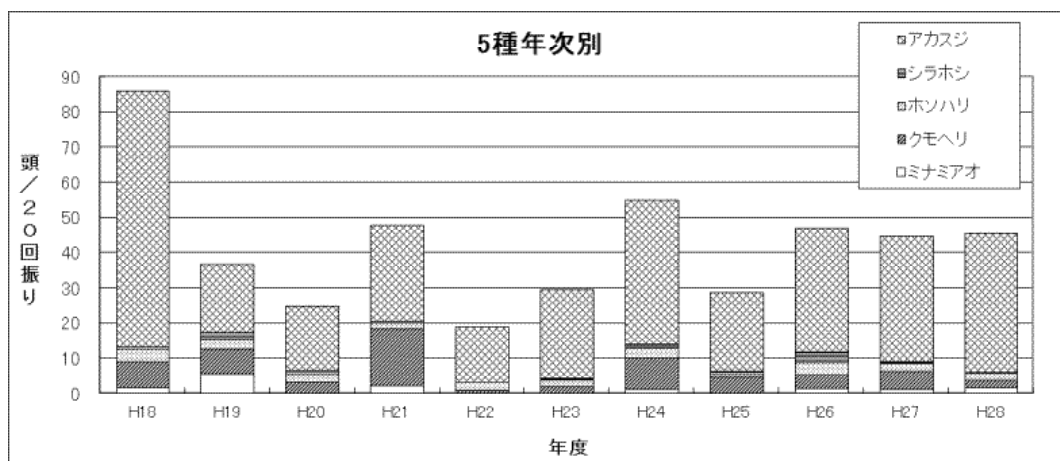


図2 年度別種別平均頭数（6月上旬飼料作物、20回振り）

4 防除上の注意

- (1) 本虫による被害は品質を著しく低下させ、等級格下げの重要な要因になるので穂揃期とその7～10日後の2回防除を徹底する。その後も発生が見られる場合には、さらに追加防除が必要である。
- (2) 広域の集団一斉防除に努め、防除効率を高める。
- (3) 出穂の早い、または遅い水田には集中的に飛来するおそれがあるほか、ヒエがある場合は先に出穂するヒエにカメムシが集まる傾向があるので早めに処分する。

5 その他

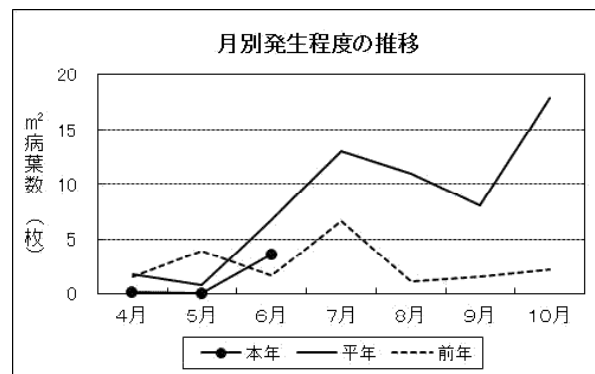
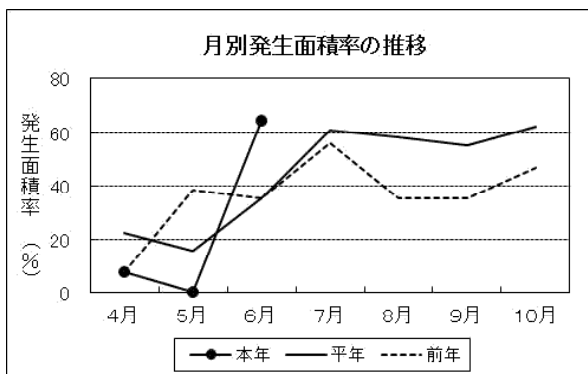
- (1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- (2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第6号（発令月日：平成28年6月24日）

茶の炭疽病の発生量が多くなっています。適期防除に努めてください。

- 1 作物名 茶
- 2 病害虫名 炭疽病
- 3 発生状況（経過）

- 1) 6月中旬の巡回調査の結果、炭疽病の発生面積率は64.7%（平年35.3%）で平年よりやや多く、1㎡あたりの病葉数は3.6葉（平年6.7葉）で平年並である。
- 2) 今後、本病にとって好適な条件（降雨）が続いた場合、被害の拡大が懸念される。



4 防除上の注意

- 1) 本病は前茶期の病葉が伝染源となるため、前茶期に発生が多かった茶園では発生が多くなる傾向がある。また病原菌は雨によって飛散するため、降雨が多い場合は注意が必要である。
- 2) 本病は開葉して間もない柔らかい新葉に感染するので、二・三番茶および秋芽の萌芽期～開葉期に重点的に防除する。
- 3) 多発状態の続く茶園ではせん枝により伝染源を除去する。
- 4) 品種により本病への抵抗性に差があるため、「やぶきた」、「おくみどり」、「さやまかおり」など本病に弱い品種は特に注意する。
- 5) 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一薬剤の連用を避ける。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場茶業支場、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

◎ 防除情報第7号（発令月日：平成28年11月30日）

1 作物名 施設野菜（冬春トマト、冬春ピーマン）

2 病虫害名 トマトすすかび病
ピーマン黒枯病、斑点病

3 発生状況（経過）

1) 冬春トマト（ミニトマトを含む）

11月中旬の巡回調査の結果は以下の通りであった。

(1) すすかび病

発生面積率：40.0%（前年10.0%、前々年0.0%）

過去10年で最も多い

発病葉率：6.9%（前年0.6%、前々年0.0%）

過去10年で最も多い

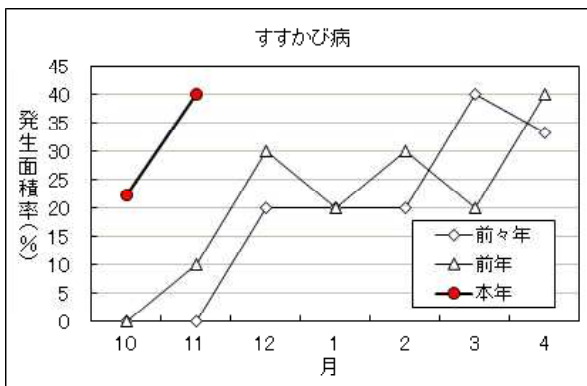


図1 すすかび病の発生面積率

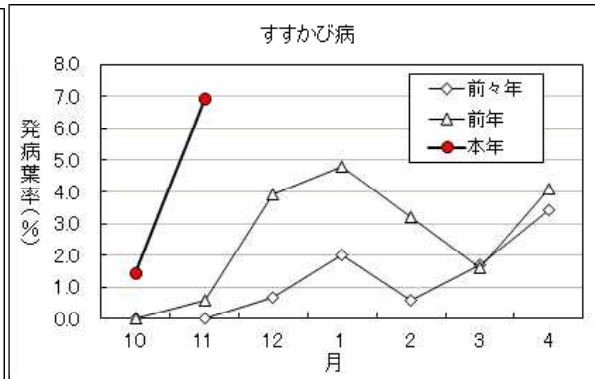


図2 すすかび病の発病葉率

2) 冬春ピーマン

11月中旬の巡回調査の結果は以下の通りであった。

(1) 黒枯病

発生面積率：9.1%（前年0.0%、平年10.6%）

平年並

発病葉率：2.5%（前年0.0%、平年0.6%）

平年より多

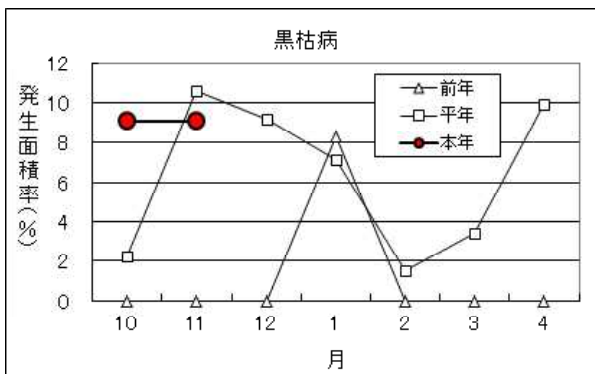


図3 黒枯病の発生面積率

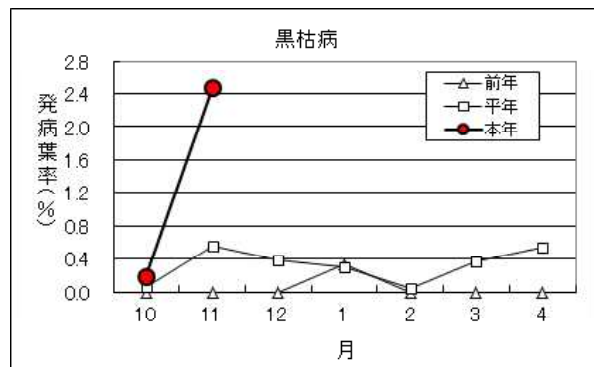


図4 黒枯病の発病葉率

(2) 斑点病

発生面積率：18.2 %（前年 0.0 %、平年 16.6 %）

平年よりやや多

発病葉率：0.3 %（前年 0.0 %、平年 0.3 %）

平年並

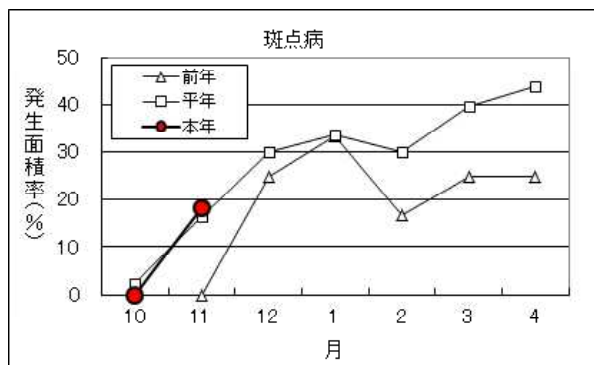


図5 斑点病の発生面積率

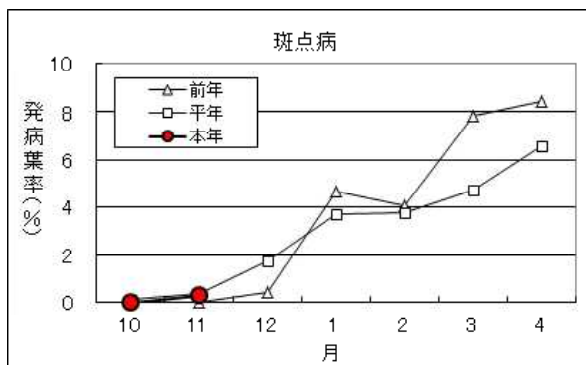


図6 斑点病の発病葉率

向こう1ヶ月の気象予報では、気温は平年より高く、降水量も平年より多い予報となっている。また、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みであることから、施設病害の発生に好適な条件となる可能性がある（11月24日鹿児島気象台発表）。

4 防除上の注意

1) トマトすすかび病

- (1) 密植や過繁茂により、施設内の湿度が高くなると発病しやすいので、換気を行うとともに、施設内が高湿度にならないように管理を徹底する。
- (2) 発病葉は感染源となるため、施設外に持ち出し、適正に処理する。
- (3) 多発してからでは防除効果が劣るので、予防散布に重点をおく。発病がみられたら直ちに薬剤散布を行う。
- (4) 毎年、12月以降には、葉かび病、灰色かび病及び疫病の発生が増加傾向にあるので、日頃からほ場をよく観察し、施設内管理を徹底するとともに早期発見、防除に努める。

2) ピーマン黒枯病、斑点病

- (1) 施設内が高湿多湿にならないように、換気、水管理に注意するとともに、茎葉が過繁茂にならないよう管理を徹底する。
- (2) 発病葉は感染源となるため、施設外に持ち出し、適正に処理する。
- (3) 多発してからでは防除効果が劣るので、予防散布に重点をおく。発病がみられたら直ちに薬剤散布を行う。
- (4) いずれの病害も厳寒期には一時的に病斑の進展が緩慢になるが（図3～6）、春先以降、発病が増加傾向にあるので、発生を見逃さないように注意し、定期的な予防散布を実施する。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センターなど関係機関に照会してください

2 フードビジネスを支える環境保全型農業革新事業

1) ニカメイガの発生活長調査

1 背景・ねらい

本県中部におけるニカメイガの発生は、1960年代までは多数確認されていたが、1970年代後半からほとんど見られなくなっていた。しかし近年、早期水稲・普通期水稲・飼料用稲の混耕地帯でニカメイガが散見されるようになっており、増加傾向にあると推定される。そこで、ニカメイガの発生活長を把握するために、乾式予察灯とフェロモントラップを用いて調査した。

2 試験方法

(1) 調査地点

①乾式予察灯：宮崎市、国富町、都城市、延岡市の4地点

（宮崎市と国富町は早期水稲・普通期水稲・飼料用稲の混耕地帯、都城市と延岡市は普通期水稲と飼料用稲の混耕地帯）

②フェロモン（SE）トラップ：宮崎市、西都市、国富町、高岡町、木城町の5地点

（西都市と木城町は早期水稲と飼料用稲の混耕地帯、それ以外は早期水稲・普通期水稲・飼料用稲の混耕地帯）

(2) 調査期間

①3月第5半旬（宮崎市は4月第1半旬）～10月第6半旬

②3月第2半旬～10月第6半旬

3 調査結果の要約

(1) 発生活長の調査

①乾式予察灯の調査では明確なピークは見られなかった。西都市とその他の市町村に設置してあるフェロモントラップでは、ピークが現れる時期が異なった。

②期間を通して、前年もしくは前々年と比較して誘殺数は少なく推移した。

③都城市と延岡市に設置してある予察灯では、年間をとおして全く誘殺されなかった。

4 今後の課題

昨年度までの調査結果から、県央における越冬世代の羽化のピークは40年前よりも1ヶ月程度早く、地域によっては年三世代以上の発生が推測された。今年度は前年度より誘殺数が大幅に減少したが、今後は減少した要因についても分析するとともに、引き続き県内各地点の調査を行うことで、地域毎の発生活長と防除適期を明らかにする。

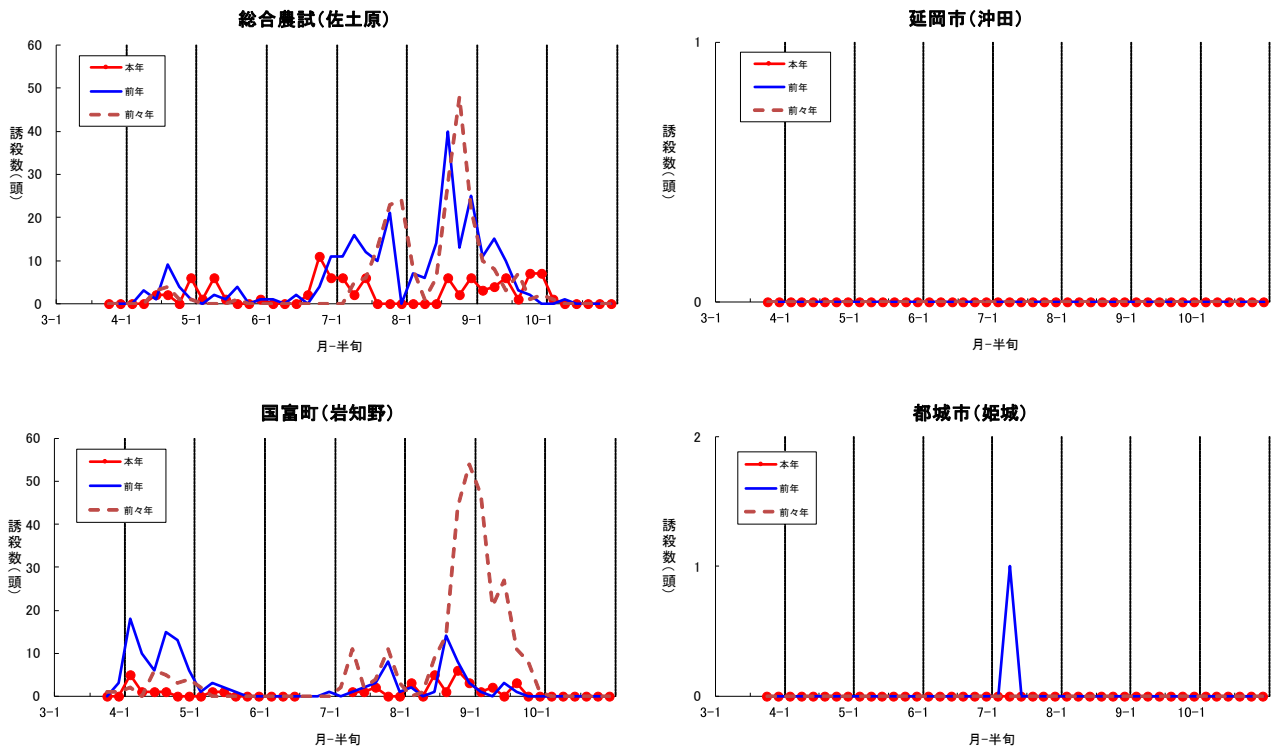


図1 予察灯によるニカメイガの誘殺状況

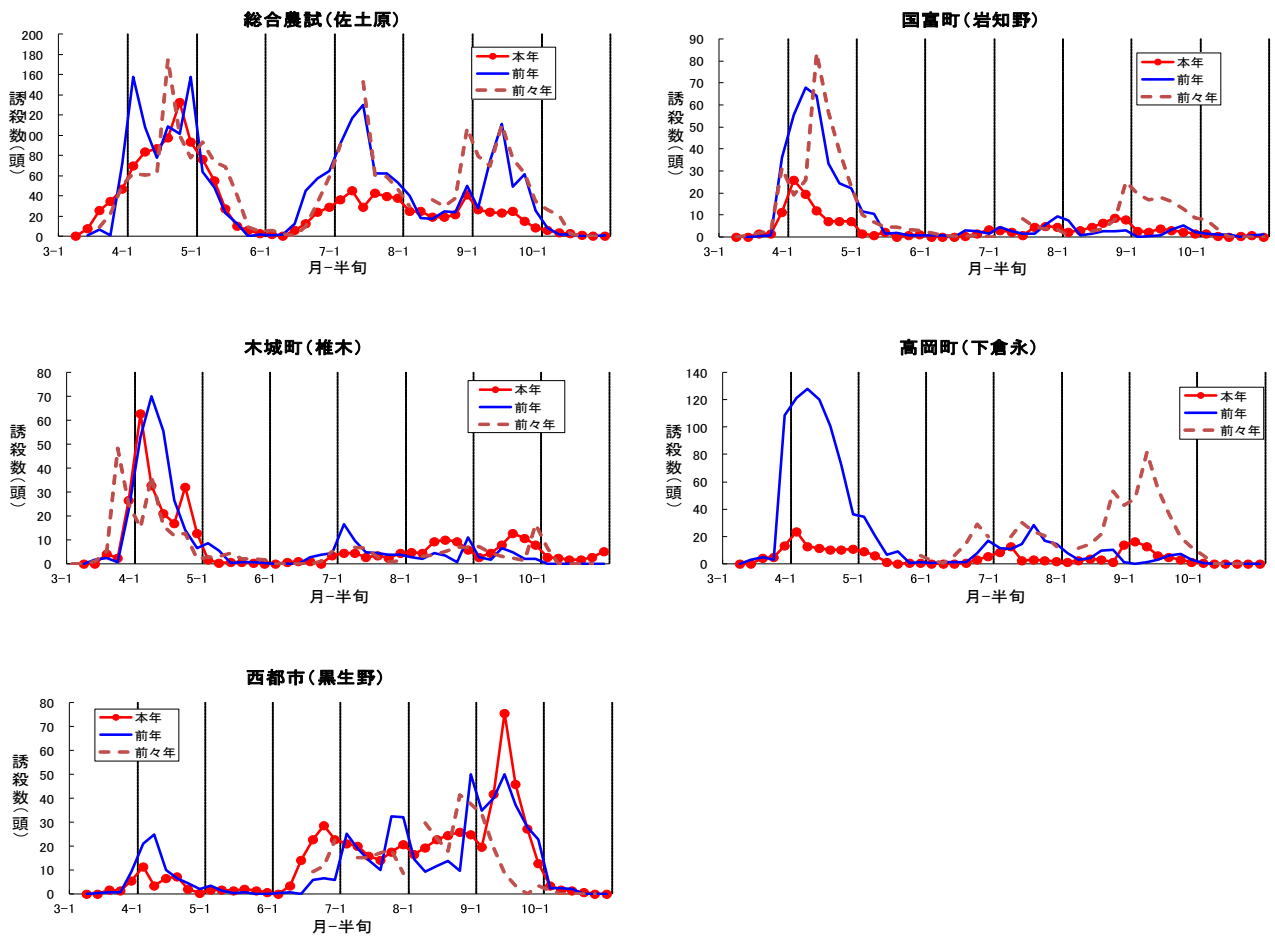


図2 フェロモントラップによるニカメイガの誘殺状況

2) 県内におけるチャノキイロアザミウマ新規系統（C系統）の分布調査

1 背景・ねらい

平成21年にマンゴーで在来のチャノキイロアザミウマとは遺伝的に異なる系統の個体群（C系統）が遺伝子分析によって県内で初めて確認された。そこで、平成21年、25年、26年、28年度に県内におけるC系統の分布状況について調査を行った。

2 調査方法

(1) 調査品目

マンゴー、茶

(2) 調査地点（市町村）

マンゴー：串間市、日南市、宮崎市、三股町、都城市、小林市、西都市、新富町、高鍋町、川南町、日向市、門川町 延べ72ほ場

茶：串間市、宮崎市、国富町、三股町、都城市、小林市、西都市、新富町、川南町 延べ18ほ場

(3) 調査期間

平成21年度：9月～10月（各ほ場1回サンプリング）

平成25年度：8月～10月（各ほ場1回サンプリング）

平成26年度：6月～8月（各ほ場1回サンプリング）

平成28年度：9月1日、平成29年1月～2月（試験場内マンゴーハウス1回サンプリング）

(4) 系統の判別方法

調査ほ場で無作為にサンプリングした各個体のDNAを抽出し、リボゾームDNAのITS2領域のマルチプレックスPCRを行った。その後、電気泳動を行い、得られたバンドによりC系統と在来系統（YT系統）を判別した（YT系統では約295 bp、C系統では約190 bpの増幅産物が得られる）。

3 調査結果の要約

(1) 果樹

1) マンゴー

- ・平成21年度：宮崎市、西都市、高鍋町についてはYT系統との混発ほ場が複数確認されたが、それ以外の市町では全てC系統のみが確認された。
- ・平成25年度：宮崎市と都城市の一部でYT系統のみが確認されたほ場があったが、それ以外のほ場は全てC系統のみであった。
- ・平成26年度：宮崎市と都城市の一部で混発が確認されたほ場があったが、それ以外のほ場は全てC系統のみであった。

以上のことから、調査対象の市町全てでC系統の発生が確認された。

(2) 茶

平成26年度に調査した新富町の一部ほ場では混発の可能性が考えられるが、それ以外のほ場では全てYT系統のみの発生であった。

以上により、マンゴーではほとんどのほ場でC系統の発生を確認した（表1）。茶ではほとんどのほ場がYT系統であったが、混発の可能性のあるほ場については再調査が必要である（表2）。

4 今後の課題

今後は、門川町以北のほ場についても分布状況を確認する。

また、C系統とYT系統の発生要因については、各ほ場の環境条件や防除方法などの影響が考えられることから、今後はそのような相関についても調査が必要であるとする。

表1 チャノキイロアザミウマC系統の分布状況調査結果（果樹）

| 地区名 | 調査年度 | 採取年月日 | 作物名 | 場所 | 発生割合(%) | | 地区名 | 調査年度 | 採取年月日 | 作物名 | 場所 | 発生割合(%) | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|----------|-------|------|-------|-------|-------|---------|----------|------|----|
| | | | | | 新規(C系統) | 在来(YT系統) | | | | | | 新規(C系統) | 在来(YT系統) | | |
| 中部 | H21 | 9月25日 | マンゴー | 宮崎市 | 100% | 0% | 北諸県 | H21 | 9月25日 | マンゴー | 都城市 | 100% | 0% | | |
| | | 9月17日 | | 宮崎市 | 0% | 100% | | | 9月25日 | | 都城市 | 100% | 0% | | |
| | | 9月17日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | | 9月25日 | | 三股町 | 100% | 0% | | |
| | | 9月17日 | | 宮崎市 | 13% | 88% | | H25 | 9月18日 | マンゴー | 都城市 | 0% | 100% | | |
| | | 9月17日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | | H26 | 7月25日 | マンゴー | 都城市 | 0% | 100% | |
| | | 9月17日 | | 宮崎市 | 13% | 88% | | | | 西諸県 | 9月25日 | マンゴー | 野尻町 | 100% | 0% |
| | 9月17日 | 宮崎市 | 13% | 88% | H26 | 7月31日 | マンゴー | 野尻町 | 100% | | 0% | | | | |
| | H25 | 8月8日 | 宮崎市 | 100% | | 0% | | H21 | 9月17日 | マンゴー | 新富町 | 100% | 0% | | |
| | | 9月25日 | 宮崎市 | 100% | 0% | 9月17日 | 高鍋町 | | 25% | | 75% | | | | |
| | | 9月25日 | カンキツ | 宮崎市 | 100% | 0% | 9月28日 | 西都市 | 13% | | 88% | | | | |
| | | 9月25日 | 宮崎市 | 100% | 0% | 9月28日 | 西都市 | 100% | 0% | | | | | | |
| | | 9月25日 | マンゴー | 宮崎市 | 100% | 0% | 9月30日 | 西都市 | 25% | | 75% | | | | |
| | | 9月25日 | 宮崎市 | 0% | 100% | 9月25日 | 高鍋町 | 100% | 0% | | | | | | |
| | | H26 | 7月24日 | マンゴー | 宮崎市 | 30% | 70% | 児湯 | H25 | 10月2日 | マンゴー | 西都市 | 100% | 0% | |
| | | | 7月24日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | | 10月2日 | | 西都市 | 100% | 0% | |
| | | | 7月24日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | | 10月2日 | | 西都市 | 100% | 0% | |
| | | | 7月24日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | 10月2日 | 西都市 | | 100% | 0% | | |
| | | H28 | 9月1日 | マンゴー | 宮崎市 | 100% | 0% | | 10月2日 | 西都市 | | 100% | 0% | | |
| | | | 1月27日 | | 宮崎市 | 100% | 0% | | 10月2日 | 新富町 | | 100% | 0% | | |
| | | 南那珂 | H21 | 9月16日 | マンゴー | 南郷町 | 100% | 0% | H26 | マンゴー | 8月5日 | 高鍋町 | 100% | 0% | |
| 9月16日 | | | | 南郷町 | | 100% | 0% | 8月5日 | | | 新富町 | 100% | 0% | | |
| 9月16日 | 南郷町 | | | 100% | | 0% | 8月5日 | 西都市 | | | 100% | 0% | | | |
| 9月16日 | 南郷町 | | | 100% | | 0% | | 8月5日 | | | 西都市 | 100% | 0% | | |
| 9月30日 | 串間市 | | | 100% | | 0% | 東臼杵南部 | H21 | | 9月17日 | マンゴー | 日向市 | 100% | 0% | |
| 9月30日 | 日南市 | | | 100% | | 0% | | | | 9月17日 | | 東郷町 | 100% | 0% | |
| 9月30日 | 日南市 | | 100% | 0% | 9月17日 | 日向市 | | | 100% | 0% | | | | | |
| H25 | 9月26日 | | マンゴー | 串間市 | 100% | 0% | | H25 | 9月18日 | マンゴー | 日向市 | 100% | 0% | | |
| | 9月26日 | | | 串間市 | 100% | 0% | | | H26 | | 7月28日 | マンゴー | 門川町 | 100% | 0% |
| | 9月26日 | | | 日南市 | 100% | 0% | | | | | 7月28日 | | 日向市 | 100% | 0% |
| | 9月26日 | | | 日南市 | 100% | 0% | 7月29日 | 日向市 | | 100% | 0% | | | | |
| | 9月26日 | | | 日南市 | 100% | 0% | 7月29日 | 日向市 | 100% | 0% | | | | | |
| | 9月26日 | | | 日南市 | 100% | 0% | 7月29日 | 日向市 | 100% | 0% | | | | | |
| H26 | 6月30日 | | マンゴー | 串間市 | 100% | 0% | | | | | | | | | |
| | 7月1日 | | | 南郷町 | 100% | 0% | | | | | | | | | |
| | 7月18日 | | | 日南市 | 100% | 0% | | | | | | | | | |

表2 チャノキイロアザミウマC系統の分布状況調査結果（茶）

| 地区名 | 調査年度 | 採取年月日 | 場所 | 発生割合(%) | |
|-------|------|--------|-----|---------|----------|
| | | | | 新規(C系統) | 在来(YT系統) |
| 中部 | H21 | 10月15日 | 田野町 | 0% | 100% |
| | | 10月16日 | 国富町 | 0% | 100% |
| | H25 | 8月15日 | 宮崎市 | 0% | 100% |
| 南那珂 | H21 | 10月29日 | 串間市 | 0% | 100% |
| | | 10月29日 | 串間市 | 0% | 100% |
| | | 10月29日 | 串間市 | 0% | 100% |
| | H25 | 8月9日 | 串間市 | 0% | 100% |
| | H26 | 7月?日 | 串間市 | 0% | 100% |
| 西諸県 | H21 | 10月9日 | 小林市 | 0% | 100% |
| | | 10月9日 | 野尻町 | 0% | 100% |
| 北諸 | H21 | 10月15日 | 都城市 | 0% | 100% |
| | | 10月15日 | 三股町 | 0% | 100% |
| | H25 | 8月15日 | 三股町 | 0% | 100% |
| 8月15日 | | 都城市 | 0% | 100% | |
| 児湯 | H21 | 10月13日 | 川南町 | 0% | 100% |
| | | 9月13日 | 西都市 | 0% | 100% |
| | H25 | 9月19日 | 川南町 | 0% | 100% |
| | | 8月5日 | 新富町 | 46% | 54% |

3 特殊病害虫侵入警戒調査事業

1) ミバエ類侵入警戒調査

ミバエ類の侵入の危険性の高い地域において、ミバエ類の早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施した。またミカンコミバエ、ウリミバエについては、関係農林振興局の協力のもとで実施した。

(1) 誘殺状況

| トラップ設置場所 | 調査期間 | 誘殺数 | | | 調査機関 |
|----------------------|----------|-----------|---------|-------|-----------|
| | | チチュウカイミバエ | ミカンコミバエ | ウリミバエ | |
| 宮崎市 中部港湾事務所敷地内 | 4～12, 3月 | 0 | 0 | 0 | 防除・肥料センター |
| 〃 赤江宮崎空港付近 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 芳土のミカン園 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 都農町 立野のミカン園 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 南郷町 谷之口のミカン園 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 日向市 高森山のミカン園 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 門川町 牧山のミカン園 | 〃 | 0 | 0 | 0 | 〃 |
| 宮崎市 赤江 共同利用施設浜畑センター内 | 〃 | — | 0 | 0 | 中部農林振興局 |
| 〃 折生迫 水産試験場内 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 内海 内海神社付近 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 内海 野島神社付近 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 折生迫 青島小学校付近 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 日南市 油津港東岸壁手前公園 | 〃 | — | 0 | 0 | 南那珂農林振興局 |
| 〃 猪崎鼻公園駐車場 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 南郷町 虚空蔵島入口 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 贄波神社境内 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 亜熱帯作物支場入口 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 串間市 市木 石波海岸（幸島入口） | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 宮之浦（漁港公園） | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 都井港 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 崎田（道路沿い雑木） | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 新福島港 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 川南町 通浜（川南魚港周辺） | 〃 | — | 0 | 0 | 児湯農林振興局 |
| 〃 〃 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 日向市 日知屋 北部港湾事務所 | 〃 | — | 0 | 0 | 東臼杵農林振興局 |

| トラップ設置場所 | 調査期間 | 誘 殺 数 | | | 調査機関 |
|-------------------|---|----------------|-------------|-----------|----------|
| | | チチュウカイ イミバエ | ミカンコ ミバエ | ウリミ バエ | |
| 門川町 庵川 庵川東公民館 | 〃 | — | 0 | 0 | 東白杵農林振興局 |
| 〃 庵川 庵川神社 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 尾末 門川漁協 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 尾末 尾末神社 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 延岡市 浦城町 浦城養魚場付近旧道 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 浦城町 浦城海水浴場付近 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 須美江町須美江キャンプ場内 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 〃 熊野江 集落センター敷地内 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 北浦町 下阿蘇オートキャンプ場付近 | 〃 | — | 0 | 0 | 〃 |
| 対象病虫害の調査総回数 | チチュウカイイミバエ70回（10ヶ月×7か所） ウリミバエ・ミカンコミバエ740回（10ヶ月×月2回×37か所） | | | | |

(2) 調査結果

ミバエ類の本県への侵入は認めなかった。

2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査

6月～10月にかけて、アリモドキゾウムシの侵入危険性の高い地域（30地点）にトラップ（アリモドキコール）を設置し、本虫の侵入警戒調査を実施した。また、中部・南那珂・北諸県・児湯の各農林振興局においては、気温が高い7～9月に計47地点で侵入警戒調査を実施した。

(1) 誘殺状況

| トラップ設置場所 | 設置場所及びその付近の 植栽状況等 | 調査期間及び 調査回数 | 誘殺数 | 調査機関 |
|------------|----------------------|----------------|-----|-----------|
| 宮崎市 新別府町前浜 | ヒルガオ自生地 | 6～10月 10回 | 0 | 防除・肥料センター |
| 〃 港 | 中部港湾事務所敷地内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 山崎町上ノ原 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 田野町白砂坂上 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 田野町乙 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 佐土原町下那珂 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 佐土原町下田島 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 都城市 横市町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 関之尾町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 丸谷町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 五十町 | ローソン五十町店付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 山之口町五反田 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |

| トラップ設置場所 | 設置場所及びその付近の 植栽状況等 | 調査期間及び 調査回数 | 誘殺数 | 調査機関 |
|--------------|----------------------|----------------|-----|-----------|
| 都城市 山田町菓子野 | 甘藷畑 | 6～10月 10回 | 0 | 防除・肥料センター |
| 〃 〃 牧原 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 山田 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 三股町 宮村 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 西都市 茶臼原児屋根 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 〃 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 新富町 日置池田 | ヒルガオ自生地 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 日置上日置 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 日置五丁野地 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 高鍋町 南高鍋蚊口浦 | 酒造工場付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 高鍋町 持田 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 日南市南郷町榎原 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 串間市大字奈須 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 串間市大字奈須（堂園） | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 串間市大字奈須（大東原） | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 串間市大字奈須（大東原） | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 宮崎市 有田 | 有田橋付近 | 7～9月 6回 | 0 | 中部農林振興局 |
| 〃 住吉 | 塩路交差点付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 新別府町 | 人工ビーチ入り口付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 本郷北方 | 宮崎空港付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 宮崎市 青島 | 青島港付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 佐土原町下那珂 | 市営プール付近潮害林 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 田野町合又 | 南原霊園前 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 田野町七野 | ゴルフ場付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 高岡町花見 | 花見橋付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 綾町 麓 | 小田常橋付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 日南市 大堂津 | 大堂津港付近 | 〃 | 0 | 南那珂農林振興局 |
| 〃 油津 | 油津港付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 平山 | 風田浜付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 目井津 | 目井津港付近公園内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 串間市 奈留 | J A 大東集荷場 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 奈留 | J A 大東育苗センター付近 | 〃 | 0 | 〃 |

| トラップ設置場所 | 設置場所及びその付近の 植栽状況等 | 調査期間及び 調査回数 | 誘殺数 | 調査期間 |
|--------------|---------------------------------|----------------|-----|----------|
| 串間市 北方 | 酒造会社付近 | 7～9月 6回 | 0 | 南那珂農林振興局 |
| 〃 東今町 | 福島港付近雑木林内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 金谷 | 福島港付近港公園内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 西浜 | 酒造会社付近公園内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 中千野 | 雑木林内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 毛久保 | 毛久保港付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 奈留仲別府 | 地区公園内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 西方穂佐ヶ原 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 西方 | JA はまゆう串間集荷場内 | 〃 | 0 | 〃 |
| 都城市 高城町 | J A 都城甘藷貯蔵庫入口 | 〃 | 0 | 北諸県農林振興局 |
| 〃 乙房町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 山田町 | J A 都城甘藷育苗ハウス | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 山田町 | J A 都城甘藷育苗ハウス | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 山田町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 横市町 | 畑作園芸支場ほ場 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 庄内町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 高木町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 梅北町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 三股町 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| えびの市西郷 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 西諸県農林振興局 |
| 小林市東方 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 小林市堤 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 野尻町三ヶ野山 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 高原町後川内 | 甘藷畑 | 〃 | 0 | 〃 |
| 西都市 茶臼原 緑ヶ丘 | 緑ヶ丘バス停付近 | 〃 | 0 | 児湯農林振興局 |
| 〃 大字三宅 寺原 | 西都市運動公園付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 大字上三財 | 三財中学校付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 新富町 大字新田 十文字 | 春日神社付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 〃 大字新田 三財原 | 葬祭場付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 高鍋町 大字上江 境谷 | 市の山公民館付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 木城町 大字椎木 牧ノ内 | 茶臼原小学校付近 | 〃 | 0 | 〃 |
| 対象病害虫の調査総回数 | 572回（5ヶ月×月2回×29か所＋3ヶ月×月2回×47か所） | | | |

（２）調査結果

アリモドキゾウムシの本県への侵入は認められなかった。

3) イモゾウムシ侵入警戒調査

6月～10月において、アリモドキゾウムシ侵入警戒調査地点付近の甘藷ほ場等27か所で、目視により食害痕等を調査した（調査総回数240回（5ヶ月×月2回×24か所））

9月27日、10月25日に串間市(20ほ場)、9月26日、10月26日に都城市(20ほ場)、9月26日に小林市（5ほ場）、10月25日に小林市（4ほ場）、高原町（2ほ場）、について収穫終了後の甘藷ほ場において1ほ場当たり50本程度の収穫残渣を切開及び目視により食害痕等を調査した（調査総回数86回（2ヶ月×46か所））。

いずれの地域においてもイモゾウムシの本県への侵入は認められなかった。

4) ミカンキジラミ侵入警戒調査

4月～12月、3月において、県内のかんきつ園地18ほ場及び2か所のゲッキツ植栽地を調査したが、発生は確認されなかった（調査総回数200回（10ヶ月×20か所））。

5) ウメ輪紋ウイルス発生調査

平成21年4月東京都青梅市において、ウメ輪紋ウイルスが国内で初めて確認された。このため、本県においても平成21年度から調査を実施している。

平成28年度については、門司植物防疫所細島出張所、関係市町村・JA、農林振興局の協力を得て、4月25日～28日に現地ほ場調査及びサンプルの採取を行った。

(1) 調査場所、対象作物、ほ場数等

| 調査市町村 | 調査ほ場数 | | | サンプル 採取樹数 | 検定結果 |
|-------|-------|----|-----|--------------|------|
| | うめ | もも | すもも | | |
| 宮崎市 | 1 | | | 5 | 全て陰性 |
| 日南市 | 2 | | | 10 | 全て陰性 |
| 三股町 | 1 | | | 5 | 全て陰性 |
| 都城市 | 1 | | | 5 | 全て陰性 |
| えびの市 | 1 | | | 5 | 全て陰性 |
| 西都市 | 2 | | | 10 | 全て陰性 |
| 美郷町 | 3 | | | 15 | 全て陰性 |
| 延岡市 | | 3 | | 15 | 全て陰性 |
| 日之影町 | 1 | | 1 | 10 | 全て陰性 |
| 合計 | 12 | 3 | 1 | 80 | |

(2) 調査結果

現地調査における目視による当該ウイルスの症状は、すべてのほ場で確認されなかった。また、採取したサンプルの門司植物防疫所における検定の結果は、すべて陰性であった。

6) キウイフルーツかいよう病 Psa3系統調査

平成26年5月愛媛県において、キウイフルーツかいよう病 Psa3系統が国内で初めて確認された。このため、本県においても関係機関の協力を得て、5月23日に現地ほ場調査を行った。

(1) 調査結果

| 市町村 | 調査 ほ場数 | 調査面積 (ha) | サンプル 採取樹数 | 採取葉数 | 検定結果 | 備考 |
|-----|-----------|--------------|--------------|------|------|--------|
| 都農町 | 2 | 5.0 | 0 | 0 | — | 疑似症状なし |
| 合計 | 2 | 5.0 | 0 | 0 | — | |

現地での目視調査の結果、当病害の疑似症状は確認されなかった。

4 その他の調査、検定等

1) BLASTAMによる葉いもちの発生好適条件の判定と現地の発生状況

| | | | | | | | |
|------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 発生指標 | ?:判定不能 | -:好適条件なし | 4:準好適条件4 | 3:準好適条件3 | 2:準好適条件2 | 1:準好適条件1 | ●:好適条件 |
|------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|

(早期水稻)

| | 宮崎 | 串間 | 高鍋 | 西都 | 青島 | 日向 |
|-------|----|----|----|----|----|----|
| 5月6日 | — | — | — | — | — | 4 |
| 5月7日 | — | — | — | — | — | 1 |
| 5月16日 | ● | ● | — | ● | — | 1 |
| 5月17日 | — | — | — | 4 | ● | — |
| 5月25日 | — | ● | — | ● | — | — |
| 5月26日 | — | ● | — | ● | ● | — |
| 5月27日 | — | — | ● | — | — | — |
| 5月28日 | — | ● | ● | ● | — | ● |
| 5月29日 | ● | — | ● | ● | — | ● |
| 5月30日 | — | ● | ● | — | ● | — |
| 6月5日 | — | — | ● | ● | ● | ● |
| 6月6日 | ● | — | ● | — | — | ● |
| 6月7日 | 4 | — | 4 | 4 | — | — |
| 6月8日 | — | — | — | — | — | ● |
| 6月10日 | — | — | — | — | ● | — |
| 6月12日 | — | ● | — | — | — | — |
| 6月13日 | — | — | ● | ● | — | ● |
| 6月14日 | — | ● | — | — | 4 | — |
| 6月16日 | ● | — | ● | — | ● | ● |
| 6月26日 | — | — | — | — | — | 2 |
| 7月1日 | — | — | — | — | — | ● |
| 7月10日 | — | — | 3 | — | 3 | 3 |
| 7月11日 | — | — | — | — | 3 | 3 |
| 7月12日 | — | 3 | — | — | — | — |
| 7月14日 | — | — | 3 | — | — | — |
| 7月21日 | — | — | — | — | 2 | — |

調査地点の発病株率の推移(7月中旬は発病穂率)

| | 宮崎 | 串間 | 高鍋 | 西都 | 青島 | 日向 |
|------|-----|----|----|-----|----|----|
| 5月中旬 | 0 | | | 0 | | 0 |
| 6月中旬 | 70 | | | 22 | | 0 |
| 6月下旬 | 66 | | | 50 | | 10 |
| 7月中旬 | 0.2 | | | 5.8 | | 0 |

(普通期水稻)

| | 高千穂 | 鞍岡 | 延岡 | 神門 | 加久藤 | 小林 | 宮崎 | 都城 |
|-------|-----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 6月5日 | 4 | 1 | — | — | — | — | — | — |
| 6月6日 | — | — | ● | 1 | — | — | ● | — |
| 6月7日 | 4 | — | — | 1 | — | — | 4 | — |
| 6月9日 | — | — | — | 1 | — | ● | — | — |
| 6月11日 | ● | — | — | — | ● | — | — | — |
| 6月12日 | — | ● | — | — | — | ● | — | ● |
| 6月13日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — | — |
| 6月14日 | — | — | — | — | — | — | — | ● |
| 6月16日 | ● | ● | ● | ● | — | — | ● | — |
| 6月17日 | — | ● | — | — | — | — | — | — |
| 6月24日 | — | — | — | — | — | — | — | 2 |
| 6月25日 | — | — | 2 | — | — | — | — | — |
| 6月26日 | — | 3 | 4 | 4 | 4 | ● | — | 4 |
| 6月30日 | — | — | ● | — | ● | — | — | — |
| 7月2日 | — | — | — | — | — | ● | — | — |
| 7月8日 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 7月10日 | ● | — | 2 | 2 | — | 2 | — | — |
| 7月11日 | ● | ● | 3 | — | — | — | — | — |
| 7月13日 | ● | ● | 3 | ● | — | — | — | — |
| 7月16日 | — | — | — | — | 2 | — | — | — |
| 7月17日 | — | ● | — | — | — | 3 | — | — |
| 7月20日 | — | — | — | 2 | — | 2 | — | — |
| 7月21日 | 2 | — | — | 2 | — | — | — | — |
| 7月22日 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 7月25日 | — | — | — | 2 | — | 2 | — | — |
| 7月26日 | — | — | — | — | — | — | — | 2 |
| 7月27日 | — | — | — | 2 | 2 | — | — | 2 |

調査地点の発病株率の推移(9月中旬は発病穂率)

| | 高千穂 | 五ヶ瀬 | 延岡 | 東郷 | えびの | 小林 | 国富 | 都城 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 6月中旬 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 |
| 7月中旬 | 5 | 84 | 0 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月下旬 | 62 | 98 | 0 | 98 | 0 | 20 | 6 | 2 |
| 8月中旬 | 3 | 62 | 2 | 50 | 0 | 52 | 44 | 34 |
| 9月中旬 | 0.2 | 5.4 | 1.7 | 6.4 | 0.8 | 0.8 | 0.3 | 0.5 |

2) 斑点米カメムシ類の発生状況調査

イタリアンライグラスでの斑点米カメムシ類の発生状況(6月)

※20回振り/1地点

| 地域名 | 地点数 | ミナミアオカメムシ① | | | クモヘリカメムシ② | | | ホソハリカメムシ③ | | |
|-----|-----|------------|-----|-----|-----------|-----|-----|-----------|-----|-----|
| | | 成虫 | 幼虫 | 合計 | 成虫 | 幼虫 | 合計 | 成虫 | 幼虫 | 合計 |
| 中部 | 40 | 0.1 | 2.1 | 2.2 | 0.6 | 1.1 | 1.7 | 0.8 | 0.2 | 1.0 |
| 南那珂 | 14 | 0.1 | 1.6 | 1.6 | 1.4 | 0.0 | 1.4 | 1.4 | 0.3 | 1.7 |
| 児湯 | 26 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 3.7 | 0.0 | 3.7 | 3.0 | 0.8 | 3.8 |
| 東臼杵 | 9 | 0.0 | 0.6 | 0.6 | 2.1 | 0.1 | 2.2 | 0.8 | 0.2 | 1.0 |
| 全 県 | 89 | 0.0 | 1.4 | 1.4 | 1.8 | 0.5 | 2.3 | 1.5 | 0.4 | 1.9 |

| 地域名 | 地点数 | シラホシカメムシ④ | | | アカスジカスミカメ⑤ | | | 4種合計(①+②+③+④) | 4種平年値 |
|-----|-----|-----------|-----|-----|------------|------|------|---------------|-------|
| | | 成虫 | 幼虫 | 合計 | 成虫 | 幼虫 | 合計 | | |
| 中部 | 40 | 0.2 | 0.5 | 0.7 | 19.3 | 32.1 | 51.4 | 5.5 | 6.6 |
| 南那珂 | 14 | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 8.4 | 17.8 | 26.1 | 5.1 | 15.4 |
| 児湯 | 26 | 0.2 | 0.2 | 0.5 | 9.2 | 24.0 | 33.2 | 8.4 | 12.0 |
| 東臼杵 | 9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 19.2 | 21.9 | 3.8 | 9.6 |
| 全 県 | 89 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | 12.9 | 26.2 | 39.1 | 6.1 | 10.4 |

数値を小数点第2位で四捨五入しているため、合計数値が一致しない場合があります。

3) ヒノキ毬果口針鞘数による果樹カメムシ類離脱予測

| 番号 | 普及センター名 | 採取場所 | 採取日 | 平均口針鞘数 | 離脱予想日 | 飛来日 | 備考 |
|----|---------|--------|-------|--------|-------|-------------|----|
| 1 | 中部 | 宮崎市高岡町 | 7月27日 | 0.3 | 9月12日 | 飛来情報なし | |
| 2 | 中部 | 宮崎市高岡町 | 7月27日 | 7.2 | 8月26日 | 飛来情報なし | |
| 3 | 南那珂 | 日南市 | 7月27日 | 8.0 | 8月22日 | 飛来情報なし | |
| 4 | 南那珂 | 日南市 | 7月27日 | 0.3 | 9月11日 | 飛来情報なし | |
| 5 | 南那珂 | 日南市 | 7月27日 | 2.4 | 9月7日 | 飛来情報なし | |
| 6 | 南那珂 | 日南市 | 7月27日 | 1.4 | 9月9日 | 飛来情報なし | |
| 7 | 西諸 | 小林市 | 8月1日 | 0.2 | 9月16日 | 飛来情報なし | |
| 8 | 児湯 | 西都市 | 7月26日 | 5.3 | 8月30日 | 8月17日(臭いのみ) | |
| 9 | 児湯 | 都農町 | 7月26日 | 0.2 | 9月10日 | 8月17日(臭いのみ) | |
| 10 | 児湯 | 都農町 | 8月4日 | 1.6 | 9月16日 | 8月17日(臭いのみ) | |
| 11 | 南部 | 日向市 | 7月28日 | 0.0 | 9月12日 | 9月9日 | |
| 12 | 北部 | 北方町 | 7月27日 | 0.8 | 9月10日 | 飛来情報なし | |
| 13 | 防除センター | 新富町 | 7月25日 | 0.0 | 9月9日 | / | |
| 14 | 防除センター | 川南町 | 7月25日 | 0.7 | 9月8日 | | |

4) サトイモ疫病の発生状況調査

発生経過

平成28年産については、5月から巡回を開始、7月4日の調査で疫病の初発生を確認した。6月～7月中旬の雨量が多かったこともあり、病勢は一気に進展し、初発を確認してから20日程度で、発病株率100%に達するほ場が多数みられた。

8月以降も発病は進み、茎葉は腐敗・枯死し、生育に著しい影響を与えている。

9月に入り、進展はやや緩慢になったが、9月中旬の台風の影響で、再び病勢が進展したほ場も見られた。

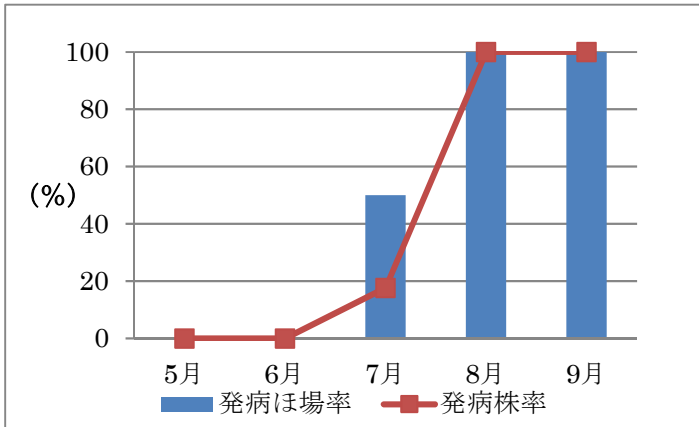


図1 巡回ほ場における発病面積率および発病株率の推移

注) 調査ほ場は12ほ場（宮崎市田野町2、都城市4、小林市2、えびの市2、川南町2）。調査は1ヶ月間隔（中旬）で実施。

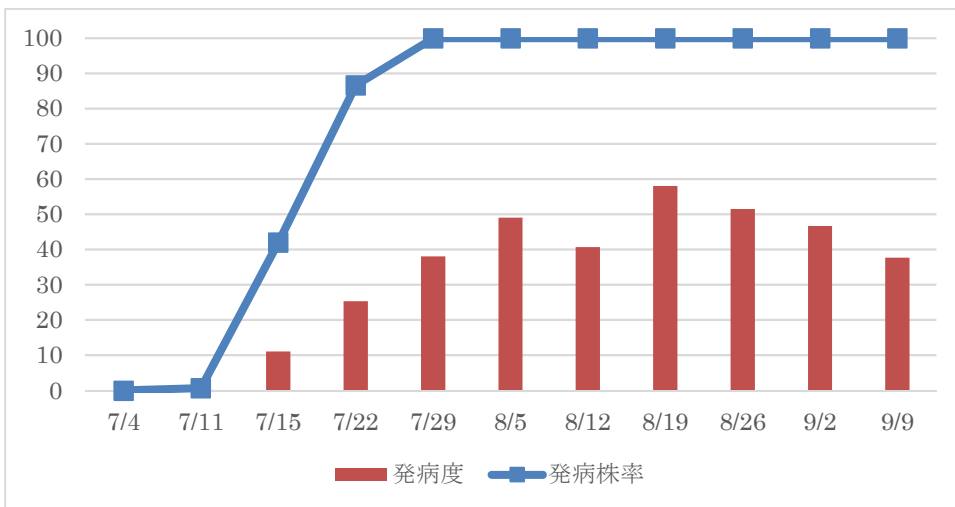


図2 巡回ほ場における発病程度の推移

注) 上記ほ場のうち6ほ場（宮崎市、都城市）について、約1週間間隔で調査を実施

調査基準

- A：葉はほとんど枯死（葉の発病面積が 3/4 以上）、ときには茎部も枯死する。
- B：ほとんどの葉が発病（発病面積 3/4 程度）、枯死葉がかなり多く（1/2 程度）見られる。
- C：ほぼ半数の葉が発病（発病面積 1/2 程度）、ときには一部の葉が枯死する。
- D：発病面積が 1/4 程度
- E：発病無し

$$\text{発病度} = (4A + 3B + 2C + D) / (4 \times \text{調査株}) \times 100$$

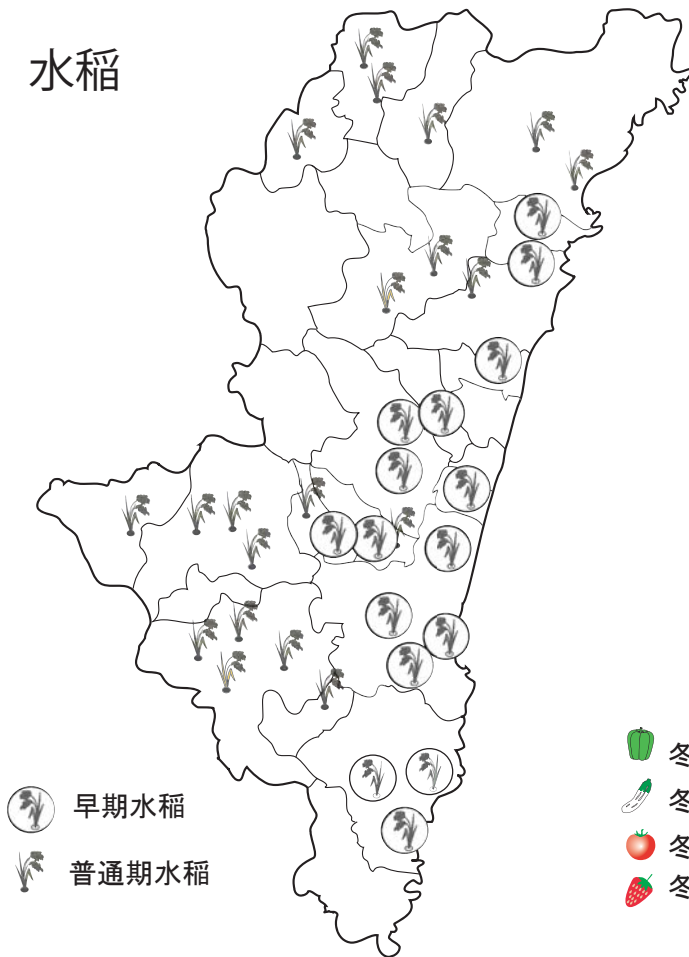
Ⅲ そ の 他

1 病害虫防除員の設置状況

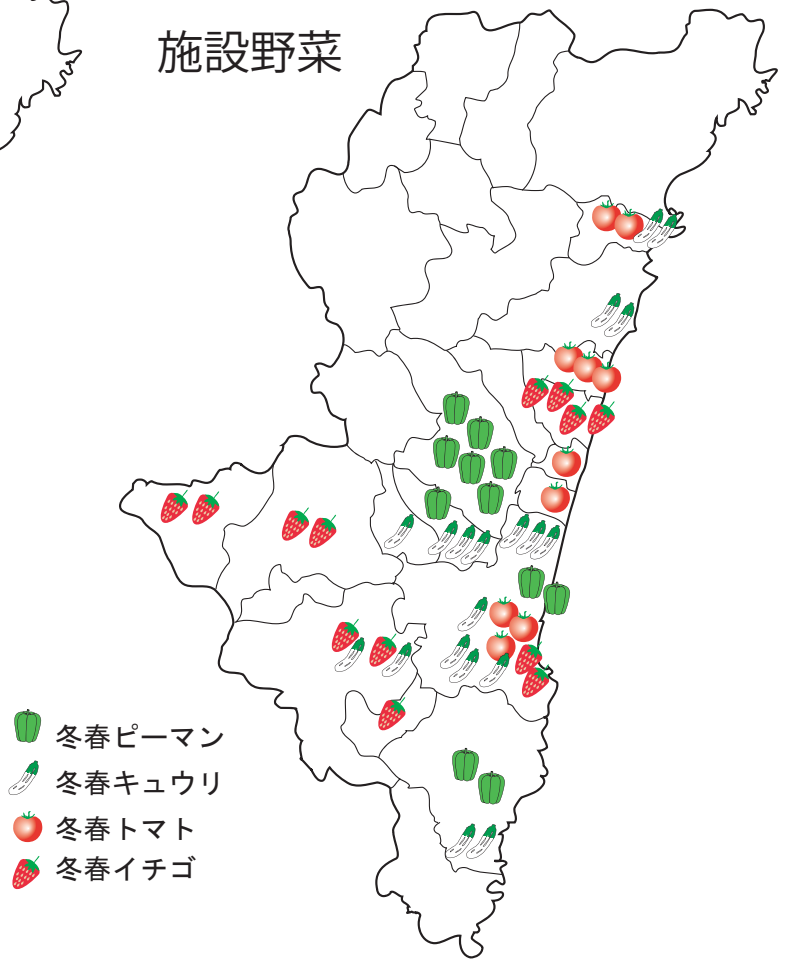
| 市町村 | 定数 | 水稻 | 果樹 | 茶 | 野菜 | 市町村 | 定数 | 水稻 | 果樹 | 茶 | 野菜 |
|------|----|----|----|---|----|------|----|----|----|---|----|
| 宮崎市 | 7 | 2 | 1 | | 4 | 西米良村 | 1 | 1 | | | |
| 国富町 | 2 | 1 | | | 1 | 木城町 | 1 | | | | 1 |
| 綾町 | 1 | | | | 1 | 川南町 | 1 | | | 1 | |
| 小計 | 10 | 3 | 1 | | 6 | 都農町 | 2 | | 1 | | 1 |
| 日南市 | 4 | 2 | 2 | | | 小計 | 10 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 串間市 | 1 | | | | 1 | 延岡市 | 4 | 4 | | | |
| 小計 | 5 | 2 | 2 | | 1 | 日向市 | 2 | 2 | | | |
| 都城市 | 6 | 5 | | 1 | | 門川町 | 1 | | 1 | | |
| 三股町 | 1 | 1 | | | | 美郷町 | 3 | 3 | | | |
| 小計 | 7 | 6 | | 1 | | 諸塚村 | 1 | 1 | | | |
| 小林市 | 4 | 3 | | 1 | | 椎葉村 | 1 | 1 | | | |
| えびの市 | 1 | | | | 1 | 小計 | 12 | 11 | 1 | | |
| 高原町 | 1 | 1 | | | | 高千穂町 | 2 | 1 | | 1 | |
| 小計 | 6 | 4 | | 1 | 1 | 日之影町 | 1 | 1 | | | |
| 西都市 | 3 | 1 | | | 2 | 五ヶ瀬町 | 1 | | | 1 | |
| 高鍋町 | 1 | 1 | | | | 小計 | 4 | 2 | | 2 | |
| 新富町 | 1 | | | | 1 | 合計 | 54 | 31 | 5 | 5 | 13 |

2 巡回調査ほ場の分布図

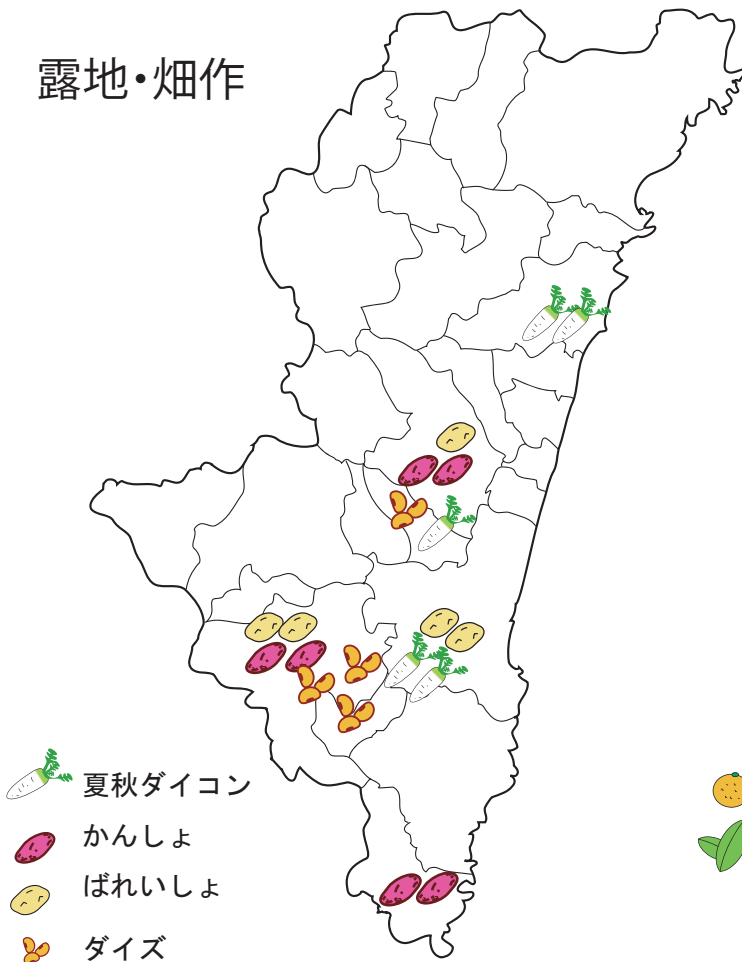
水稲



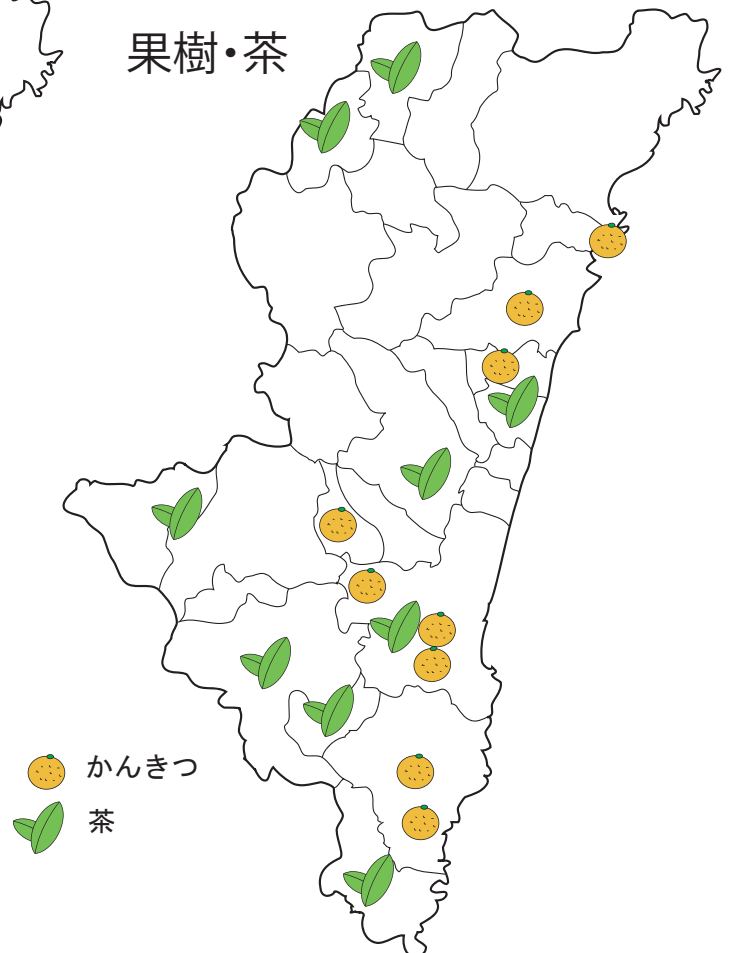
施設野菜



露地・畑作

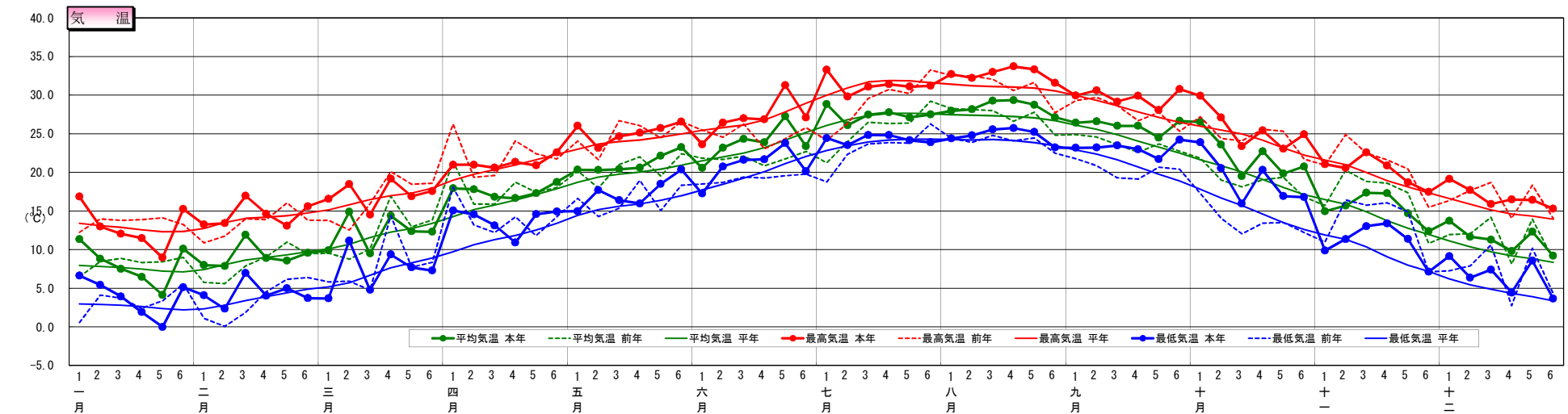
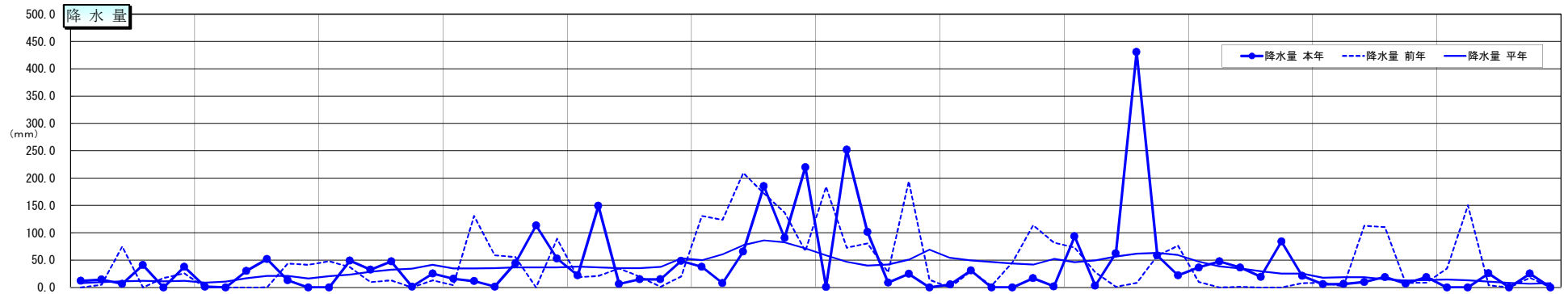
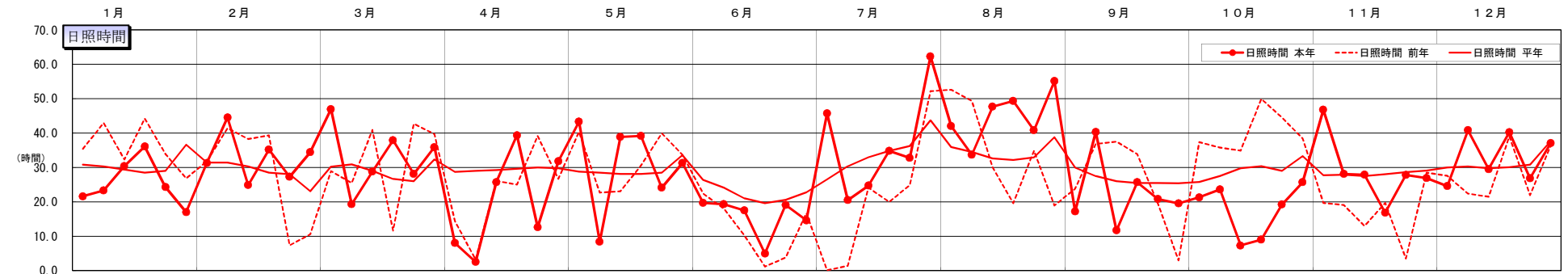


果樹・茶



3 平成28年気象表 (アメダス日時統計データより)

(平年値1981~2010年)



宮崎県総合農業試験場 病虫害防除・肥料検査課
(宮崎県病虫害防除・肥料検査センター)

880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 5805 番地

TEL 0985-73-6670

FAX 0985-73-2127

E-mail : [byogaichu-hiryo @ pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)